# 第55回 中央区政世論調査 報告書

令和7年5月実施



## はじめに

区政運営のための指針づくりや施策の実施にあたっては、区民の皆さまの多様な 意見・要望をさまざまな手段を講じて聴取し、把握・分析した上で的確に反映させ ていくことが大切です。

そのため、区では、「区長への手紙」、「区政への提案」など各種の広聴活動を行っています。

「区政世論調査」もその一つとして、区民の皆さまの意見を統計的に把握するもので、昭和40年から実施し今回で55回目となりました。今回の調査では、「定住性」「防災対策」「健康診査」「健康アプリ事業」「高齢者施策」「子育て支援」などの18項目についてお伺いしました。調査結果は、今後の区政運営の基礎資料として活用していきます。多くの皆さまに参考としていただければ幸いです。

おわりに、調査にご協力いただきました区民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

令和7年9月

中央区企画部広報課

Ι	調	査のあらまし	1
	1	調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	2	調査の項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	3	調査の設計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	4	回収結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	5	地域区分図(地区別回収結果) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	6	この報告書の見方	5
	7	調査方法略歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
п	□	答者の属性	9
	1	性別 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11
	2	年齢 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11
	3	職業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11
	4	居住地域 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12
	5	同居家族 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12
	6	家族構成 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12
	7	家族の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	8	住居形態 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	13
	9	国籍·····	14
	10	ライフステージ(7分類)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
Ш	地	!域別の回答者属性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	15
	1	年齢 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	2	職業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17
	3	同居家族 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
	4	住居形態 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
	5	ライフステージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
IV	調	査結果の分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	[ 1	定住性】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23
	( ]	l ) 居住年数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23
	(2	2) 愛着心	26
	( 3	3) 定住意向 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	29

【 2   防災対策】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	32
(1) 家庭での災害に対する備え	 32
(2) 在宅避難の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 39
(3) 防災拠点・防災拠点運営委員会の認知度	 41
(4)災害時に協力したいと思う活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 47
(5)災害情報を得る手段として有効だと思うもの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 51
【3 健康診査】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 54
(1) 健康診査の受診状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 54
(2) 健康診査を受けなかった理由 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 57
【4 健康アプリ事業】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 61
(1) 健康アプリの利用状況	 61
(2) 利用していない理由	63
(3) 健康状態 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 65
【5 高齢者施策】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 66
(1)要介護時における暮らし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 66
(2) 区に望む高齢者保健福祉サービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 70
(3) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 73
【6 子育て支援】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 75
(1) 子育てに関する悩みの相談	 75
(2) 重要と考える子育て支援策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 79
(3) さらに充実を図る必要がある子育て支援策	 83
(4) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス	 87
【 7 男女共同参画社会】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 90
(1) 男女の地位の平等感	 90
(2) ワーク・ライフ・バランスの現在の状況	 103
【8 防犯対策】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 107
(1) 不安に感じる犯罪	 107
(2) 防犯のために行っていること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 111
(3) 区に特に力を入れてほしい施策	 115
【9 スポーツ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 119
$(1)$ 過去 $1$ 年間に行ったスポーツや運動の種類 $\cdots$	 119
(2)過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 124
(3)過去1年間にウォーキングや散歩をした場所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 128

	【10 地域のコミュニティ活動】       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
	(3) 地域の活動に参加していない理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
I	【11 <b>おくやみコーナー</b> 】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1	【12 動物の飼養】       (1)動物の飼養状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	139 140
	【13 受動喫煙防止対策】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	【14 <b>デジタル技術を活用した区民サービス</b> 】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	【15 広報】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	【16 環境】       (1) 区内のみどり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	151 153
	【17 伝統と文化】       (1) 中央区ならではの伝統と文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	157
	【18 施策の要望・評価】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	159
v	結果の数表	171
VI	使用した調査票	193

# I 調査のあらまし

# I 調査のあらまし

#### 1 調査の目的

区民の生活環境への意識、区の施策に対する評価および区政への意見・要望を把握し、本 区の行政施策上の参考資料とする。

#### 2 調査の項目

今回の調査では、次の18項目について調査した。

(1) 定住性 (10) 地域のコミュニティ活動

(2) 防災対策 (11) おくやみコーナー

(3)健康診査 (12)動物の飼養

(4)健康アプリ事業 (13)受動喫煙防止対策

(5) 高齢者施策 (14) デジタル技術を活用した区民サービス

(6)子育て支援(15)広報(7)男女共同参画社会(16)環境

(8) 防犯対策 (17) 伝統と文化

(9) スポーツ (18) 施策の要望・評価

#### 3 調査の設計

(1)調査対象 中央区に居住する満18歳以上の個人

(2) 対象者 2,000人

(3) 抽出方法 層化無作為抽出法

令和7年4月1日現在の住民基本台帳に登録された

満 18 歳以上の個人 159,403 人から抽出

(4)調査方法 [配布]郵送配布

[回収] 郵送回収またはインターネット回答

(5)調査時期 令和7年5月7日(水)~6月4日(水)

(6) 調査機関 株式会社ケー・デー・シー

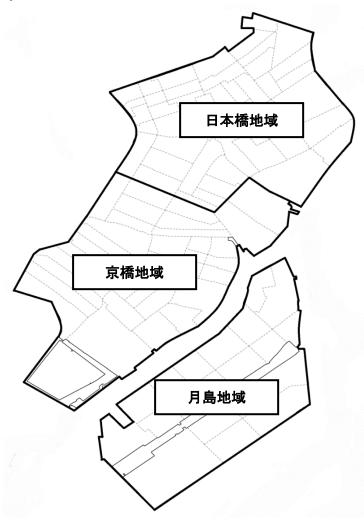
#### 4 回収結果

標本数	有効回収数	有効回収率
2,000	912	45.6%

回収方法	有効回収数	有効回収率
郵送回収	572	62.7%
インターネット回答	340	37.3%
合 計	912	100.0%

# 5 地域区分図(地区別回収結果)

対象者の抽出および集計にあたっては、地域特性を把握するため、京橋・日本橋・月島の 3地域に区分した。



地域名	該当町丁名	満 18 歳以上 人口 (母集団)	構成比	割当標本数	有効 回収数	回収率
京橋地域	八重洲二丁目、京橋、銀座、新富、 入船、湊、明石町、築地、浜離宮庭園、 八丁堀、新川	37,949 人	23. 8%	476	197	41.4%
日本橋地域	日本橋本石町、日本橋室町、 日本橋本町、日本橋小舟町、 日本橋小伝馬町、日本橋大伝馬町、 日本橋畑留町、日本橋富沢町、 日本橋人形町、日本橋小網町、 日本橋蛎殻町、日本橋箱町、 日本橋馬喰町、日本橋横山町、 東日本橋、日本橋久松町、日本橋浜町、 日本橋中洲、八重洲一丁目、 日本橋、日本橋、日本橋東町、日本橋東町	48, 758 人	30. 6%	612	281	45.9%
月島地域	佃、月島、勝どき、豊海町、晴海	72,696 人	45.6%	912	415	45.5%
無回答		_		-	19	_
合 計		159, 403 人	100.0%	2,000	912	45.6%

(注)満18歳以上人口(母集団)は、令和7年4月1日現在

#### 6 この報告書の見方

## (1) 注意事項

- ①この報告書の設問および図表中のnとは、設問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- ②回答の比率(%)はnを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位までを示した。従って、合計が100%にならない場合がある。
- ③グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- ④回答者数が20に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていないものもある。
- ⑤本文中で、百分率の比較をする際には、ポイントと表記している。
- ⑥統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

例	表現
$20.0 \sim 20.4\%$	2割
$20.5 \sim 20.9\%$	約2割
21.0~23.9%	2割を超え
24.0~26.4%	2割台半ば
$26.5 \sim 28.9\%$	3割近く
29.0~29.4%	約3割
29.5~29.9%	3割

- ⑦クロス集計の図表では、分析軸となる質問(性別、性/年齢別など)に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- ⑧複数回答の設問におけるクロス集計の分析については、タイトルに(上位10項目)や(5項目)などと書き添えているものもある。その場合、「その他」や「無回答」などは項目数として含めずに数えている。
- ⑨性別、性/年齢別のグラフでは、性別の質問で「回答しない」と回答された方が少ないため、「回答しない」のグラフは省略している。

#### (2) ライフステージについて

ライフステージとは、人間の一生を年齢や結婚、子どもの成長、子どもの独立、子どもの同居の有無などによっていくつかの段階に分けたものである。例えば、今回の調査で30歳代のライフステージ構成をみると、子どもがいないか未就学児のいる「家族形成期」(58.0%)が最も高いが、「独身期」(23.1%)や小・中学生の子どものいる「家族成長前期」(15.4%)もある。このように同じ30歳代でも人生段階は異なり、未就学児のいる人と小・中学生のいる人では、関心を持つ問題なども異なってくる。ライフステージによる分析は、単なる年齢別とは違う人生段階に目を向けた点に特徴がある。

今回の調査では、家族の状況を6分類して、回答者にどの段階であるかを答えてもらい、 年齢を考慮して、最終的に「その他」を含む7分類にまとめた。

①独 身 期 = 独身(18~39歳、学生など:親と同居含む)

②家族形成期 = 子どものいない夫婦(18~39歳)、

子どもあり (一番上が小学校入学前)

③家族成長前期 = 子どもあり (一番上が小・中学生)

④家族成長後期 = 子どもあり (一番上が高・大学生)

⑤家 族 成 熟 期 = 64 歳以下で子どもあり

(一番上または子ども全員が卒業、就職、結婚など)

(一番上または子ども全員が卒業、就職、結婚など)

独身 (65歳以上)、子どものいない夫婦 (65歳以上)

⑦そ の 他 = 独身  $(40\sim64 \, \pm)$ 、子どものいない夫婦  $(40\sim64 \, \pm)$ 

#### (3)標本誤差

標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)および回答比率(P)によって異なる。

$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b=標本誤差 N=母集団

n=比率算出の基数(サンプル数)

P=回答比率

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,000	$\pm 1.90$	$\pm 2.53$	$\pm 2.90$	$\pm 3.10$	$\pm 3.16$
912	$\pm 1.99$	$\pm 2.65$	$\pm 3.03$	$\pm 3.24$	$\pm 3.31$
800	$\pm 2.12$	$\pm 2.83$	$\pm 3.24$	$\pm 3.46$	$\pm 3.54$
500	$\pm 2.12$	$\pm 3.58$	$\pm 4.10$	$\pm 4.38$	$\pm 4.47$
300	$\pm 3.46$	$\pm 4.62$	$\pm 5.29$	$\pm 5.66$	$\pm 5.77$

#### 注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が 912 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも $\pm 3.24\%$ 以内(56.76 $\sim$ 63.24%)である」とみることができる。

# 7 調査方法略歴

この報告書の一部の設問において過年度比較をしている。比較に用いている各調査年の調査手法をまとめた。

調査年	調査 方法	説明	対象とした 年齢
平成12年	留置法	郵送配布-訪問回収	満20歳以上
平成16年	留置法	郵送配布-訪問回収	満20歳以上
平成17年	留置法	郵送配布-訪問回収	満20歳以上
平成18年	留置法	郵送配布-訪問回収	満20歳以上
平成19年	留置法	郵送配布-訪問回収	満20歳以上
平成20年	郵送法	郵送配布-郵送回収	満20歳以上
平成21年	郵送法	郵送配布-郵送回収	満20歳以上
平成22年	郵送法	郵送配布-郵送回収	満20歳以上
平成23年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満20歳以上
平成24年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満20歳以上
平成25年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満20歳以上
平成26年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満20歳以上
平成27年	郵送法	郵送配布-郵送回収	満20歳以上
平成28年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
平成29年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
平成30年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
令和元年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
令和2年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
令和3年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
令和4年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収	満18歳以上
令和5年	郵送法	郵送に準じた配布-郵送回収またはインターネット回答	満18歳以上
令和6年	郵送法	郵送配布-郵送回収またはインターネット回答	満18歳以上
令和7年	郵送法	郵送配布-郵送回収またはインターネット回答	満18歳以上

_	8	_
---	---	---

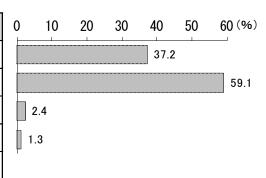
# Ⅱ 回答者の属性

_	10	_
---	----	---

# Ⅱ 回答者の属性

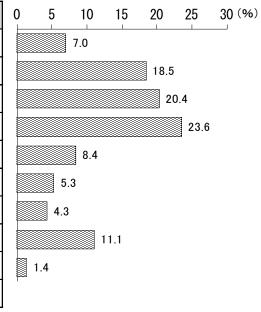
# 1 性別

		基数	構成比
1	男性	339	37.2%
2	女性	539	59. 1
3	回答しない	22	2. 4
	(無 回 答)	12	1. 3
	合 計	912	100.0



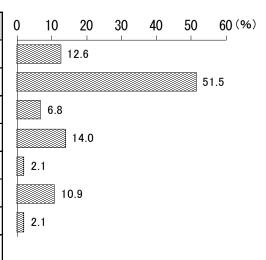
## 2 年齢

		基数	構成比
1	18~29歳	64	7.0%
2	30歳代	169	18. 5
3	40歳代	186	20.4
4	50歳代	215	23.6
5	60~64歳	77	8.4
6	65~69歳	48	5.3
7	70~74歳	39	4. 3
8	75歳以上	101	11. 1
	(無 回 答)	13	1.4
	合 計	912	100.0



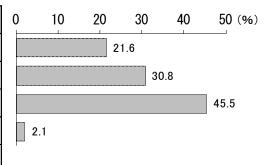
## 3 職業

		基数	構成比
1	自営業(家族従業を含む)	115	12.6%
2	勤め人	470	51. 5
3	アルバイト・パートタイマー	62	6.8
4	無職(主婦・主夫)	128	14. 0
5	無職(学生)	19	2. 1
6	無職(その他)	99	10.9
	(無 回 答)	19	2. 1
	合 計	912	100.0



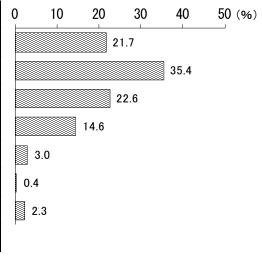
## 4 居住地域

	基数	構成比
1 京橋地域	197	21.6%
2 日本橋地域	281	30.8
3 月島地域	415	45. 5
(無 回 答)	19	2. 1
合 計	912	100.0



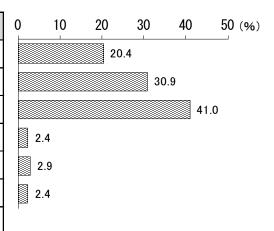
## 5 同居家族

	基数	構成比
1 1人	198	21.7%
2 2人	323	35. 4
3 3人	206	22.6
4 4人	133	14. 6
5 5人	27	3.0
6 6人以上	4	0.4
(無 回 答)	21	2. 3
合 計	912	100.0



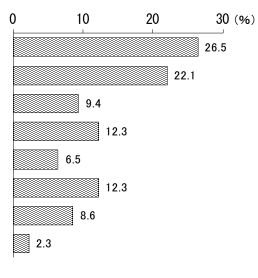
# 6 家族構成

		基数	構成比
1	単身(本人のみ)	186	20.4%
2	夫婦のみ(1世代世帯)	282	30. 9
3	親と子(2世代世帯)	374	41.0
4	親と子と孫 (3世代世帯)	22	2. 4
5	その他の世帯	26	2. 9
	(無 回 答)	22	2. 4
	合 計	912	100.0



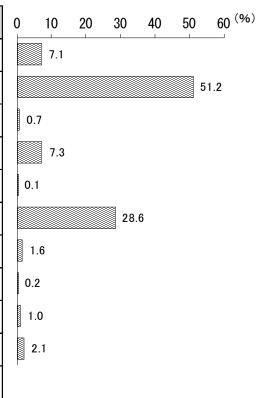
# 7 家族の状況

	基数	構成比
1 独身	242	26.5%
2 子どものいない夫婦	202	22. 1
3 一番上の子どもが小学校入学前	86	9. 4
4 一番上の子どもが小・中学生	112	12. 3
5 一番上の子どもが高校・大学生	59	6. 5
6 一番上の子どもが学校卒業	112	12. 3
7 その他	78	8.6
(無 回 答)	21	2. 3
合 計	912	100.0



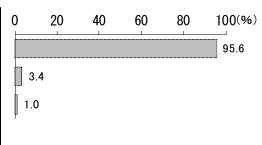
# 8 住居形態

			基数	構成比
1	持	一戸建	65	7.1%
2	家	分譲マンション	467	51.2
3		一戸建	6	0.7
4		公共住宅 (区立、区営、都営、 公社、都市再生機構(旧公団))	67	7. 3
5	借	民間木造アパート	1	0. 1
6	家	民間鉄筋アパート、マンション	261	28.6
7		社宅、官舎、寮	15	1.6
8		間借り、住込み	2	0.2
9		その他	9	1.0
		(無回答)	19	2. 1
		合 計	912	100.0



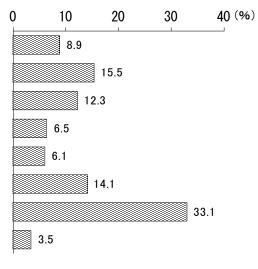
# 9 国籍

		基数	構成比
1	日本	872	95.6%
2	日本以外(外国籍)	31	3. 4
	(無 回 答)	9	1.0
	合 計	912	100.0



# 10 ライフステージ(7分類)

		基数	構成比
1	独身期	81	8.9%
2	家族形成期	141	15. 5
3	家族成長前期	112	12. 3
4	家族成長後期	59	6. 5
5	家族成熟期	56	6. 1
6	老齢期	129	14. 1
7	その他	302	33. 1
	(無 回 答)	32	3. 5
	合 計	912	100.0

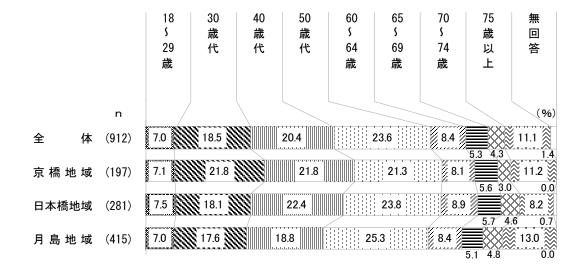


# Ⅲ 地域別の回答者属性

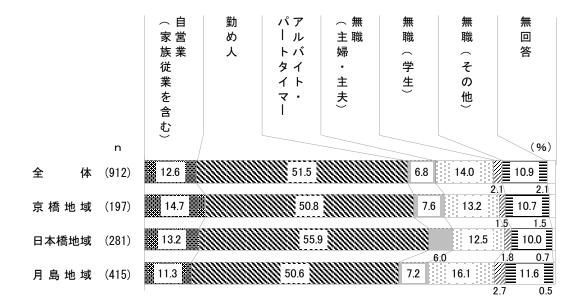
_	16	_
---	----	---

# Ⅲ 地域別の回答者属性

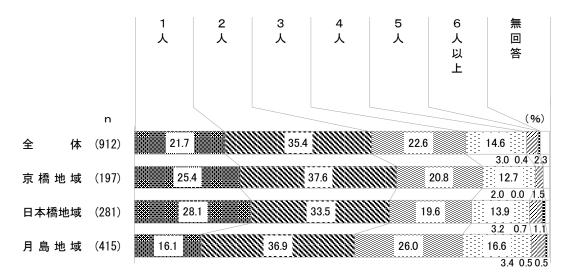
#### 1 年齢



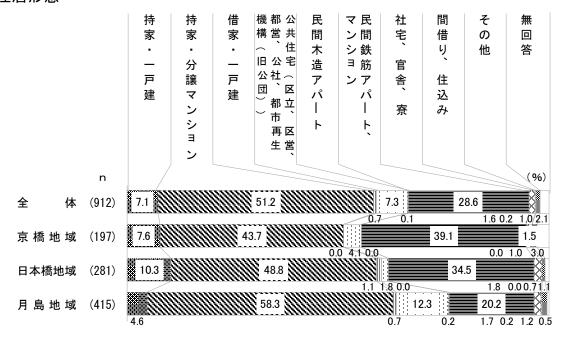
## 2 職業



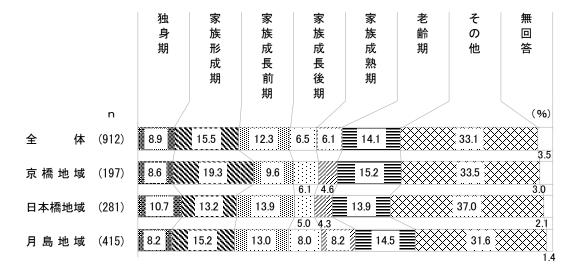
## 3 同居家族



## 4 住居形態



# 5 ライフステージ





# Ⅳ 調査結果の分析

_	22	_
---	----	---

# Ⅳ 調査結果の分析

# 【1 定住性】

#### (1) 居住年数

◆『長期居住者』が3割を超え、『中期居住者』が4割を超え、『短期居住者』が3割近く

問1 あなたは、中央区にお住まいになって何年になりますか。(Oは1つ)					
	n = 912				
1	3年未満	15.1%	5	15~20年未満	11.8
2	3~6年未満	11.5	6	20年以上	23. 5
3	6~10年未満	14.9	7	生まれてからずっと	7. 7
4	10~15年未満	15. 1		(無回答)	0.3

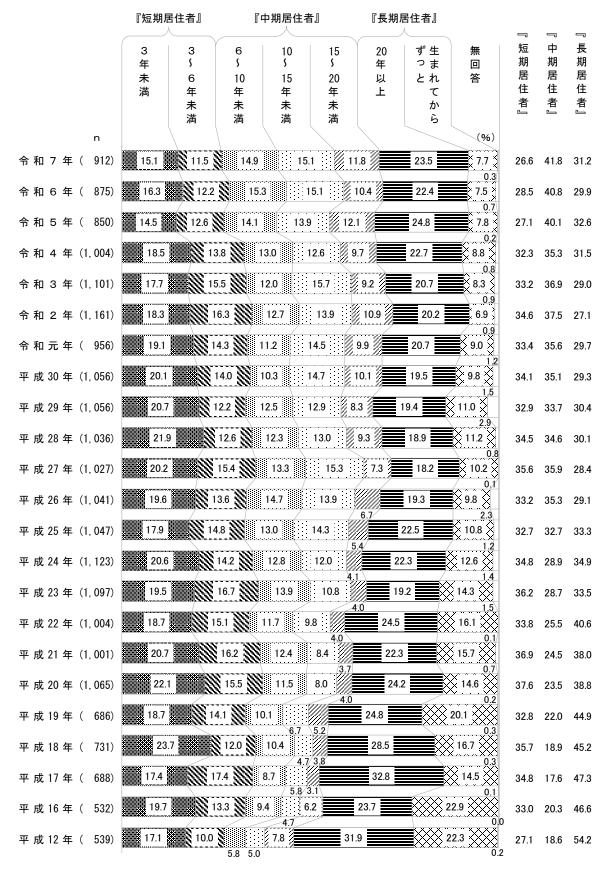
居住年数は、「20年以上」(23.5%)が最も高くなっており、「生まれてからずっと」(7.7%)と合わせた『長期居住者』(31.2%)は3割を超えている。

また、「 $6\sim10$ 年未満」(14.9%) と「 $10\sim15$ 年未満」(15.1%)、「 $15\sim20$ 年未満」(11.8%) を合わせた『中期居住者』(41.8%) は 4割を超えている。「3年未満」(15.1%)と「 $3\sim6$ 年未満」(11.5%)を合わせた『短期居住者』(26.6%) は 3割近くとなっている。(図表 1-1-1)

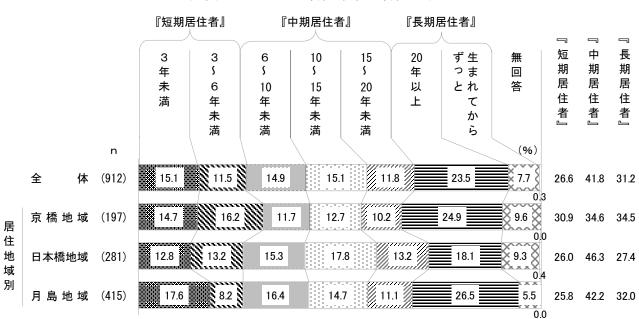


昨年の調査結果と比較すると、『長期居住者』は1.3ポイント、『中期居住者』は1.0ポイント増加している。(図表1-1-2)

図表 1 - 1 - 2 居住年数 - 過年度比較



居住地域別でみると、『短期居住者』は京橋地区で約3割となっている。『中期居住者』は日本橋地域で4割台半ばとなっている。『長期居住者』は京橋地域で3割台半ばとなっている。(図表1-1-3)



図表 1-1-3 居住年数-居住地域別

# (2) 愛着心

#### ◆愛着を『感じる』人が8割台半ば

問2	あなたは、中央区に	対して「わがまち」	という。	ような愛着心を感じ	ていますか。
					(0は1つ)
	n = 912				
1	非常に感じる	43.4%	4	感じない	2. 0
2	少しは感じる	43.0	5	わからない	3. 1
3	あまり感じない	8. 2		(無回答)	0. 3

愛着心は、「非常に感じる」(43.4%) が最も高くなっており、「少しは感じる」(43.0%) と合わせた『感じる』(86.4%) は8割台半ばとなっている。

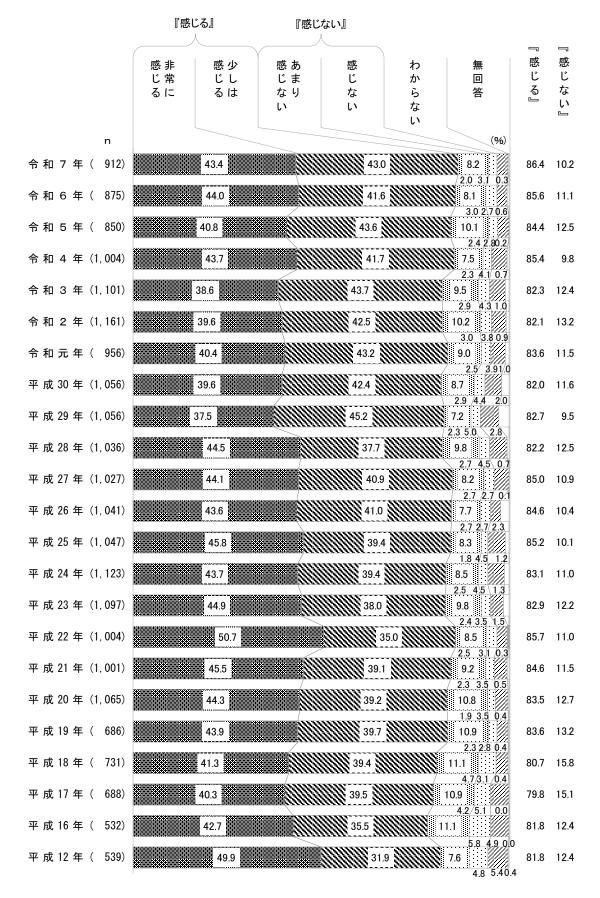
一方、「あまり感じない」(8.2%) と「感じない」(2.0%) を合わせた『感じない』(10.2%) は 1割となっている。(図表1-2-1)

『感じる』 『感じない』 感じる』 感じ 非 少 あ 感 ゎ L じ 常 ま か 回 ない』 に は IJ な b 答 感 感 い な じ ľ じ い る な い (%) n 43.4 (912)86.4 10.2 2.0 3.1 0.3

図表1-2-1 愛着心

(図表1-2-2)

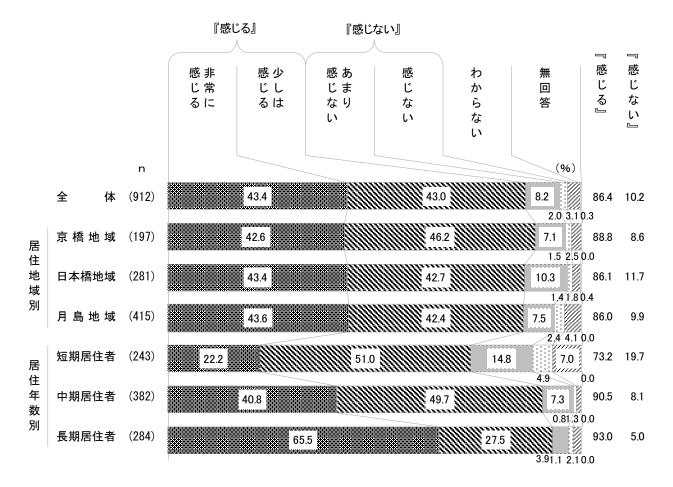
図表 1-2-2 愛着心一過年度比較



居住地域別でみると、『感じる』は京橋地域で9割近く、月島地域と日本橋地域で8割台半ばとなっている。

居住年数別でみると、『感じる』は長期居住者で9割を超え、中期居住者で約9割となっている。 (図表1-2-3)

図表 1-2-3 愛着心-居住地域別・居住年数別



#### (3) 定住意向

#### ◆『定住意向』が9割近く

問(	3 あなたは、中央区に今後も	ずっと住みたい	いと思	っていますか。(Oは	1つ)
	n = 912				
1	住み続けたい	50.5%	4	転出したい	0.9
2	できれば住み続けたい	37. 4	5	わからない	9.0
3	できれば転出したい	1.8		(無回答)	0.4

定住意向は、「住み続けたい」(50.5%)が最も高くなっており、「できれば住み続けたい」(37.4%) と合わせた『定住意向』(87.9%) は9割近くとなっている。

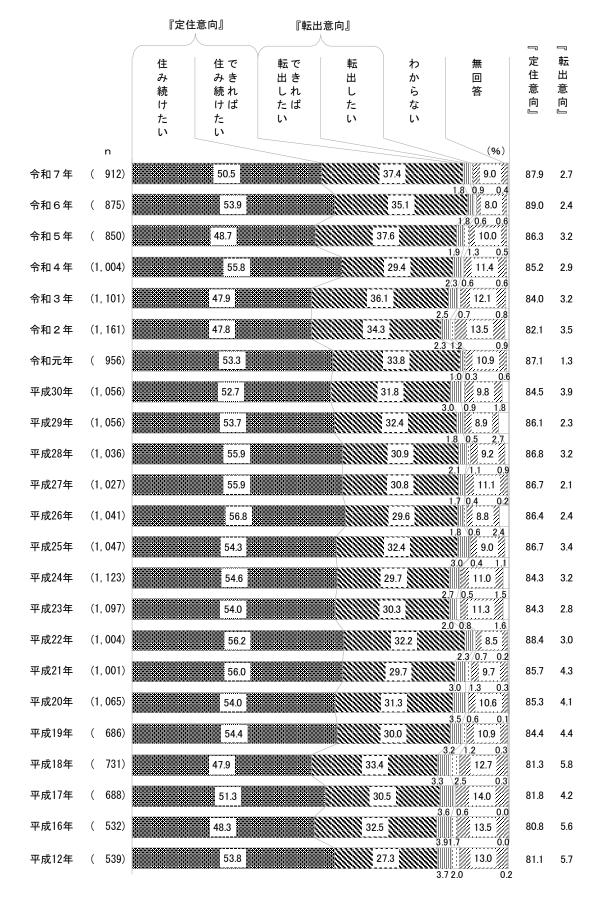
一方、「できれば転出したい」(1.8%) と「転出したい」(0.9%) を合わせた『転出意向』(2.7%) は1割未満となっている。(図表1-3-1)

『定住意向』 『転出意向』 転 住で 住 しで 転 ゎ 無 住 出 み みき たき 出 回 か 意 いれ 意 続 続れ し ら 答 向 向 ば け けば た な 転 い た た い 出 (%) n 9.0 (912)87.9 2.7 50.5 1.8 0.9 0.4

図表1-3-1 定住意向

(図表1-3-2)

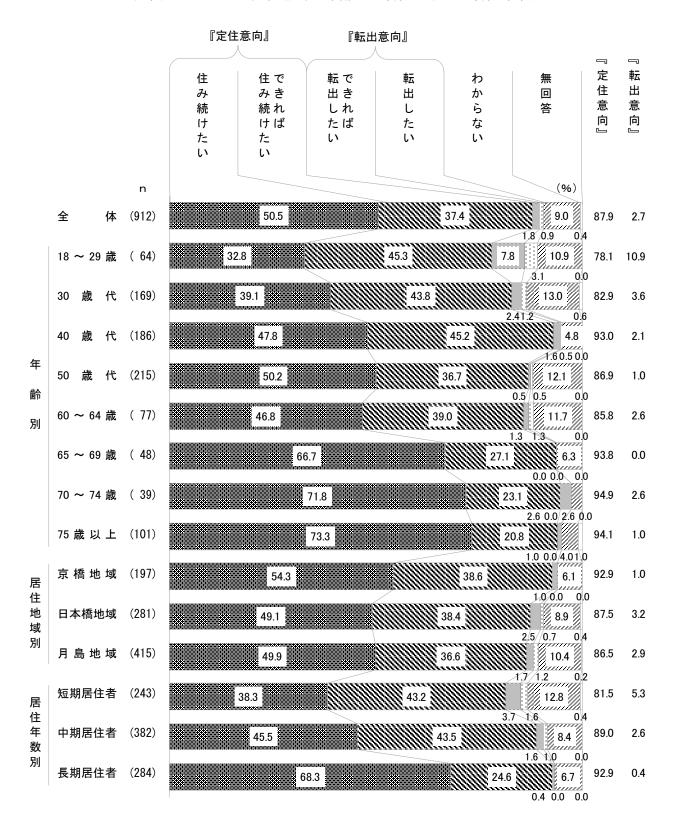
図表 1 - 3 - 2 定住意向 - 過年度比較



年齢別でみると、『定住意向』は70~74歳、75歳以上で9割台半ばと高くなっている。 居住地域別でみると、『定住意向』は京橋地域で9割を超えて高くなっている。 居住年数別でみると、『定住意向』は長期居住者で9割を超えて高くなっている。

(図表1-3-3)

図表1-3-3 定住意向-年齢別・居住地域別・居住年数別



# 【2 防災対策】

#### (1) 家庭での災害に対する備え

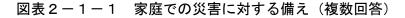
#### ◆「飲料水の備蓄」が8割近く

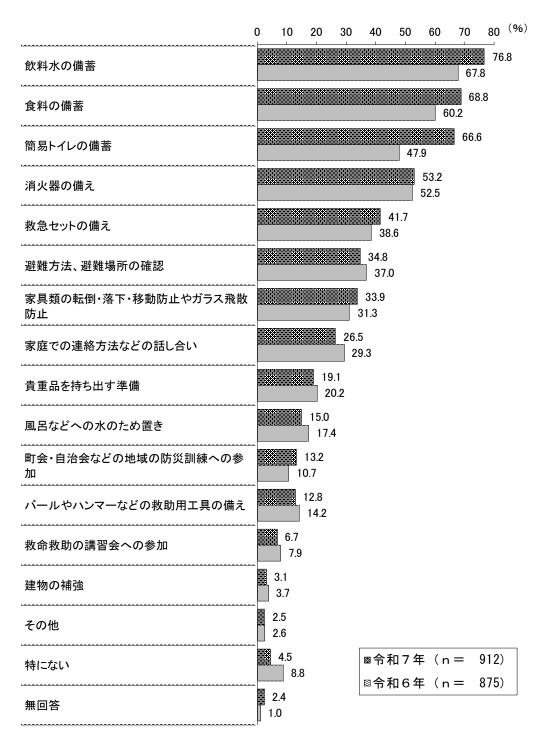
問4 あなたのご家庭では、大地震などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策を とっていますか。(Oはいくつでも)

	n = 912	
1	食料の備蓄	68.8%
2	飲料水の備蓄	76. 8
3	簡易トイレの備蓄	66. 6
4	家具類の転倒・落下・移動防止やガラス飛散防止	33. 9
5	消火器の備え	53. 2
6	救急セットの備え	41.7
7	バールやハンマーなどの救助用工具の備え	12.8
8	貴重品を持ち出す準備	19. 1
9	風呂などへの水のため置き	15. 0
10	救命救助の講習会への参加	6. 7
11	町会・自治会などの地域の防災訓練への参加	13. 2
12	避難方法、避難場所の確認	34. 8
13	家庭での連絡方法などの話し合い	26. 5
14	建物の補強	3. 1
15	その他	2. 5
16	特にない	4. 5
	(無回答)	2. 4

家庭での災害に対する備えは、「飲料水の備蓄」(76.8%) が8割近くで最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(68.8%)、「簡易トイレの備蓄」(66.6%)、「消火器の備え」(53.2%)、「救急セットの備え」(41.7%)、「避難方法、避難場所の確認」(34.8%) などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「簡易トイレの備蓄」は18.7ポイント、「飲料水の備蓄」は9.0ポイント、「食料の備蓄」は8.6ポイント増加している。(図表2-1-1)



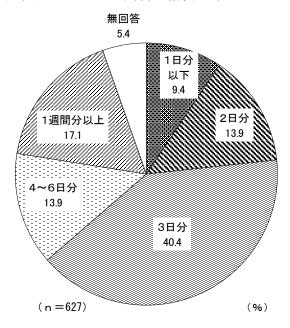


食料の備蓄日数は、「3日分」(40.4%)が4割で最も高く、平均備蓄日数は4.09日分となっている。(図表2-1-2)

飲料水の備蓄日数は、 $\begin{bmatrix} 3 & 1 & 1 \end{bmatrix}$  (34.4%) が 3割台半ばで最も高く、平均備蓄日数は4.84日分となっている。(図表 2-1-3)

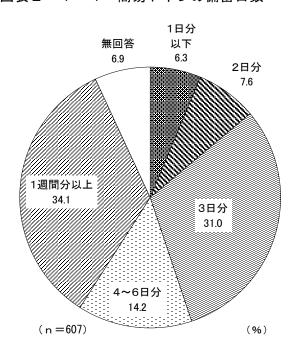
簡易トイレの備蓄日数は、「1週間分以上」(34.1%)が3割台半ばで最も高く、平均備蓄日数は8.08日分となっている。(図表2-1-4)

図表2-1-2 食料の備蓄日数



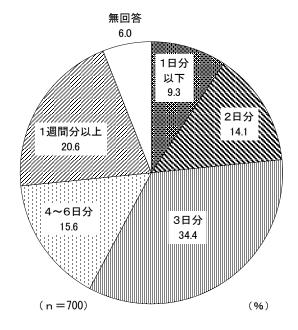
平均備蓄日数: 4.09日

図表2-1-4 簡易トイレの備蓄日数



平均備蓄日数:8.08日

図表2-1-3 飲料水の備蓄日数



平均備蓄日数:4.84日

過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「飲料水の備蓄」と「食料の備蓄」が引き続き上位 2 項目となっている。(図表 2-1-5)

図表2-1-5 家庭での災害に対する備え一過年度比較

(%)

				_	,			,									_		(%)
調 査 年	n	飲料水の備蓄	食料の備蓄	簡易トイレの備蓄	消火器の備え	救急セットの備え	避難方法、避難場所の確認	防止やガラス飛散防止家具類の転倒・落下・移動	合い の連	品を持ち出す準	などへの水	防災訓練への参加町会・自治会などの地域の	工具の備えれやハンマーなどの	救命救助の講習会への参加	建物の補強	その他	特にない	無回答	備え 消火器・救急セットなどの
令和7年	912	76.8	68.8	66. 6	53. 2	41.7	34.8	33. 9	26.5	19. 1	15.0	13. 2	12.8	6.7	3. 1	2.5	4.5	2.4	*
令和6年	875	67.8	60.2	47. 9	52.5	38.6	37.0	31.3	29. 3	20.2	17.4	10.7	14.2	7.9	3. 7	2.6	8.8	1.0	*
令和5年	850	70.5	65. 6	52. 2	55.3	37. 1	36. 1	32. 7	27. 5	18.7	17. 1	14. 4	13.2	8.7	4. 5	2.7	9.5	0.6	*
令和4年	1,004	72.0	67. 1	49. 7	*	*	38. 4	36.3	26.8	22.0	20. 5	13.0	13.5	9.1	5.6	2.6	9.8	0.9	47.3
令和3年	1, 101	71.3	66. 3	46.6	*	*	38. 3	34. 2	27. 2	22.4	20.7	11.3	11.7	6. 7	4.6	1.8	8. 7	1.7	50.6
令和2年	1, 161	69. 1	65. 1	40.1	*	*	34. 4	33.0	27. 6	20. 2	17. 6	13.6	11.6	9.3	4. 2	2.1	11.8	1.3	45.4
令和元年	956	67.1	59. 5	41.0	<b>※</b>	*	35. 7	36. 6	29. 6	21. 2	19. 5	15.5	12.9	12.6	4. 6	2.6	11.0	1.3	49. 5
平成30年	1,056	63.4	54. 2	37. 4	*	*	33.0	36. 6	27. 5	18.8	18. 2	15.2	11.0	11.4	5.0	2.3	12.5	1.8	46.6
平成29年	1,056	66.3	58. 0	38. 7	*	*	32. 2	35. 9	30. 9	21. 1	20. 5	15.4	12.5	10.9	4. 7	1.2	11.9	2.7	47.7
平成28年	1,036	66.4	57.0	33. 2	*	*	36.0	33. 5	32. 7	19.6	23. 5	16.0	12.5	12.7	4. 5	2.6	11.1	1.1	44.8
平成27年	1,027	63.5	57. 7	33. 9	*	*	35. 3	35. 2	29. 9	23.8	20.4	16.6	11.3	10.5	5. 6	2.5	14.4	0.5	47.0
平成26年	1,041	67.0	60.7	36. 4	*	*	37. 7	37. 9	33. 5	22. 1	25. 5	16.8	12.5	14. 2	4.0	2.5	10.2	3.4	50.1
平成25年	1,047	67.1	60.6	30.0	*	*	36. 9	37.0	34. 7	24. 7	28. 5	18.6	13.1	11.2	4.8	3.1	8.8	1.5	49.5
平成24年	1, 123	67.7	58. 9	23. 5	*	*	35. 5	40.1	36. 2	26. 2	27. 0	16.5	13. 1	11.0	4. 2	2.2	9.0	1.8	51. 6
平成23年	1,097	63. 1	51.0	19.3	*	*	30. 5	36. 7	35. 1	31. 6	28. 4	11.5	8.5	6. 2	2. 3	1.9	7. 1	2.0	39. 5
平成22年	1,004	42.8	37. 3	*	*	*	26. 7	*	21.2	17. 5	21.8	16.6	6.7	7.2	5.8	1.9	19. 9	2.0	39. 5
平成21年	1,001	41.0	36. 4	*	*	*	24. 3	21.0	23. 1	13. 4	19. 9	14. 2	4.7	7.5	3.0	0.9	20.3	1.4	37. 2
平成20年	1,065	41.1	24.8	*	*	*	29. 6	23.6	26. 1	11.0	19. 5	14. 3	4.2	6.5	2. 1	1.6	20.5	1. 9	31. 7
平成19年	686	42.6	26. 5	*	*	*	24. 3	21.3	16. 9	12.8	22.6	4.5	14.0	1.6	0.7	25.8	6.0	0.7	36. 7

<sup>\*</sup> 太枠内が今回の調査の選択肢。

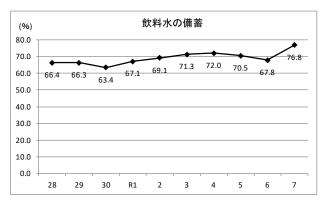
<sup>\* ※</sup>印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。

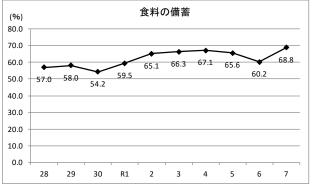
<sup>\* 「</sup>家具類の転倒・落下・移動防止やガラス飛散防止」の選択肢は、令和2年以前は「家具類の転倒防止」としていた。

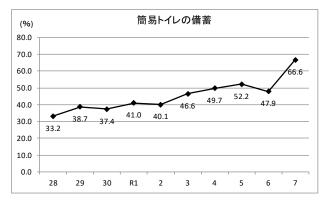
<sup>\* 「</sup>消火器の備え」、「救急セットの備え」の選択肢は、令和4年以前は「消火器・救急セットなどの備え」としていた。

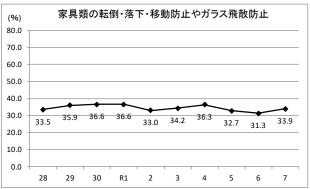
「飲料水の備蓄」、「食料の備蓄」、「簡易トイレの備蓄」、「家具類の転倒・落下・移動防止やガラス飛散防止」、「家庭での連絡方法などの話し合い」について過去の調査結果と比較すると、昨年までおおむね横ばいで推移していたが、このうち「飲料水の備蓄」、「食料の備蓄」、「簡易トイレの備蓄」、「家具類の転倒・落下・移動防止やガラス飛散防止」の4つについては、昨年の調査結果と比べて増加した。(図表 2-1-6)

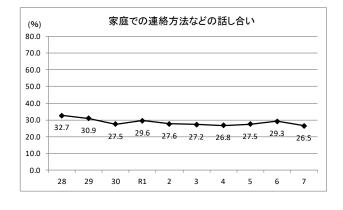
図表2-1-6 家庭での災害に対する備え一過年度比較











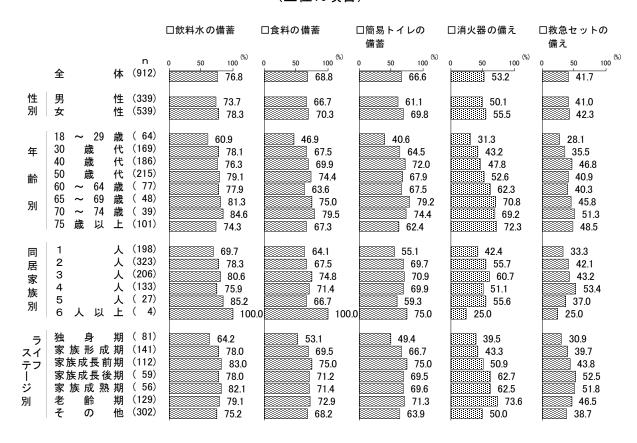
性別でみると、女性の方が男性よりも「簡易トイレの備蓄」で8.7ポイント、「避難方法、避難場所の確認」で6.5ポイント、「家庭での連絡方法などの話し合い」で5.6ポイント高くなっている。

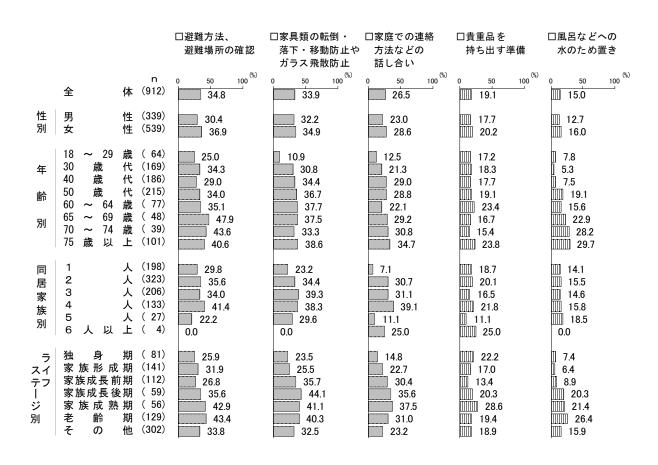
年齢別でみると、「飲料水の備蓄」は70~74歳で8割台半ばと高くなっている。「食料の備蓄」は70~74歳で8割と高くなっている。「簡易トイレの備蓄」は65~69歳で約8割と高くなっている。

同居家族別でみると、「飲料水の備蓄」は同居家族5人で8割台半ばと高くなっている。「食料の 備蓄」は同居家族3人で7割台半ばと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「飲料水の備蓄」は家族成長前期と家族成熟期で8割を超えて高くなっている。「食料の備蓄」は家族成長前期で7割台半ばと高くなっている。(図表2-1-7)

図表2-1-7 家庭での災害に対する備え一性別・年齢別・同居家族別・ライフステージ別 (上位10項目)





#### (2) 在宅避難の認知度

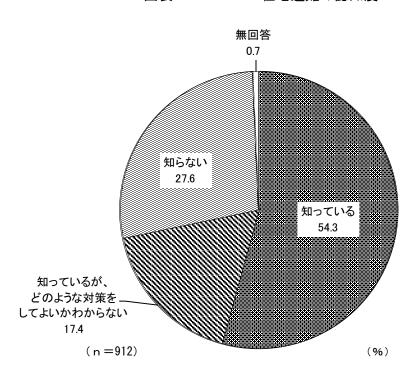
#### ◆「知っている」が5割台半ば

問5 区では発災後も自宅の安全が確保できる場合には「在宅避難」を推奨しています。あなたは、このことを知っていますか。(Oは1つ)

n = 912

	知っている	54.3%
2	知っているが、どのような対策をしてよいかわからない	17. 4
3	知らない	27.6
	(無回答)	0.7

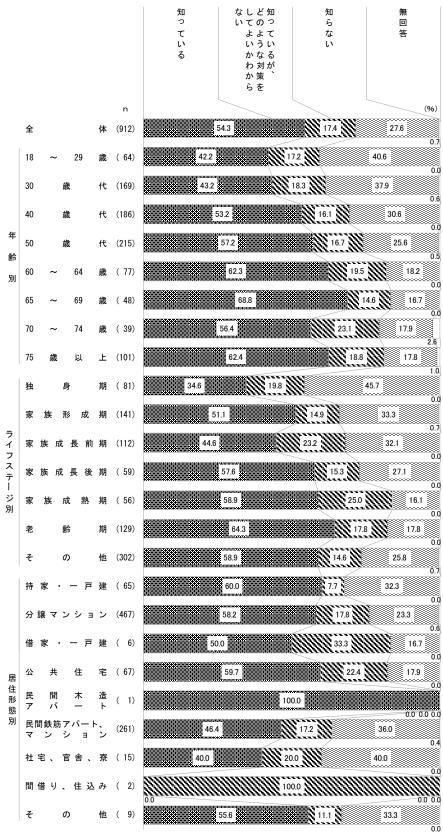
在宅避難の認知度は、「知っている」(54.3%)が5割台半ばで最も高くなっている。「知っているが、どのような対策をしてよいかわからない」(17.4%)は2割近く、「知らない」(27.6%)は3割近くとなっている。(図表2-2-1)



図表2-2-1 在宅避難の認知度

年齢別でみると、「知っている」は65~69歳で7割近くと高くなっている。 ライフステージ別でみると、「知っている」は老齢期で6割台半ばと高くなっている。 居住形態別でみると、「知っている」は持家・一戸建で6割と高くなっている。(図表2-2-2)

図表2-2-2 在宅避難の認知度-年齢別・ライフステージ別・居住形態別



#### (3) 防災拠点・防災拠点運営委員会の認知度

◆「知っているし、場所も知っている」が約6割

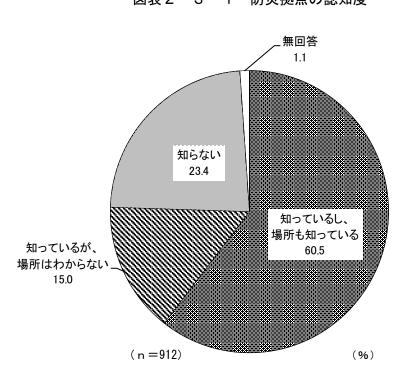
問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、災害時に火災や倒壊などにより自宅で継続して生活できない人が避難生活する場所として、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備しています。この「防災拠点」は避難所のほか救護所などの機能を持っています。また、「防災拠点」を運営するため、町会・自治会や防災区民組織が中心となり「防災拠点運営委員会」をつくり、災害に備えた協力体制をとっています。あなたは、ご自分の地域の「防災拠点」を知っていますか。(〇は1つ)

n = 912

防災拠点

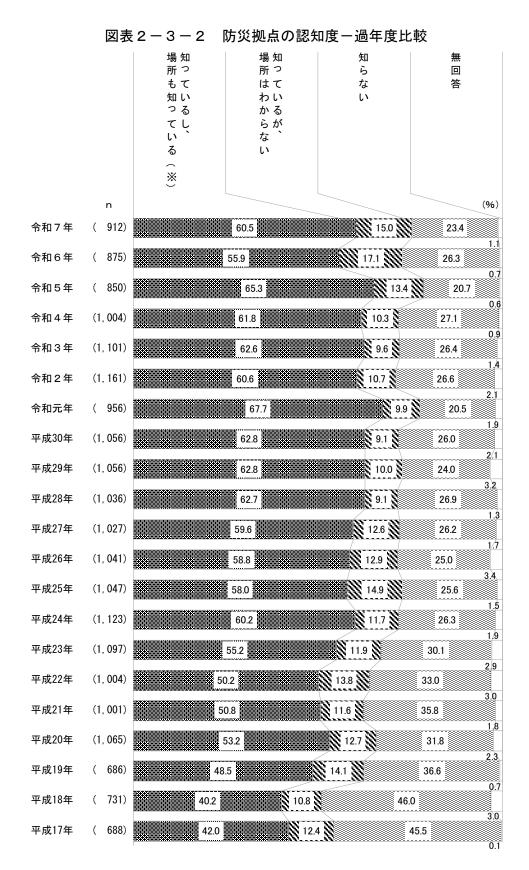
1知っているし、場所も知っている60.5%3知らない23.42知っているが、場所はわからない15.0(無回答)1.1

防災拠点の認知度は、「知っているし、場所も知っている」(60.5%) が約6割で最も高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(15.0%) は1割台半ば、「知らない」(23.4%) は2割を超えている。(図表2-3-1)



図表2-3-1 防災拠点の認知度

前回の調査結果と比較すると、「知っているし、場所も知っている」は4.6ポイント増加している。 (図表2-3-2)

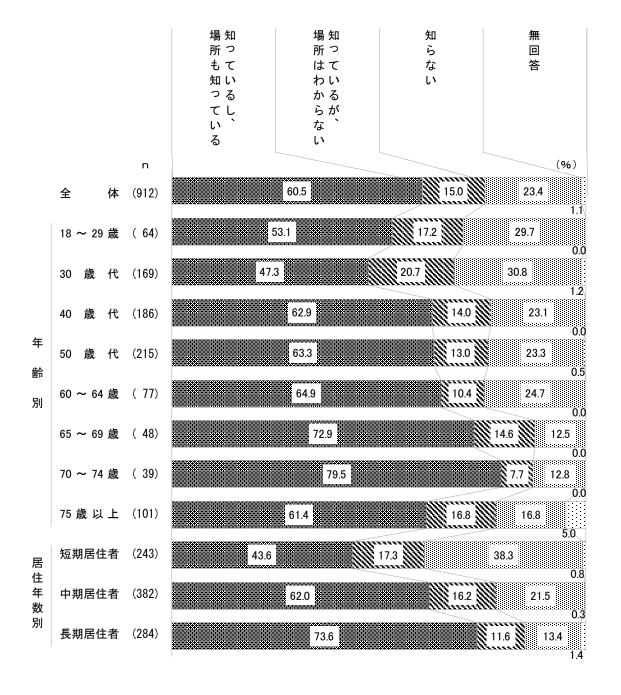


※「知っているし、場所も知っている」の選択肢は、令和5年以前は「知っている」としていた。

年齢別でみると、「知っているし、場所も知っている」は70~74歳で8割と高くなっている。 居住年数別でみると、「知っているし、場所も知っている」は長期居住者で7割を超えて高くなっている。

(図表 2 - 3 - 3)

図表2-3-3 防災拠点の認知度-年齢別・居住年数別



#### ◆「知らない」が6割台半ば

問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、災害時に火災や倒壊などにより自宅で継続して生活できない人が避難生活する場所として、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備しています。この「防災拠点」は避難所のほか救護所などの機能を持っています。また、「防災拠点」を運営するため、町会・自治会や防災区民組織が中心となり「防災拠点運営委員会」をつくり、災害に備えた協力体制をとっています。

あなたは、ご自分の地域の「防災拠点運営委員会」を知っていますか。 (〇は1つ)

n = 912

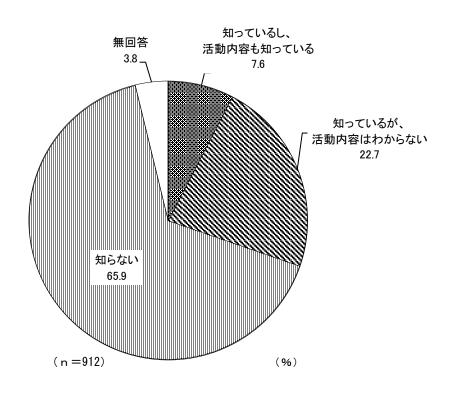
防災拠点運営委員会

**1** 知っているし、活動内容も知っている 7.6% **3** 知らない 65.9

**2** 知っているが、活動内容はわからない 22.7 (無回答) 3.8

防災拠点運営委員会の認知度は、「知らない」(65.9%)が 6 割台半ばで最も高くなっている。「知っているし、活動内容も知っている」(7.6%)は 1 割未満、「知っているが、活動内容はわからない」(22.7%)は 2 割を超えている。(図表 2-3-4)

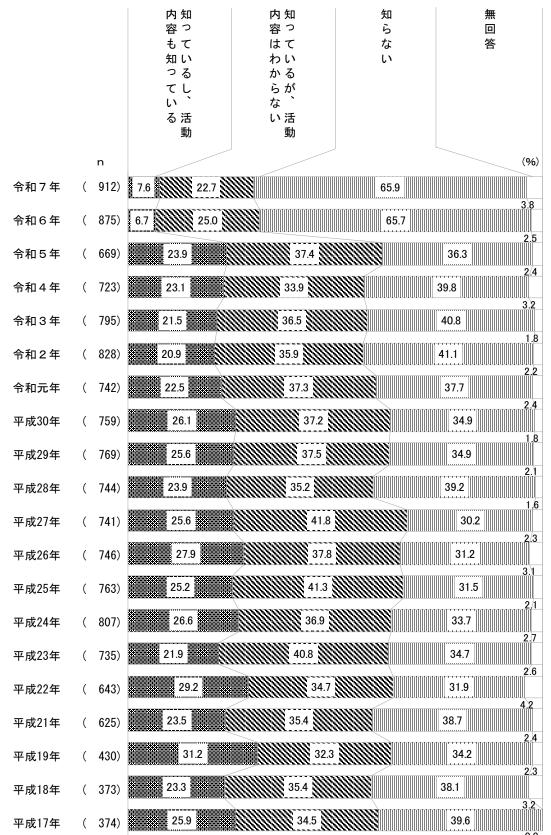
図表2-3-4 防災拠点運営委員会の認知度



回答の条件が異なるため、比較することができないが、過年度比較を参考として掲載する。

(図表2-3-5)

図表2-3-5 防災拠点運営委員会の認知度-過年度比較

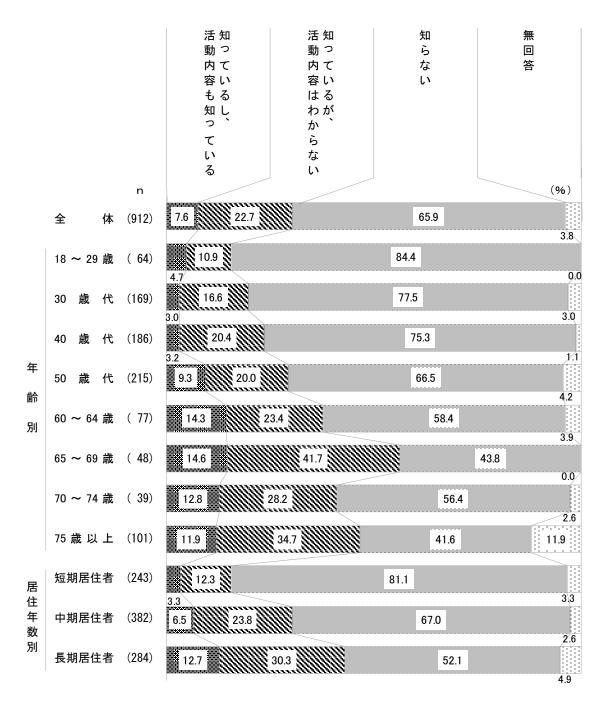


※令和5年以前は防災拠点を「知っている」または「知っているが、場所はわからない」とお答えの方のみ回答している設問。

年代別でみると、「知らない」は18~29歳で8割台半ばと高くなっている。

居住年数別でみると、「知っているが、活動内容はわからない」は長期居住者で3割となっている。(図表2-3-6)

図表2-3-6 防災拠点運営委員会の認知度-年齢別・居住年数別



#### (4) 災害時に協力したいと思う活動

#### ◆「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」が5割を超える

# 問7 大震災などの災害が起こったら、あなたが協力したいと思う活動には何がありますか。 (〇はいくつでも)

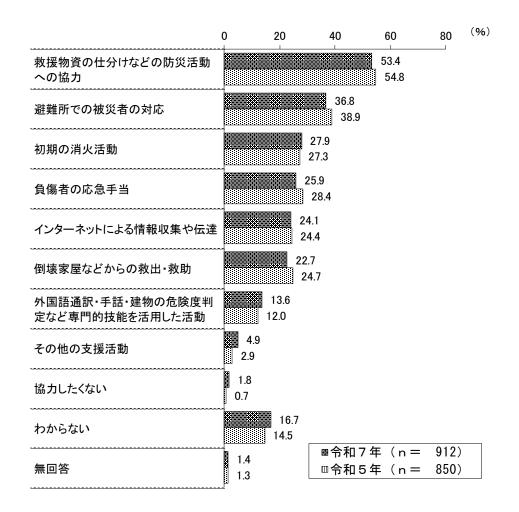
n = 912

	n = 912	
1	負傷者の応急手当	25.9%
2	倒壊家屋などからの救出・救助	22. 7
3	初期の消火活動	27. 9
4	避難所での被災者の対応	36.8
5	救援物資の仕分けなどの防災活動への協力	53. 4
6	外国語通訳・手話・建物の危険度判定など専門的技能を活用した活動	13.6
7	インターネットによる情報収集や伝達	24. 1
8	その他の支援活動	4. 9
9	協力したくない	1.8
10	わからない	16. 7
	(無回答)	1.4

災害時に協力したいと思う活動は、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」(53.4%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「避難所での被災者の対応」(36.8%)、「初期の消火活動」(27.9%)、「負傷者の応急手当」(25.9%)、「インターネットによる情報収集や伝達」(24.1%)などとなっている。

令和 5 年の調査結果と比較すると、「負傷者の応急手当」は2.5ポイント、「避難所での被災者の対応」は2.1ポイント、「倒壊家屋などからの救出・救助」は2.0ポイント、それぞれ減少している。 (図表 2-4-1)

図表2-4-1 災害時に協力したいと思う活動(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、平成30年以前の調査では、いずれも災害時に協力できると思う活動について質問していたため、単純に比較することはできないが、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」と「避難所での被災者の対応」が上位2項目となっている傾向に違いはみられない。

(図表2-4-2)

(%)

図表2-4-2 災害時に協力したいと思う活動-過年度比較

調査	n	活動への協力教援物資の仕分	避難所での被災	初期の消火活動	負傷者の応急手	集や伝達・メット	助火を受ける場合をある。	用した活動 険度判定など専 外国語通訳・手	その他の支援活	協力したくない	わからない	無回答	協力できそうも
年	11	カけなどの防災	火者の対応	<b>3</b> 90	当	- による情報収	らの救出・救	ト門的技能を活 建物の危	動				ない
令和7年	912	53.4	36.8	27.9	25. 9	24. 1	22.7	13.6	4. 9	1.8	16.7	1.4	*
令和5年	850	54.8	38.9	27.3	28.4	24.4	24.7	12.0	2. 9	0.7	14.5	1.3	*
令和2年	1, 161	52.8	31. 9	24.6	28. 7	27.1	20.2	11.3	3. 7	1. 9	14. 2	2.8	*
令和元年	956	53. 1	36.0	26. 3	29. 2	22.1	24. 5	14.0	4. 7	0.7	13. 7	3. 2	*
平成30年	1,056	53.7	41.8	29. 7	24. 1	30.0	19.8	13.0	2. 7	*	8. 7	1. 1	8. 2
平成29年	1,056	57.3	42.1	29.0	22. 1	23.6	22.0	11.9	2.5	*	9.8	1.9	8. 0
平成28年	1,036	59.6	42.6	33.0	23. 7	24.1	23.4	11.3	4. 3	*	7. 3	1.3	8.6
平成27年	1,027	55.6	46. 5	35. 5	25.0	23.7	26. 2	11.9	3. 4	*	10.4	1.9	8.5
平成26年	1,041	54. 9	46.2	34. 7	23. 2	26. 1	23. 7	10.1	4.0	*	8. 3	2.8	6.8
平成25年	1,047	59.9	48.2	34. 6	26.2	25.0	26.4	10.5	3. 2	*	7.2	1.5	7. 1
平成24年	1, 123	55.2	45.2	34.6	25.4	23. 1	25. 7	9.9	3.8	*	7. 1	2.0	6. 7
平成23年	1,097	61.7	50.9	33. 2	23.3	28. 1	23.8	10.9	3. 4	*	6.2	2.0	7. 5
平成22年	1,004	49.0	41.9	35. 7	27.0	19.1	23.6	8.6	1. 9	*	8.3	1.9	11. 1
平成21年	1,001	52.2	41.2	35.0	27.4	17.8	25.1	9.0	1.3	*	10.1	1.6	10.8
平成20年	1,065	52.2	39. 3	33.4	22.4	15.9	24. 5	7.8	1.5	*	11.2	2.5	8. 5
平成19年	686	43.6	41.5	37. 5	31.3	15.6	29. 5	5.6	1. 9	*	10.1	1.6	8.5

<sup>\*</sup> 太枠内が今回の調査の選択肢。

<sup>\* ※</sup>印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。

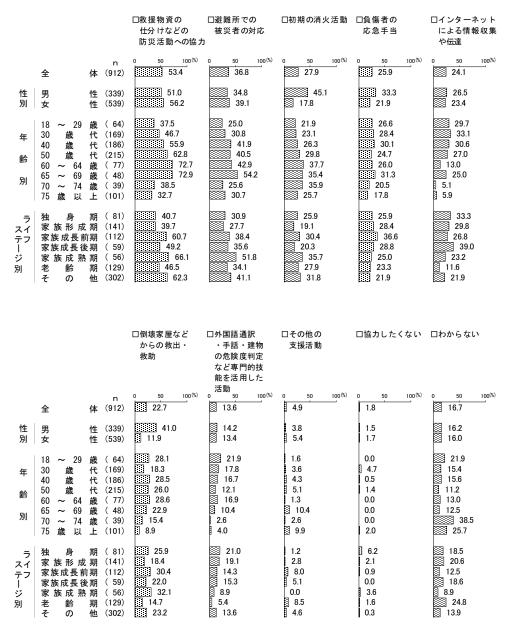
<sup>\*</sup> 平成30年以前は、「大震災などの災害が起こったら、お住いの近くであなたが協力できると思う活動には何がありますか。(○はいくつでも)と質問していた。

性別でみると、男性の方が女性よりも「倒壊家屋などからの救出・救助」で29.1ポイント、「初期の消火活動」で27.3ポイント、「負傷者の応急手当」で11.4ポイントそれぞれ高くなっている。 一方、女性の方が男性よりも「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」で5.2ポイント、「避難所での被災者の対応」で4.3ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」は60~64歳と65~69歳で7割を超えて高くなっている。「避難所での被災者の対応」は65~69歳で5割台半ばと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」は家族成熟期で 6 割台半ばと高くなっている。「避難所での被災者の対応」は家族成熟期で 5 割を超えて高くなっている。(図表 2-4-3)

図表2-4-3 災害時に協力したいと思う活動-性別・年齢別・ライフステージ別



#### (5) 災害情報を得る手段として有効だと思うもの

#### ◆「インターネット」が6割

# 問8 災害情報を得る手段として、一般のテレビ・ラジオ以外にあなたが有効だと思うものは何ですか。(Oはいくつでも)

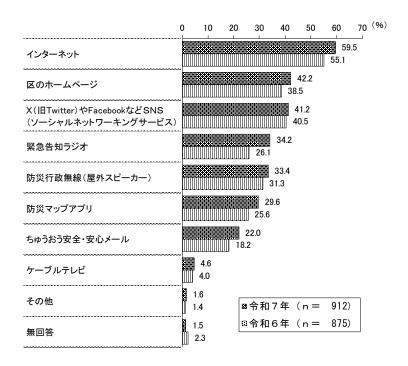
n = 912

	n = 912	
1	区のホームページ	42.2%
2	防災マップアプリ	29.6
3	ちゅうおう安全・安心メール	22.0
4	インターネット	59. 5
5	X (旧Twitter) やFacebookなどSNS (ソーシャルネットワーキングサービス)	41.2
6	防災行政無線(屋外スピーカー)	33. 4
7	緊急告知ラジオ**	34. 2
8	ケーブルテレビ	4.6
9	その他	1.6
	(無回答)	1. 5

(※) 緊急告知ラジオ 大きな地震や水害など緊急を要する災害の発生時に自動的に電源が入り、災害情報や避難情報などの緊急放送を受信できるラジオです。区では、平成23年度より区民の皆さんへ有償頒布を実施しています。

災害情報を得る手段として有効だと思うものは、「インターネット」(59.5%)が 6割と最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(42.2%)、「X (旧Twitter) やFacebookなど SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)」(41.2%)、「緊急告知ラジオ」(34.2%)、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(33.4%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「緊急告知ラジオ」は8.1ポイント、「インターネット」は4.4ポイント、「防災マップアプリ」は4.0ポイント、「ちゅうおう安全・安心メール」は3.8ポイント、「区のホームページ」は3.7ポイント、それぞれ増加している。(図表 2-5-1)



図表2-5-1 災害情報を得る手段として有効だと思うもの(複数回答)

過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「インターネット」は平成27年以降5割以上で推移している。(図表2-5-2)

											(%)
調査年	n	インターネット	区のホームペー ジ	Y (旧Twitter) や (ソー シャルネットワーキング サービス)	緊急告知ヲジオ	カー)防災行政無線(屋外スピー	防災マップアプリ	ちゅうおう安全・安心メール	ケーブルテレビ	その他	吟回 浦
令和7年	912	59.5	42. 2	41.2	34. 2	33.4	29.6	22.0	4.6	1.6	1.5
令和6年	875	55.1	38. 5	40.5	26. 1	31.3	25.6	18. 2	4.0	1.4	2.3
令和5年	850	58.5	42.0	40.4	30. 5	35.4	26.9	20.7	4.0	1.5	1.3
令和4年	1,004	61.0	31.4	42.3	30. 1	27. 9	23.2	19.7	3.0	0.9	2. 5
令和3年	1, 101	53.0	42.6	39.0	28. 7	33.8	27.2	22. 2	3.8	2. 5	2.3
令和2年	1,161	56.2	35. 8	40.7	32. 6	33.0	24.7	22.0	3.9	1.3	2.5
令和元年	956	51.4	28. 7	36.3	36. 1	38. 1	25. 2	20.6	3.8	1.9	3. 9
平成30年	1,056	54.6	29. 9	38.9	37. 3	37.2	19.0	18.4	6.0	1.8	3. 2
平成29年	1,056	52.0	26. 9	38.9	42.0	38.8	*	19.0	4.6	1.8	3.0
平成28年	1,036	52.7	27. 5	38.3	40.2	40.6	*	18. 5	6.9	2.4	2. 2
平成27年	1,027	50.1	28.6	31.6	42.7	39.6	*	14. 1	7.9	1. 9	3. 7
平成26年	1,041	49.4	25. 4	30.5	45. 6	40.7	*	16. 5	7.0	2. 3	4. 1
平成25年	1,047	46.7	26. 7	29.5	47. 3	47.3	*	16. 1	9.9	2.8	2.9
平成24年	1, 123	45.5	22. 1	27.6	48.8	44.5	*	15.0	7.2	3.0	3. 9

図表2-5-2 災害情報を得る手段として有効だと思うもの一過年度比較

<sup>\* ※</sup>印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。

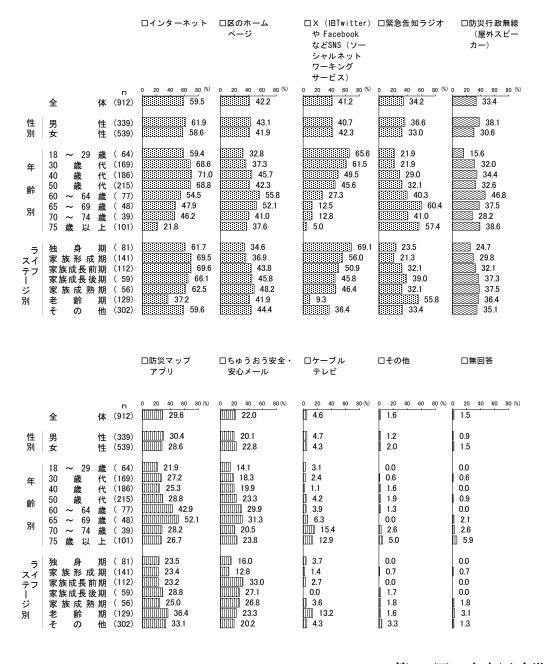
性別でみると、男性の方が女性よりも「防災行政無線(屋外スピーカー)」で7.5ポイント高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「ちゅうおう安全・安心メール」で2.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「インターネット」は40歳代で7割を超えて高くなっている。「X(旧Twitter)やFacebookなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」はおおむね年代が下がるほど割合が高くなっており、 $18\sim29$ 歳で6割台半ばと高くなっている。「緊急告知ラジオ」は $65\sim69$ 歳で6割と高くなっている。

ライフステージ別でみると、「インターネット」は家族形成期と家族成長前期で7割と高くなっている。「X (旧Twitter) やFacebookなどSNS (ソーシャルネットワーキングサービス)」は独身期で約7割と高くなっている。「緊急告知ラジオ」は老齢期で5割台半ばと高くなっている。

(図表 2-5-3)

図表2-5-3 災害情報を得る手段として有効だと思うもの一性別・年齢別・ライフステージ別



### 【3 健康診査】

(※)健康診査 勤務先で実施する定期健康診断、区や加入している健康保険で実施してい る健康診査、人間ドックなどです。

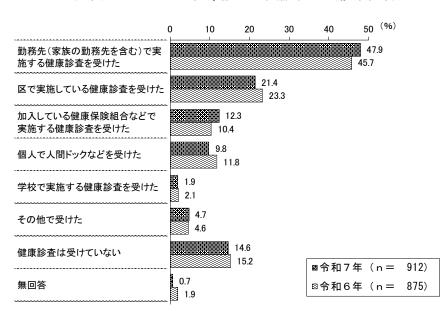
#### (1) 健康診査の受診状況

◆「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」が5割近く

問9	あなたは、この 1 年間に健康診査(健康診断)を受けましたか。(Oはいくつ	でも)
	n = 912	
1	区で実施している健康診査を受けた	21.4%
2	勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた	47.9
3	加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた	12.3
4	個人で人間ドックなどを受けた	9.8
5	学校で実施する健康診査を受けた	1.9
6	その他で受けた	4.7
7	健康診査は受けていない	14.6
	(無回答)	0.7

健康診査の受診状況は、「勤務先 (家族の勤務先を含む) で実施する健康診査を受けた」(47.9%) が5割近くで最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」(21.4%)、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」(12.3%)、「個人で人間ドックなどを受けた」(9.8%) などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」(14.6%) は1割台半ばとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」は2.2ポイント増加している。(図表3-1-1)



図表3-1-1 健康診査の受診状況(複数回答)

過去の調査結果と比較すると、「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」 と「区で実施している健康診査を受けた」が引き続き上位2項目となっている。(図表3-1-2)

図表3-1-2 健康診査の受診状況-過年度比較

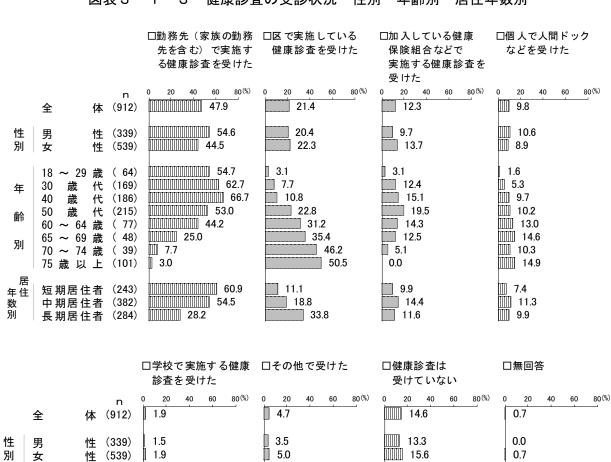
									(%)
調査年	n	実施する健康診査を受けた勤務先(家族の勤務先を含む)で	たで実施している健康診査を受け	実施する健康診査を受けた加入している健康保険組合などで	個人で人間ドックなどを受けた	学校で実施する健康診査を受けた	その他で受けた	健康診査は受けていない	無回答
令和7年	912	47.9	21.4	12.3	9.8	1.9	4.7	14.6	0.7
令和6年	875	45. 7	23.3	10.4	11.8	2.1	4.6	15. 2	1.9
令和5年	850	49.3	25.8	10.8	8. 7	1.6	4.1	14.0	0.7
令和4年	1,004	47.7	25. 7	8.4	8.4	2.0	3. 9	15.8	0.3
令和3年	1, 101	47.3	21.8	8.1	9.8	1.7	3. 9	18.5	0.7
令和2年	1, 161	45.0	19.0	10.2	7. 2	1.1	3.5	21.3	0.9
令和元年	956	44. 2	25.3	10.0	8.9	1.8	4.8	16.5	0.6
平成30年	1,056	44. 7	25. 7	9.8	8.8	1.3	3.4	16.1	0.6
平成29年	1,056	42.9	24.6	8.6	8.5	2.2	4.5	17.8	1.8
平成28年	1,036	42.5	27. 2	8.9	9.0	1.5	4.2	17.2	0.6
平成27年	1,027	40.9	27.3	8.8	7.8	1.7	3.8	18.7	1.3
平成26年	1,041	38. 9	25.8	6.8	8.1	1.5	4.7	21.1	2.0
平成25年	1,047	39.5	27.8	8.9	9.6	1.0	4.0	19.0	1.9

<sup>\* 「</sup>加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」の選択肢は、平成25年は「加入している健康保険で実施する健康診査を受けた」としていた。

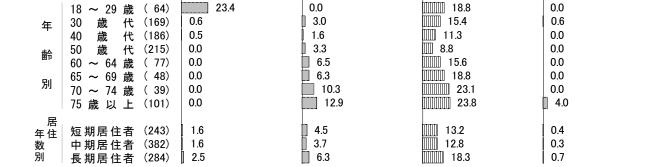
性別でみると、女性の方が男性よりも「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受 けた」で4.0ポイント、「区で実施している健康診査を受けた」で1.9ポイント、それぞれ高くなっ ている。一方、男性の方が女性よりも「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受け た」で10.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」は40歳代で7 割近くと高くなっている。「区で実施している健康診査を受けた」は75歳以上で約5割と高くなっ ている。

居住年数別でみると、「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」は短期居 住者で約6割と高くなっている。「区で実施している健康診査を受けた」は長期居住者で3割を超 えて高くなっている。(図表3-1-3)



図表3-1-3 健康診査の受診状況-性別・年齢別・居住年数別



5.0

0.7

性 (539)

女

1.9

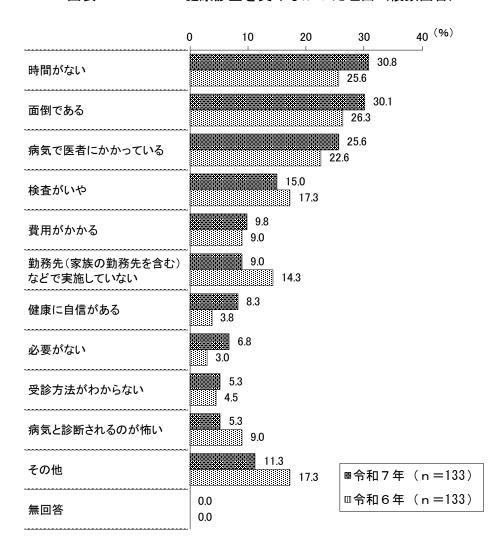
#### (2) 健康診査を受けなかった理由

#### ◆「時間がない」が約3割

''	引9で、「7 健康診査は受けていない」とお答えの方に) 9-1 あなたが健康診査を受けなかった理由は何ですか。(○はいく	つでも)
	n = 133	
1	勤務先(家族の勤務先を含む)などで実施していない	9.0%
2	受診方法がわからない	5. 3
3	必要がない	6.8
4	時間がない	30.8
5	面倒である	30. 1
6	健康に自信がある	8.3
7	病気で医者にかかっている	25.6
8	検査がいや	15.0
9	病気と診断されるのが怖い	5. 3
10	費用がかかる	9.8
11	その他	11.3
	(無回答)	0.0

問9で、「健康診査は受けていない」と回答した方の、健康診査を受けなかった理由は、「時間がない」(30.8%)が約3割で最も高くなっている。次いで、「面倒である」(30.1%)、「病気で医者にかかっている」(25.6%)などとなっている。また、「その他」の回答として、「妊娠中のため」、「育児休業中だったため」などがあげられている。

昨年の調査結果と比較すると、「時間がない」は5.2ポイント、「健康に自信がある」は4.5ポイント増加している。一方、「勤務先(家族の勤務先を含む)などで実施していない」は5.3ポイント、「病気と診断されるのが怖い」は3.7ポイント減少している。(図表3-2-1)



図表3-2-1 健康診査を受けなかった理由(複数回答)

過去の調査結果と比較すると、「時間がない」と「面倒である」、「病気で医者にかかっている」 が引き続き上位3項目となっている。(図表3-2-2)

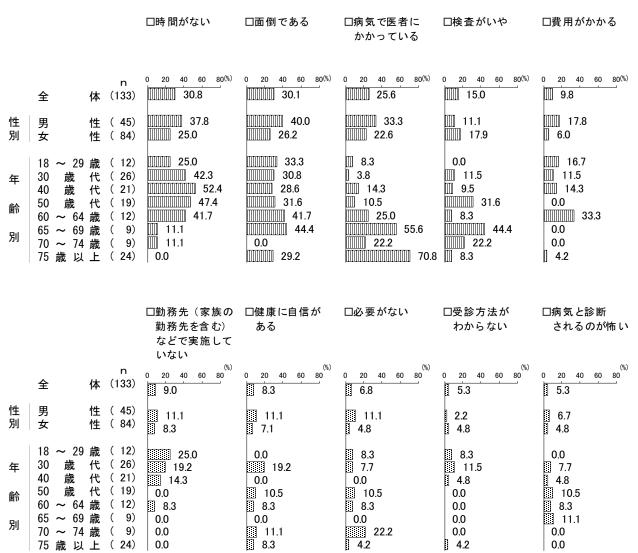
図表3-2-2 健康診査を受けなかった理由-過年度比較

													(%)
調査年	n	時間がない	面倒である	病気で医者にかかっている	検査がいや	費用がかかる	などで実施していない 勤務先 (家族の勤務先を含む)	健康に自信がある	必要がない	受診方法がわからない	病気と診断されるのが怖い	その他	無回答
令和7年	133	30.8	30.1	25.6	15.0	9.8	9.0	8.3	6.8	5.3	5.3	11.3	0.0
令和6年	133	25.6	26.3	22.6	17.3	9.0	14.3	3.8	3.0	4.5	9.0	17.3	0.0
令和5年	119	36. 1	31.1	20.2	11.8	13.4	5.9	9.2	5.0	7.6	7.6	20.2	0.0
令和4年	159	27.7	15.1	23.9	7.5	5.0	11.3	5. 7	6.3	7.5	4.4	28.3	0.6
令和3年	204	20.6	20.1	20.6	10.8	8.3	11.8	6.4	3.9	3.9	6.9	28.9	0.0
令和2年	247	28. 7	18.6	17.4	11.3	6.9	10.5	7. 3	4.0	4.5	7. 7	31.6	0.8
令和元年	158	33. 5	22.2	20.3	11.4	9.5	10.8	7.6	7.0	4.4	10.8	13.3	0.6
平成30年	170	28. 2	13.5	25.3	4.1	9.4	13.5	7. 1	6.5	5.9	3. 5	14.7	1.2
平成29年	188	26. 1	21.3	22.3	12.8	12.2	10.1	8.0	6.9	5.9	10.1	17.0	2.1
平成28年	178	27. 5	19.1	16.9	14.6	12.9	14.6	8.4	6. 7	4.5	6.2	16. 9	1.1
平成27年	192	32.3	23.4	15.6	14. 1	14.6	9.9	9.4	7.3	6.3	9.9	12.0	3. 1
平成26年	220	29. 1	14.5	18.2	12.3	14. 1	15.0	4.1	5. 9	6.4	6.8	18.2	0.0
平成25年	199	34. 7	17.1	16.6	7.5	9.5	12.6	7.0	7.5	6.5	6.0	19.1	0.5

性別でみると、男性の方が女性よりも「面倒である」で13.8ポイント、「時間がない」で12.8ポイント、「費用がかかる」で11.8ポイント、「病気で医者にかかっている」で10.7ポイント高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「検査がいや」で6.8ポイント、高くなっている。

年齢別でみると、「時間がない」は40歳代で5割を超えて高くなっている。「病気で医者にかかっている」は75歳以上で約7割と高くなっている。(図表3-2-3)

図表3-2-3 健康診査を受けなかった理由-性別・年齢別



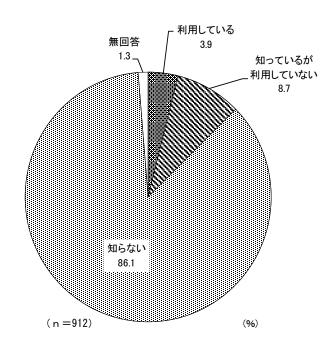
## 【4 健康アプリ事業】

#### (1) 健康アプリの利用状況

◆「利用している」は1割に満たない

問10 あなたは中央区健康アプリ「ちゅうおうヘルス&ウォーク」を利用していますか。 (〇は1つ)		
n = 912		
1 利用している	3.9%	
2 知っているが利用していない	8.7	
3 知らない	86. 1	
(無回答)	1. 3	

健康アプリの利用状況は、「利用している」(3.9%)が1割未満となっている。また、「知っているが利用していない」は(8.7%)、「知らない」(86.1%)となっている。(図表4-1-1)



図表4-1-1 健康アプリの利用状況

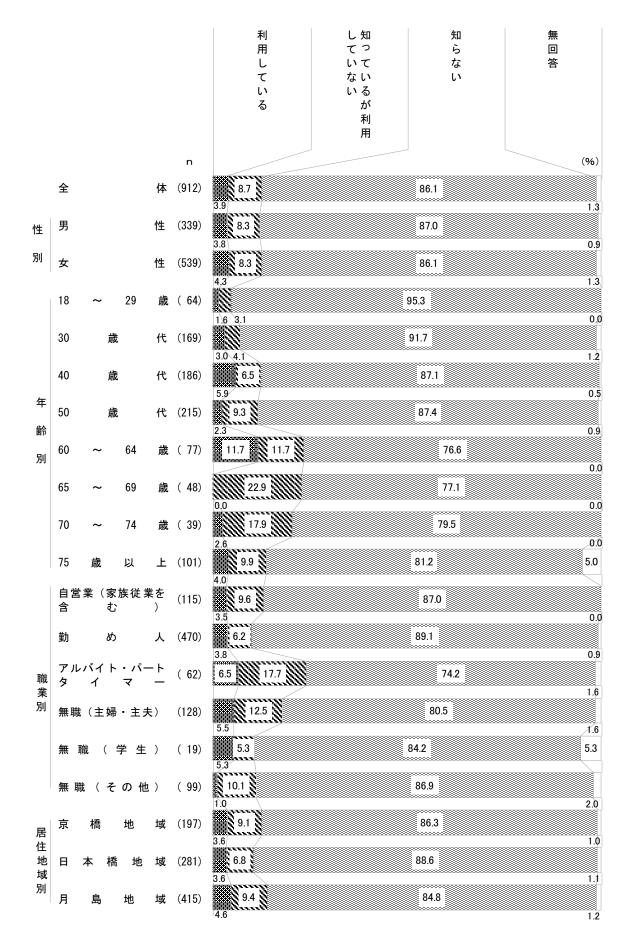
性別でみると、「知らない」は男性で9割近く、女性で8割台半ばとなっている。

年齢別でみると、「利用している」は60~64歳で1割を超えている。

職業別でみると、「知っているが利用していない」はアルバイト・パートタイマーで2割近くとなっている。

居住地域別でみると、「知らない」は日本橋地域で9割近くとなっている。(図表4-1-2)

図表4-1-2 健康アプリの利用状況-性別・年齢別・職業別・居住地域別



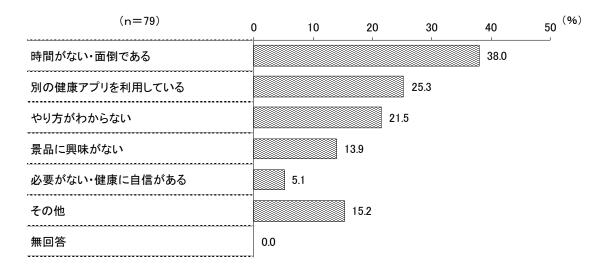
#### (2) 利用していない理由

#### ◆「時間がない・面倒である」が4割近く

(問10で、「2 知っているが利用していない」とお答えの方に) 問10-1 あなたが中央区健康アプリを利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)		
	n = 79	
1	やり方がわからない	21.5%
2	必要がない・健康に自信がある	5. 1
3	時間がない・面倒である	38.0
4	別の健康アプリを利用している	25. 3
5	景品に興味がない	13. 9
6	その他	15. 2
	(無回答)	0.0

利用していない理由は、「時間がない・面倒である」(38.0%) が4割近くで最も高くなっている。 次いで、「別の健康アプリを利用している」(25.3%)、「やり方がわからない」(21.5%) などとなっている。また、「その他」の回答として、「そのうちやるつもり」や「利用するためのツールがない」などがあげられている。(図表4-2-1)

図表4-2-1 利用していない理由(複数回答)

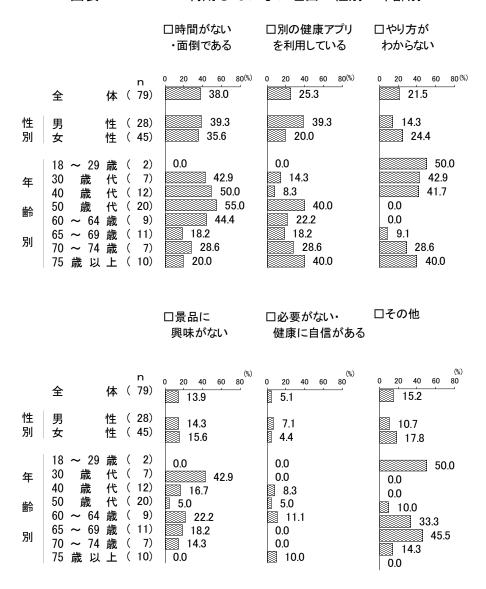


性別でみると、男性の方が女性よりも「別の健康アプリを利用している」で19.3ポイント高く、女性の方が男性よりも「やり方がわからない」で10.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「時間がない・面倒である」は50歳代で5割台半ばと高くなっている。

(図表4-2-2)

図表4-2-2 利用していない理由-性別・年齢別



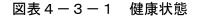
# (3) 健康状態

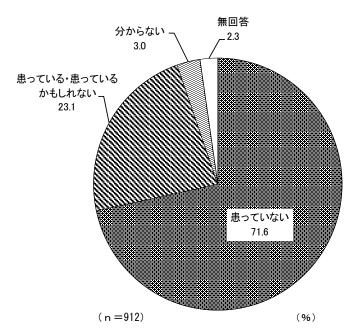
# ◆「患っていない」が7割を超える

# 問11 あなたは今、高血圧症、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病を 患っていますか。(〇は1つ)

	n = 912	
1	患っていない	71.6%
2	患っている・患っているかもしれない	23. 1
3	分からない	3.0
	(無回答)	2.3

健康状態は、「患っていない」(71.6%)が 7割を超えて最も高くなっている。次いで、「患っている・患っているかもしれない」(23.1%)、「分からない」(3.0%)となっている。(図表 4-3-1)





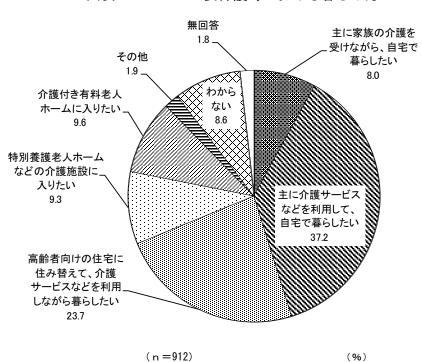
# 【5 高齢者施策】

# (1) 要介護時における暮らし方

◆「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」が4割近く

問1	2 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。 (もっとも近い考え1つ)	つに()
	n = 912	
1	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	8.0%
2	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	37. 2
3	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	23.7
4	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	9.3
5	介護付き有料老人ホームに入りたい	9.6
6	その他	1.9
7	わからない	8.6
	(無回答)	1.8

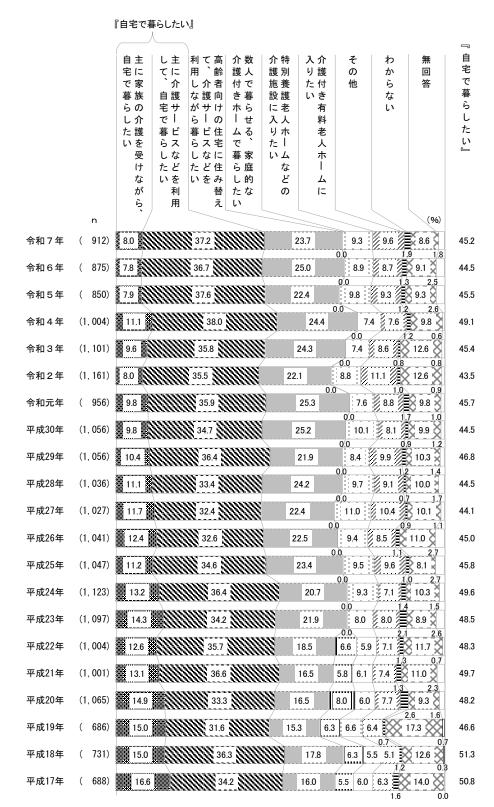
要介護時における暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(37.2%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(23.7%)、「介護付き有料老人ホームに入りたい」(9.6%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」(9.3%)などとなっている。(図表5-1-1)



図表5-1-1 要介護時における暮らし方

過去の調査結果と比較すると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は平成 17年以降 3 割台で推移している。(図表 5-1-2)

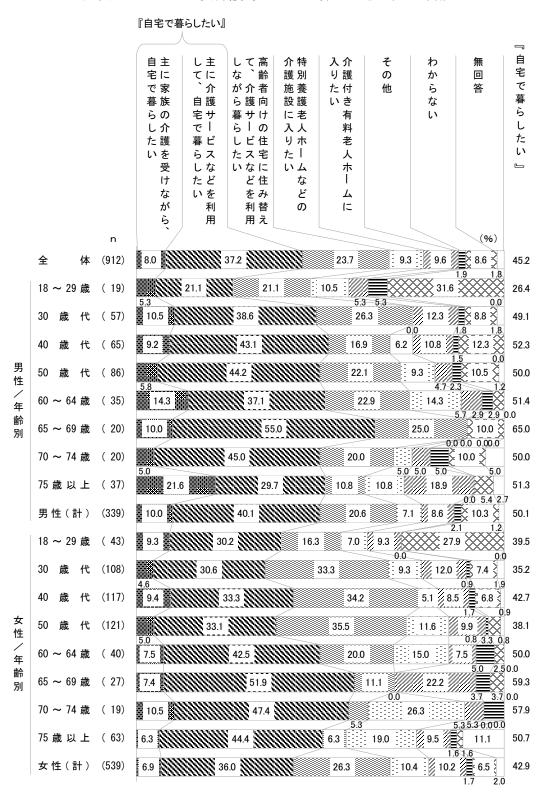
図表5-1-2 要介護時における暮らし方-過年度比較



<sup>\*「</sup>数人で暮らせる、家庭的な介護付きホームで暮らしたい」は、平成23年以降選択肢に含まれていない。

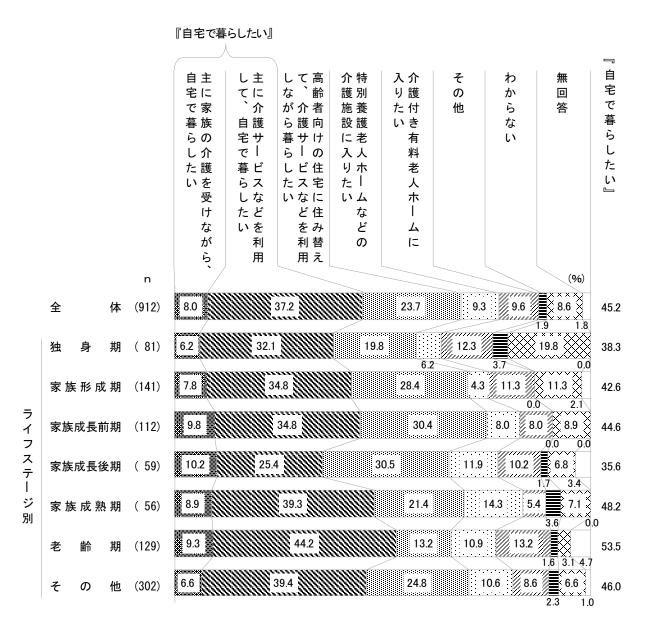
性/年齢別でみると、『自宅で暮らしたい』は男性の $65\sim69$ 歳で6割台半ば、女性の $65\sim69$ 歳で約6割と高くなっている。「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は男性の $65\sim69$ 歳で5割台半ばと高くなっている。「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は女性の50歳代で3割台半ばと高くなっている。(図表5-1-3)

図表5-1-3 要介護時における暮らし方-性/年齢別



ライフステージ別でみると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は老齢期で4割台半ばと高くなっている。「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は家族成長後期で約3割となっている。(図表5-1-4)

図表5-1-4 要介護時における暮らし方-ライフステージ別



# (2) 区に望む高齢者保健福祉サービス

◆「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」が約6割

問13 あなたは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で、 区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。(Oはいくつでも)

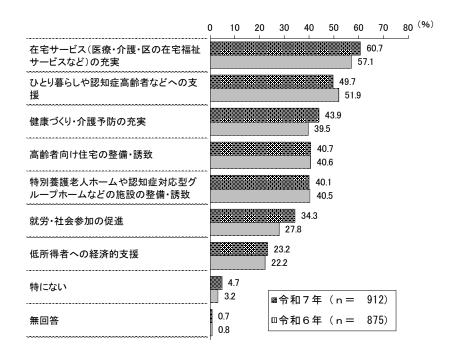
	n = 912	
1	健康づくり・介護予防の充実	43.9%
2	就労・社会参加の促進	34. 3
3	在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実	60.7
4	特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致	40. 1
5	高齢者向け住宅の整備・誘致	40.7
6	ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援	49.7
7	低所得者への経済的支援	23. 2
8	特にない	4. 7
	(無回答)	0.7

区に望む高齢者保健福祉サービスは、「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど) の充実」(60.7%)が約6割と最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへ の支援」(49.7%)、「健康づくり・介護予防の充実」(43.9%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(40.7%)、 「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(40.1%) などと なっている。

昨年の調査結果と比較すると、「就労・社会参加の促進」は6.5ポイント増加している。

(図表5-2-1)

図表5-2-1 区に望む高齢者保健福祉サービス(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充 実」と「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」が引き続き上位2項目となっている。

(図表5-2-2)

図表5-2-2 区に望む高齢者保健福祉サービスー過年度比較

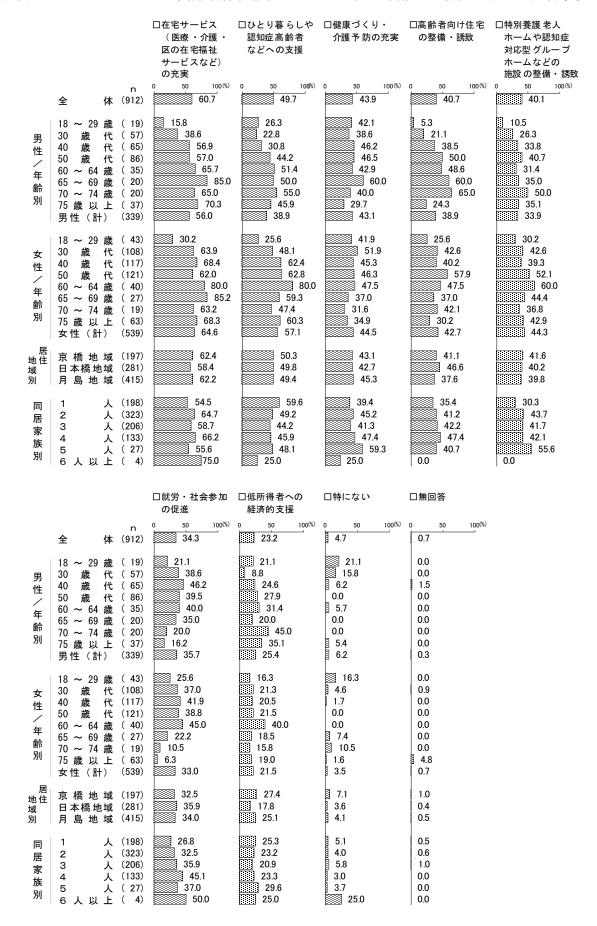
										(%)
調査年	n	在宅福祉サービスなど)の充実在宅サービス(医療・介護・区の	への支援への支援のとり暮らしや認知症高齢者など	健康づくり・介護予防の充実	高齢者向け住宅の整備・誘致	備・誘致型がルー プホー ムなどの施設の整型グルー プホー ムなどの施設の整特別養護老人ホー ムや認知症対応	就労・社会参加の促進	低所得者への経済的支援	特にない	無回答
令和7年	912	60.7	49.7	43.9	40.7	40.1	34.3	23. 2	4.7	0.7
令和6年	875	57. 1	51.9	39. 5	40.6	40.5	27.8	22.2	3. 2	0.8
令和5年	850	58.2	50.6	40.2	40.1	36. 1	32.4	22.4	3.8	0.5
令和4年	1,004	52.1	49. 1	35. 7	39. 1	34.8	25.5	21.4	3. 9	1.1
令和3年	1, 101	53.6	48.6	37. 1	38.2	36.9	28.5	23.0	3.2	1.4
令和2年	1, 161	51.8	46.3	35.4	39. 5	36.3	28.3	23.3	4.2	1.1
令和元年	956	52.7	48.1	38.0	37. 2	35.6	28.0	20.9	3. 3	1.4
平成30年	1,056	49.5	44.4	41.3	41.1	37.5	27. 1	21.3	2.9	1.2
平成29年	1,056	54.5	44.3	35.0	36.9	38.9	26.5	21.5	2.6	1.7
平成28年	1,036	50.8	46.1	37.2	40.5	40.7	28.3	23.4	2.8	2.0
平成27年	1,027	48.7	45.8	37.9	38. 5	37.8	28. 1	21.9	3. 5	1.4
平成26年	1,041	54.9	47.0	34. 7	39. 1	39.9	28. 1	24.7	2.2	3. 1

性/年齢別でみると、「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」は男性、女性ともに $65\sim69$ 歳で8割台半ばと高くなっている。「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」は女性の $60\sim64$ 歳で8割と高くなっている。「健康づくり・介護予防の充実」は男性の $65\sim69$ 歳で6割と高くなっている。

居住地域別でみると、「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」は京橋地域と月島地域で6割を超えている。

同居家族別でみると、「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」は同居家族 2 人と 4 人で 6 割台半ばとなっている。(図表 5-2-3)

図表5-2-3 区に望む高齢者保健福祉サービスー性/年齢別・居住地域別・同居家族別



# (3) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス

# 問13-1 問13で、あなたが〇をした選択肢を含め、区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスをお書きください。

区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスを自由に記述していただいたところ、335人から延べ387件の回答が寄せられた。問13の区に望む高齢者保健福祉サービスにおおむね沿った形で整理した。

#### (ご意見の一部)

### ■健康づくり・介護予防の充実(25件)

- まずは予防が大事だと思うので、その点を強化するといいと思う。
- 健康を維持する機会の確保。
- さまざまな健康状態に合わせた手頃な老人ホームの数を増やしてほしい。最近できていると ころは高級すぎる。
- ・ 主に高齢者たちが集まって体を動かす機会を設け、運動不足や人との関わりの希薄化を解消 する。あるいは、一人でも実施できる、自宅でできる運動プログラムなどがあればいいと思 う。
- ・健康づくりの場所を提供してほしい。体操や脳トレなどの習得と指導。

#### ■就労・社会参加の促進(28件)

- 高齢でも働ける人は働くようにする仕組みづくり。
- ・ 子どもが多い中央区なので、高齢者の方々による子守りや保育などがあると若い世代は助かり、高齢者の就労につながるのではないか。
- 高齢者グループのコミュニティ作りだけでなく、高齢者と子ども(若者)といった、高齢者が社会参加をよりしやすくなるような取り組みがあれば、相互理解が深まり、より区が発展すると考える。
- 高齢者が社会に参加する仕組みやサービスの充実(就労と趣味などの活動両方)。
- 高齢者が社会とつながりを感じられるような施策(就労、ボランティア、地域活動への参加)。

#### ■在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実(35件)

- 在宅サービスの充実。
- 訪問介護サービスで、人員の技術・接客能力の改善、向上。
- 配食サービス、在宅安全点検、訪問介護サービス、行政手続きの代行、緊急通報システムの 設置と対応など。
- 在宅サービス利用支援(補助金など)。
- ・ 介護サービスの説明・紹介活動が必要と思う。

### ■特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致(36件)

- ケアハウスの充実。施設および利用者への補助金支給。
- 希望すれば誰でも入居できる施設を増やす。
- 有料老人ホームは高くて入れない。少しでも区内で施設を増やしてもらいたいと思う。
- 中央区は土地が高いので、特別養護老人ホームが少ないのは仕方ないと思う。これからの老人問題として安心して入所できるように整備してもらいたい。

### ■高齢者向け住宅の整備・誘致(30件)

- 高齢者でも入居できる住まいの確保。
- 少子化で学校やアパート、マンション、スーパーが不要となった時、住宅などを建ててもらいたい。
- 高齢者が安心して暮らせる住宅と周辺環境の整備。
- ワンオペ介護をサポート可能な公営住宅(アパート)。
- 高齢になり所得が低くなると住宅など医療も含め不安を感じる。安心して生活ができることを望む。

## ■ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援(36件)

- ひとり暮らしの高齢者への支援サービス。
- ・ ひとり暮らしの方に寄り添い孤独死などを極力減らす。外での生活(デイサービスや高齢者の 集まり)を送ることで今後の生活や楽しさが充実すると思う。
- ・ ひとり暮らしの高齢者の安否確認、配食サービスなど。中央区に長く住み続ける人が増える につれ、単身高齢者の数が増えていると感じる。自分の居住するマンションは築15年を迎え、 住民の高齢化が著しい。
- 認知症の進行を遅らせる対処、制度が本当に必要だと思う。

#### ■低所得者への経済的支援(63件)

- 低所得者ばかり支援せず幅広く支援してほしい。
- 低所得の高齢者への家賃補助。生活費、特に食費の支援。
- 介護士への助成などによる高齢者等への支援拡大。
- 物価高のため、日常に必要な食品・日用品などを不定期でも良いので支援してほしい。

### ■その他(134件)

- 高齢者問題で、気軽に相談できるサービスがほしい。今現在、何かあった時に結局どこに相 談していいのかわからない。
- 急に職を失った時の支援をしてほしい。 2年後に税金が安くなってもあまり意味はなく、前年度の収入が多かったからと言って、無職なのに多額の徴収をするのを何とかしてほしい。

# 【6 子育て支援】

# (1) 子育てに関する悩みの相談

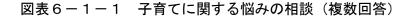
◆「配偶者・パートナー」が4割近く

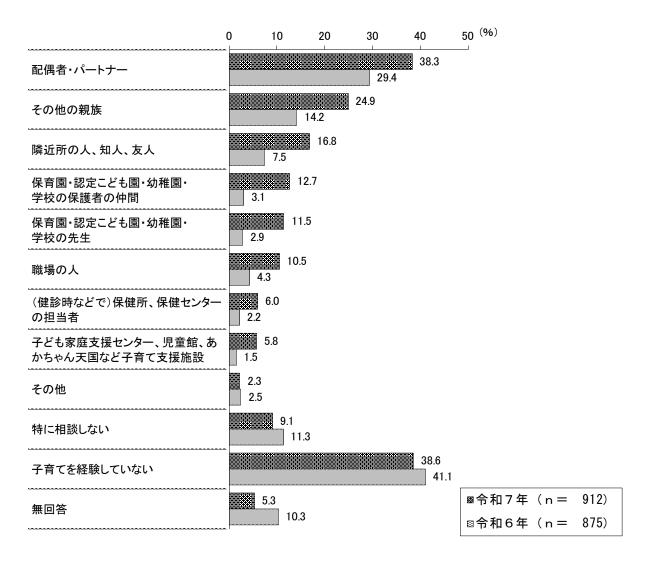
問1	4 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどこに相談しましたか。(Oは	いくつでも)
	n = 912	
1	配偶者・パートナー	38.3%
2	その他の親族	24.9
3	職場の人	10.5
4	隣近所の人、知人、友人	16.8
5	保育園・認定こども園*・幼稚園・学校の保護者の仲間	12. 7
6	保育園・認定こども園 <sup>※</sup> ・幼稚園・学校の先生	11.5
7	子ども家庭支援センター、児童館、あかちゃん天国など子育て支援施設	5.8
8	(健診時などで) 保健所、保健センターの担当者	6.0
9	その他	2.3
10	特に相談しない	9. 1
11	子育てを経験していない	38.6
	(無回答)	5.3

(※) 認定こども園 小学校に就学する前の子どもの教育・保育・子育て支援を一体的に行う施設 で、幼稚園と保育所の両方の役割を果たします。

子育てに関する悩みの相談は、「配偶者・パートナー」(38.3%)が4割近くと最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(24.9%)、「隣近所の人、知人、友人」(16.8%)、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」(12.7%)などとなっている。

(図表6-1-1)





※令和6年までは2つまで選択する形式の設問。

過去の調査結果と比較すると、回答方法が異なるため単純に比較することはできないが、「配偶者・パートナー」と「その他の親族」、「隣近所の人、知人、友人」が引き続き上位3項目となっている。(図表6-1-2)

図表6-1-2 子育てに関する悩みの相談-過年度比較

(%)

	0													(%)
調査年	n	配偶者・パートナー	その他の親族	隣近所の人、知人、友人	校の保護者の仲間保育園・認定こども園・幼稚園・学	校の先生保育園・認定こども園・幼稚園・学	職場の人	ターの担当者 (健診時などで) 保健所、保健セン	あかちゃん天国など子育て支援施設子ども家庭支援センター、児童館、	その他	特に相談しない	子育てを経験していない	無回答	区役所など行政機関
令和7年	912	38. 3	24. 9	16.8	12.7	11.5	10.5	6. 0	5.8	2.3	9. 1	38. 6	5.3	*
令和6年	875	29.4	14.2	7.5	3. 1	2.9	4.3	2.2	1.5	2.5	11.3	41.1	10.3	*
令和5年	850	37. 2	18. 1	12.8	5. 6	5.6	6.0	3. 4	3.3	2.0	8.8	39. 6	5.6	*
令和4年	1,004	32. 2	16.8	8.8	2. 1	1.6	3. 7	2.4	1.7	1.8	9.4	42.4	7. 7	*
令和3年	1, 101	37. 3	19.7	9.0	3.6	1.6	3.8	1.0	1.5	0.6	7.4	41.6	5.6	*
令和2年	1, 161	35. 3	18.2	7.8	3.5	3.3	3.3	1.4	1.0	1.3	8.2	41.9	6.5	*
令和元年	956	34. 3	20.2	9.2	3. 3	2.3	3. 1	1. 7	1.0	1.0	8.4	39. 3	7. 9	*
平成30年	1,056	35.0	18.8	7. 9	3. 7	2.8	3. 7	1.3	1.6	0.9	7.9	39. 7	8.5	*
平成29年	1,056	33.5	20.0	8.5	4.0	2.6	4.8	1.8	1.9	0.5	6.4	38.8	10.2	*
平成28年	1,036	33. 9	17.4	9.4	4.2	2.6	3.2	1.5	1.5	1.9	9.2	37.8	8.8	*
平成27年	1,027	35. 7	19. 2	10.7	4. 4	4. 2	5. 7	2. 7	1.9	1.9	8. 9	38. 0	9.0	*
平成26年	1,041	35.0	18.9	9. 7	2.2	3.6	4. 9	2.2	1.2	1.3	8.3	34.6	11.0	*
平成25年	1,047	34.8	19.2	10.8	2.7	3.2	4.6	2. 1	2.5	1.4	8. 1	33.8	11.7	*
平成24年	1, 123	32.8	17.5	10.2	2.2	2.4	5.1	1.3	1.5	1.7	6.8	38. 1	11.5	*
平成23年	1,097	31.4	17.1	11.8	3.0	2.6	5.7	1.5	0.9	0.9	7.6	36.6	12. 9	*
平成22年	1,004	35. 2	17.9	12.4	3. 1	3. 1	4.9	1.8	1.2	0.9	9.2	35.6	7. 9	*
平成21年	1,001	31.4	15.0	9.9	2.5	3.0	3.8	2. 5	*	4. 1	8. 9	34.0	12.5	1.0
平成20年	1,065	30.8	15.4	12.7	1.3	2.9	4.2	2. 7	*	1.8	8. 5	34.8	12.4	2. 1
平成19年	686	28.4	13.8	11.1	2.2	5.0	8.0	*	*	1.0	13.0	38. 2	6.3	1.7

<sup>\*</sup> 太枠内が今回の調査の選択肢。

<sup>\* ※</sup>印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。

<sup>\* 「</sup>保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」の選択肢は、平成22年以前は「保育園、幼稚園、学校の 保護者の仲間」としていた。

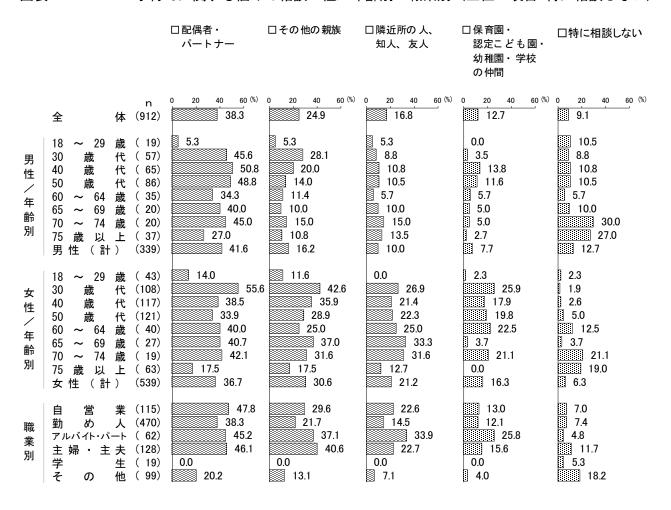
<sup>\* 「</sup>保育園・認定こども園・幼稚園・学校の先生」の選択肢は、平成22年以前は「保育士、幼稚園・学校の先生」と していた。

<sup>\*</sup> 令和6年までは2つまで選択する形式の設問。

性/年齢別でみると、「配偶者・パートナー」は女性の30歳代で5割台半ばを超えて高くなっている。「その他の親族」は女性の30歳代で4割を超えて高くなっている。

職業別でみると、「配偶者・パートナー」は自営業(家族従業を含む)で5割近くと高くなっている。「その他の親族」は主婦・主夫で約4割と高くなっている。(図表6-1-3)

図表6-1-3 子育でに関する悩みの相談-性/年齢別・職業別(上位4項目+特に相談しない)



# (2) 重要と考える子育て支援策

### ◆「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」が約4割

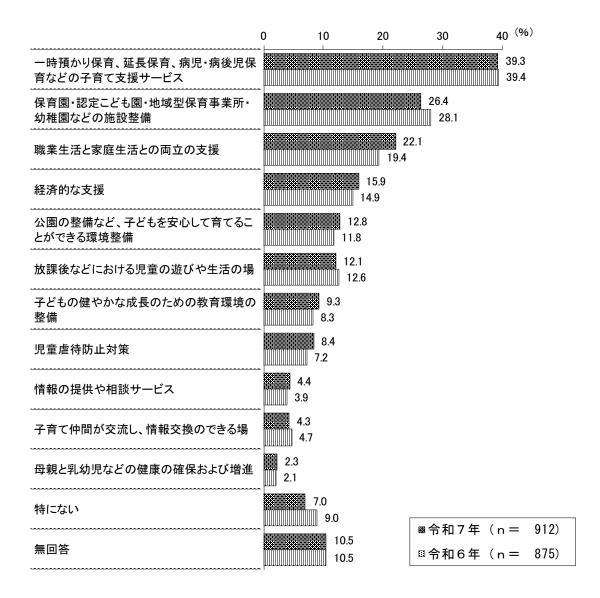
#### 問15 あなたがこれからの区の子育て支援で重要と考えるものを選んでください。 (Oは2つまで) n = 912保育園・認定こども園・地域型保育事業所\*・幼稚園などの施設整備 26.4% 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス 39. 3 子育て仲間が交流し、情報交換のできる場 4.3 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備 9.3 放課後などにおける児童の遊びや生活の場 5 12. 1 情報の提供や相談サービス 6 4.4 公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備 7 12.8 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 2.3 8 9 職業生活と家庭生活との両立の支援 22. 1 10 児童虐待防止対策 8.4 11 経済的な支援 15.9 12 特にない 7.0 (無回答) 10.5

(※) 地域型保育事業所 少人数の単位で O ~ 2歳の子どもを預かる保育事業所です。 (家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業)

重要と考える子育て支援策は、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(39.3%)が約4割で最も高くなっている。次いで、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(26.4%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(22.1%)、「経済的な支援」(15.9%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(12.8%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「職業生活と家庭生活との両立の支援」は2.7ポイント増加している。(図表6-2-1)





過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」と「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」が引き続き上位2項目となっている。(図表6-2-2)

図表6-2-2 重要と考える子育て支援策-過年度比較

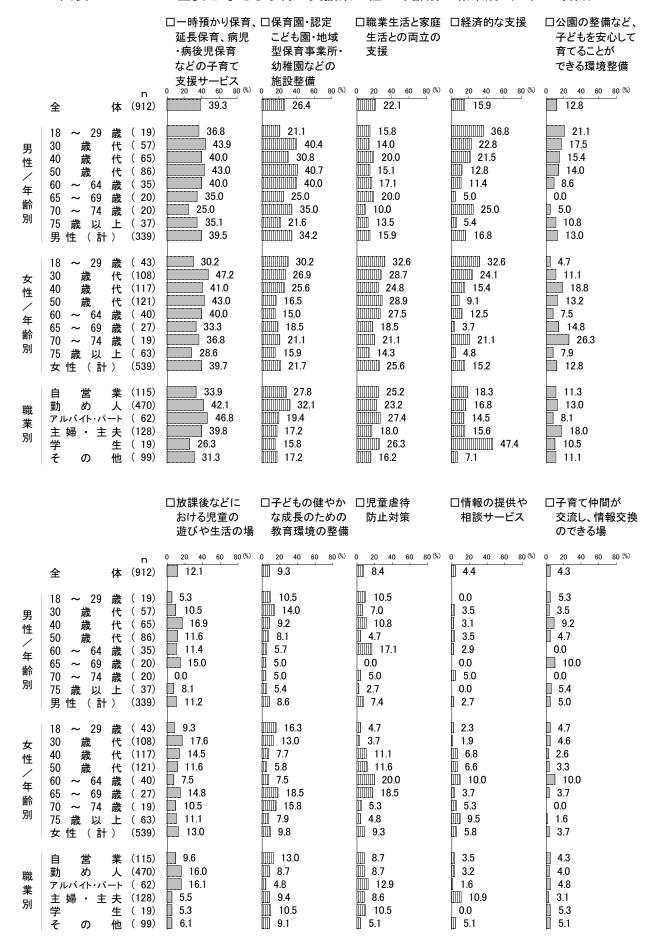
															(%)
調査年	n	援サービス児・病後児保育などの子育て支児・病後児保育、延長保育、病	整備保育事業所・幼稚園などの施設保育事業所・幼稚園などの施設	支援 職業生活と家庭生活との両立の	経済的な支援	備の整備など、子どもを安心公園の整備など、子どもを安心	や生活の場が課後などにおける児童の遊び	教育環境の整備子どもの健やかな成長のための	児童虐待防止対策	情報の提供や相談サービス	のできる場子育て仲間が交流し、情報交換	および増進おまび増進の健康の確保	特にない	無回答	その他
令和7年	912	39.3	26.4	22. 1	15. 9	12.8	12.1	9.3	8.4	4.4	4. 3	2.3	7.0	10.5	*
令和6年	875	39. 4	28. 1	19.4	14. 9	11.8	12.6	8.3	7.2	3. 9	4.7	2. 1	9.0	10.5	*
令和5年	850	33.3	29.8	22. 1	16.2	12.4	14.7	11.2	9.9	3.3	3.4	1.4	5.4	11.4	*
令和4年	1,004	34. 2	33. 7	16.9	10.9	12. 1	10.7	11.7	8.5	3. 9	4.5	1.8	5.5	17.2	*
令和3年	1, 101	35. 1	36. 4	16.6	11.5	15.4	12.6	9.5	8.6	4.0	4. 2	1.5	4.4	14.7	*
令和2年	1, 161	33.7	38.8	15.1	12.2	12.1	11.8	11.8	9.0	4.1	4.4	1.9	4.8	14.7	*
令和元年	956	37.0	34.5	16.7	7. 5	10.6	11.7	9.3	11.6	3.8	4.9	1.8	4.4	17.4	*
平成30年	1,056	40.2	42.8	14.6	9.7	11.3	11.3	8.5	6.6	2.8	3.0	1.6	4.4	15.8	*
平成29年	1,056	36.4	42.6	16.6	8.3	11.5	12.6	10.4	6.8	2.7	3.5	1.1	4.1	16.1	*
平成28年	1,036	36.0	44.3	15.9	10.2	11.3	12.4	8.8	7.9	1.8	4.5	2.2	3.8	15.8	*
平成27年	1,027	38.9	41.1	19.7	10.4	17.7	*	14.3	7. 5	6.5	7. 1	4.3	9.8	9.8	*
平成26年	1,041	42.5	40.6	14.4	8.0	12.3	*	11.9	4.2	5.0	6.3	2.3	8.5	11.6	*
平成25年	1,047	43.7	46.2	12.4	9.0	12.4	*	10.7	5.2	4.9	6.2	2. 9	6.5	11.6	*
平成24年	1, 123	*	53. 7	28.6	15. 9	15. 3	*	17.2	4. 9	7.5	13.4	3.7	4.7	7.5	2.8
平成23年	1,097	*	52.4	30.5	15.5	14. 7	*	19.7	5.4	7.5	10.8	4.3	4.3	8.4	2.3
平成22年	1,004	*	59.4	31.9	15.4	15.7	*	19.9	7.4	6.0	9. 2	3.6	3. 9	4. 1	3.1
平成21年	1,001	*	42.9	30.0	26. 1	13. 2	*	15.4	3. 1	5.2	8.0	3. 2	4.5	8. 1	9.9
平成20年	1,065	*	39. 6	31.4	22.3	18.6	*	20.2	3.7	7.8	12.5	3. 2	3.3	7.1	6.1
平成19年	686	*	34. 1	30.3	24.6	20.6	*	20.6	4.7	5.4	9.3	3.6	12.5	4.2	1.3

- \* 太枠内が今回の調査の選択肢。
- \* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。
- \*「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」の選択肢は、平成23年から平成26年までは「保育園・認定こども園・幼稚園などの施設整備」、平成22年以前は「保育所・幼稚園などの施設整備」としていた。
- \*「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」の選択肢は、平成27年以前は「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの保育サービスの充実」としていた。
- \*「職業生活と家庭生活との両立の支援」の選択肢は、平成27年以前は「職業生活と家庭生活との両立の推進」としていた。

性/年齢別でみると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は女性の30歳代で5割近くと高くなっている。「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は男性の50歳代で約4割と高くなっている。

職業別でみると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」はアルバイト・パートタイマーで5割近くと高くなっている。「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は勤め人で3割を超えて高くなっている。(図表6-2-3)

図表6-2-3 重要と考える子育て支援策-性/年齢別・職業別(上位10項目)



# (3) さらに充実を図る必要がある子育て支援策

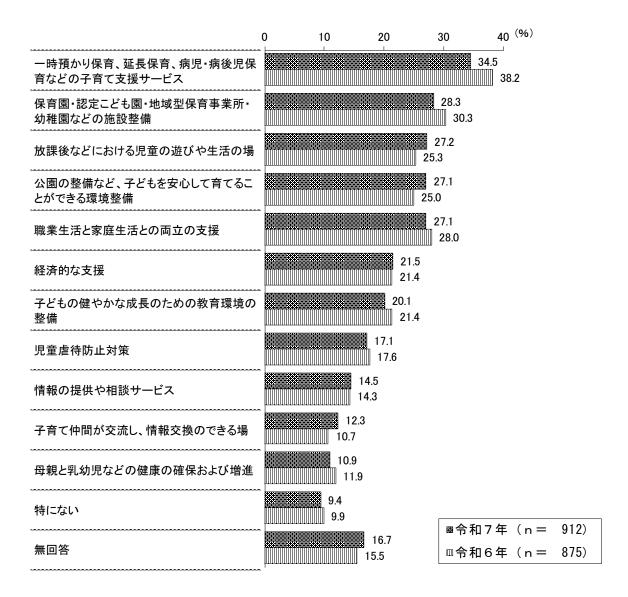
◆ 「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」が3割台半ば

#### 問15 また、さらに充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(Oはいくつでも) n = 9121 保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備 28.3% 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス 34.5 子育て仲間が交流し、情報交換のできる場 12.3 3 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備 4 20.1 放課後などにおける児童の遊びや生活の場 27. 2 情報の提供や相談サービス 14.5 6 公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備 7 27. 1 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 10.9 9 職業生活と家庭生活との両立の支援 27. 1 10 児童虐待防止対策 17.1 11 経済的な支援 21.5 12 特にない 9.4 (無回答) 16.7

さらに充実を図る必要がある子育で支援策は、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育で支援サービス」(34.5%)が3割台半ばと最も高くなっている。次いで、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(28.3%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(27.2%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(27.1%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(27.1%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は3.7ポイント、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は2.0ポイント、それぞれ減少している。(図表6-3-1)

図表6-3-1 さらに充実を図る必要がある子育て支援策(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、第2位以下の項目の順位には変動がみられるが、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は引き続き第1位となっている。

(図表6-3-2)

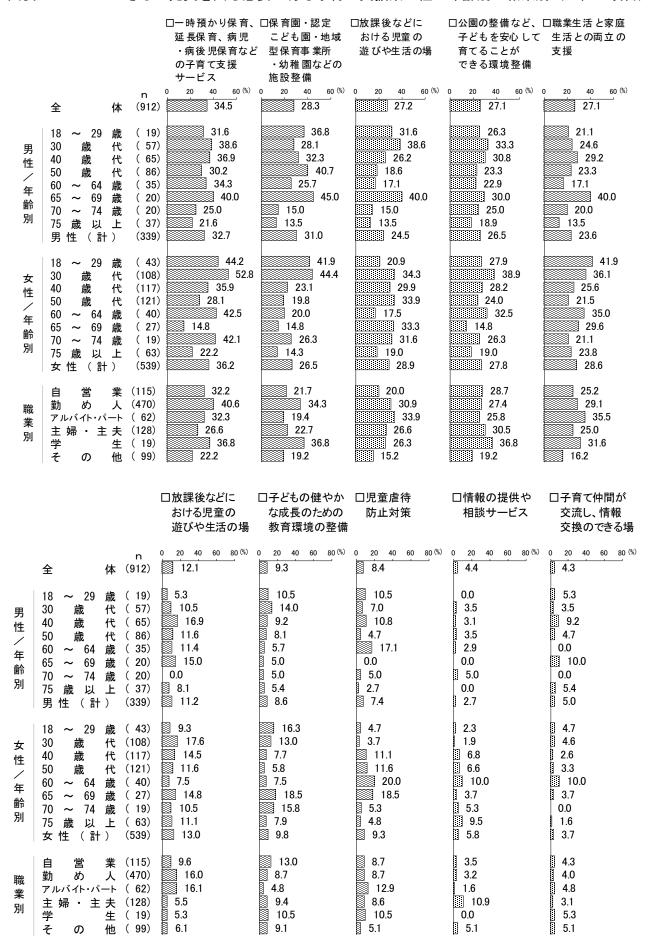
図表6-3-2 さらに充実を図る必要がある子育て支援策ー過年度比較

					,								,	(%)
調査年	n	サービス児・病後児保育などの子育て支援児・病後児保育、延長保育、病	備育事業所※・幼稚園などの施設整育事業所※・幼稚園などの施設整保育園・認定こども園・地域型保	生活の場放課後などにおける児童の遊びや	て育てることができる環境整備公園の整備など、子どもを安心し	援業生活と家庭生活との両立の支	経済的な支援	育環境の整備子どもの健やかな成長のための教	児童虐待防止対策	情報の提供や相談サービス	できる場できる場が交流し、情報交換の子育て仲間が交流し、情報交換の	よび増進 母親と乳幼児などの健康の確保お	特にない	無回答
令和7年	912	34.5	28.3	27. 2	27.1	27. 1	21.5	20.1	17. 1	14. 5	12.3	10.9	9. 4	16.7
令和6年	875	38. 2	30.3	25. 3	25.0	28.0	21.4	21.4	17. 6	14. 3	10.7	11.9	9. 9	15.5
令和5年	850	35.8	30.8	28.0	30.2	29. 1	22.4	22.5	21.1	15. 9	13.9	14. 5	5. 5	22.6
令和4年	1,004	29.5	25. 5	24. 1	27.8	25. 9	18.8	21.7	17.8	14.0	12.0	11.7	5.4	30.6
令和3年	1,101	31.8	27.1	26. 2	27.2	25. 2	20.3	21.8	21.2	13.6	12.5	10.0	4. 3	25.4
令和2年	1, 161	33.9	29. 2	28. 3	28.9	27. 6	20.5	23.4	21.2	12. 9	10.5	11.5	5. 2	23.5
令和元年	956	32.6	27.4	27.0	26.2	25. 5	16.3	20.4	24. 4	13.0	11.1	11.7	4. 5	27.5
平成30年	1,056	33.6	30.6	27. 7	27.3	26.8	17.4	19.4	16.3	13.3	13.1	10.4	4.8	24. 2
平成29年	1,056	33.3	28.5	27. 7	24.6	25.8	17. 1	19.2	16.0	12.5	12.5	11.5	3. 4	25.9
平成28年	1,036	36.2	32.4	26. 4	26.7	28.3	16.4	20.7	20.0	13.8	12.2	11.1	3. 7	26.3

性/年齢別でみると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は女性の30歳代で5割を超えて高くなっている。「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は男性の65~69歳と女性の30歳代で4割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」 は勤め人で約4割と高くなっている。「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの 施設整備」は勤め人で3割台半ばと高くなっている。(図表6-3-3)

# 図表6-3-3 さらに充実を図る必要がある子育て支援策一性/年齢別・職業別(上位10項目)



# (4) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス

問15-1 あなたが問15で重要と考えるものに〇をした選択肢も含め、区に取り組んでほしい 具体的な施策やサービスをお書きください。

区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスを自由に記述していただいたところ、302人から延べ387件の回答が寄せられた。問15の重要と考える子育て支援策におおむね沿った形で整理した。

# (ご意見の一部)

#### ■保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備(45件)

- ・ 保育園をもっと利用しやすくすべき。希望者がすぐに入園できるようにし、全員無料にすべ き。
- ・ 保育園でボランティア制度を充実させる。ベビーシッター制度の普及。
- ・ 認定保育園の拡充。スタッフの待遇改善。
- ・ 働きたいが、なかなか預けられず、働けない人もいる。会社に勤めている人が保育園は優先 なので改善してほしい。

### ■一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス (38件)

- ・ 一時預かりをだいぶ前から予約しないといけないし、予約可能枠数が限られており、使用するのが難しく利用できない。
- 病児保育施設の増加。
- 一時預かり保育をはじめとする子育て支援サービスの拡充。
- ・ 病児保育の拡大。

# ■子育て仲間が交流し、情報交換のできる場(10件)

- ・ 近隣区との交流や施設の相互利用。
- ・ 図書館、児童館、区民館などの増設。
- ・ 区営のファミリーレストランの新設。自宅以外でも安心してくつろげる場所の提供。

#### ■子どもの健やかな成長のための教育環境の整備(10件)

- ・ 他区にない中央区ならではの成長環境の整備。形にしばられたルールを可能な限り無視し創造性を生む、育てる教育環境を求める。
- ・ 子育てのスペシャリストを定期的に呼んで教育してくれる場の提供。
- 子どもに対する法教育。

#### ■放課後などにおける児童の遊びや生活の場(17件)

- 放課後などにおける児童の遊びや生活の場を増やす。空き地の開放。
- ・ 小学校の低学年の放課後、全ての区立小学校で預かりがあるといいと思う。
- ・ 小学校の特別支援教室や学級の充実や放課後等デイサービス等の発達障害児への支援。
- ・ 放課後の子どもの居場所の確保。朝7時台の学校開放(登校許可)と子どもの安全支援。

# ■情報の提供や相談サービス(12件)

- ・ 窓口以外の相談手段の整備・周知をしてほしい(LINEでの相談など)。障害を抱えた子どもと 窓口に行くこと自体が困難な場合もあるため。
- 子育てに関する情報提供、相談窓口の充実。
- ・ 子育てする親が孤独にならないような施設や相談員が増えるといいと思う。安心して遊べる 広場や公園などが増えるといい。

# ■公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備(39件)

- ・ 学童が足りないと思うので充実させてほしい。ボールや自転車を使える広い公園を増やして ほしい。
- ・ 子どもが伸び伸びと遊べる場所の拡充(公園でボールが使えない、自転車の練習をする場所 がないなど)。
- 公園の遊具の点検。
- ・ 公園でタバコを吸っている人がいるので、子どもが遊んでいると心配。
- ・ 子どもは社会の宝物なので、安全な環境で育むことが大切である。親の不安をなくし、安心 して子育てができる総合的な施策を望む。

### ■母親と乳幼児などの健康の確保および増進(15件)

- ・ ベビーシッターを頼む際に利用できる補助券などの配布があれば安心して母親も働ける。
- 定期的な健康診断、休暇制度など。
- 母子家庭だけではなく、父子家庭にも目を向けてほしい。
- 母親と乳幼児など健康の確保および増進。

### ■職業生活と家庭生活との両立の支援(46件)

- 働きながら子育てができる環境づくりが大事だと思う。
- ・ 共働き家庭の支援を厚くしてほしい。経済面、環境面に。
- 子どもを一時預ける手軽さと慎重さの両立した施策。
- ・ 職業と育児の両立を可能とする制度の導入、支援、奨励。

### ■児童虐待防止対策(8件)

- ・ 子どもが親の虐待で悲しい思いをしているのであれば、解消してあげたいと切に願うので、 虐待を受けている子の救済を重要視してほしい。
- 子どもが虐待されないように、虐待されている際は、親と引き離す施設など、心身共に健やかに成長できる環境を増やす。
- ・ 乳幼児を含め、子どもが虐待されて重症、死亡というニュースを見る機会が多くなっている と感じる。育児ストレス、虐待親の元々持っている凶暴性と色々な理由はあると思うが、親 が限界を感じる前に、気軽に相談や話をできたり、一時預かりできるサービスがあれば、不 幸を少しでも減らすことができるような気がする。
- 児童虐待未然防止対応力の向上。

#### ■経済的な支援(38件)

- 学費無償化。
- ・ 子どもを安心して産めるような経済的援助。
- ・ 小学校・中学校の制服無償化、中学校修学旅行の無償化、小学校・中学校の学用品無償化。 いずれも他区では無償化が始まっている。
- 出産助成金の支給、認可外保育施設利用の補助、子育て支援金の支給。

#### ■その他(109件)

- 若い世代向けの情報発信。
- ・ 現存のサービスを引き続き維持していただくと共に、区のホームページがもう少し分かりや すく (調べやすく) なるとありがたい。
- ・ このご時世で難しいかとは思うが、子ども好きで時間のある元気な高齢者などが一時的にも 子どものサポートができる公共の場やシステムがあればいい。
- ・ 図書館や勉強できるスペースが意外と少ない。図書館の自習スペースもすぐに埋まってしま う。
- ・ プレディのような、子ども同士が遊べる場所がもっとあるといいと思う。ボランティアだと しても、子どもと触れ合いたいと考える人も少なからずいると思うので、そのような場所を 設けてほしい。
- ・ 家事代行サービス。
- 安全に生活できる見守りサービス。

# 【7 男女共同参画社会】

(※) 男女共同参画社会 男女が、その人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

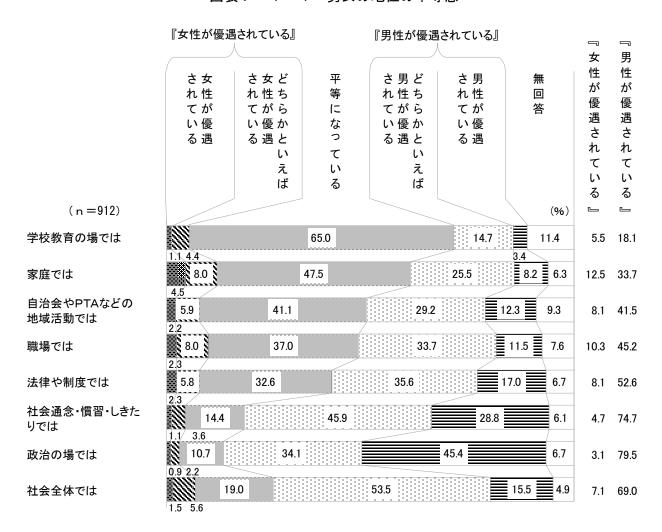
# (1) 男女の地位の平等感

- ◆「平等になっている」と感じるのは、"学校教育の場では"で6割台半ば
- ◆「男性が優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と感じるのは、"政治の場では"で8割

問16 あなたは、次にあげる分野の男女の平等についてどのように感じていますか。													
				(0はそ	nぞれ1 <sup>-</sup>	つずつ)							
	1	2	3	4	5								
n=912	女性が優遇されている	女性が優遇されているどちらかといえば	平等になっている	男性が優遇されているどちらかといえば	男性が優遇されている	無回答							
(1) 家庭では	4. 5	8. 0	47.5	25. 5	8. 2	6.3							
(2) 職場では	2.3	8. 0	37. 0	33. 7	11. 5	7.6							
(3) 学校教育の場では	1. 1	4.4	65. 0	14. 7	3. 4	11. 4							
(4) 政治の場では	0.9	2.2	10. 7	34. 1	45. 4	6. 7							
(5) 法律や制度では	2.3	5.8	32.6	35. 6	17. 0	6. 7							
(6) 社会通念・慣習・しきたりでは	1. 1	3.6	14. 4	45. 9	28.8	6. 1							
(7) 自治会やPTAなどの地域活動では	2.2	5. 9	41. 1	29. 2	12. 3	9.3							
(8) 社会全体では	1.5	5. 6	19. 0	53. 5	15. 5	4.9							

男女の地位の平等感について、「平等になっている」と感じるのは、"学校教育の場では"(65.0%)で6割台半ばと最も高く、次いで"家庭では"(47.5%)で5割近くとなっている。

「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、"政治の場では"(79.5%)で8割と最も高く、次いで"社会通念・慣習・しきたりでは"(74.7%)で7割台半ばとなっている。(図表7-1-1)



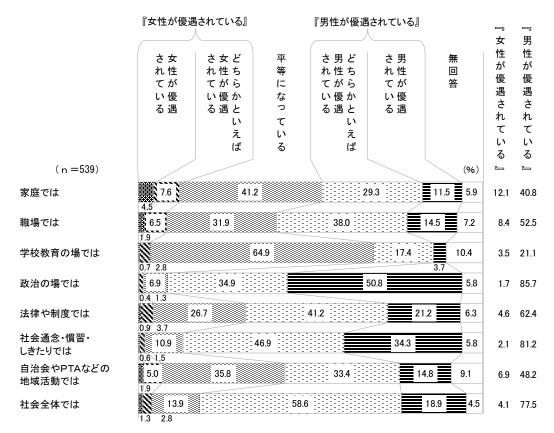
図表7-1-1 男女の地位の平等感

性別でみると、「平等になっている」と感じる割合は、男性の方が女性よりも"家庭では"で16.6 ポイント、"法律や制度では"で16.4ポイント高くなっている。

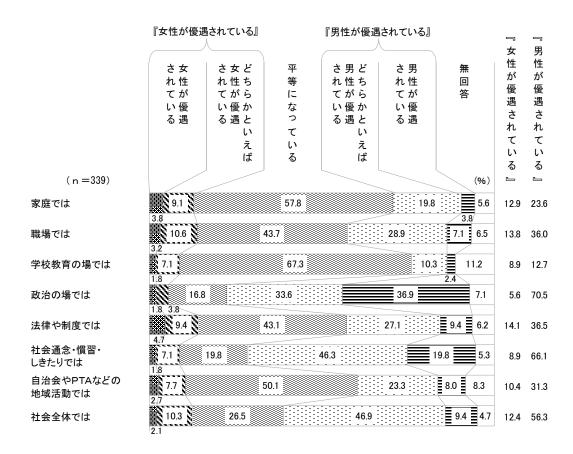
一方、『男性が優遇されている』と感じる割合は、女性の方が男性よりも"法律や制度では"で25.9ポイント、"家庭では"で17.2ポイント高くなっている。

また、"社会全体では"でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が21.2ポイント高くなっている。(図表7-1-2、図表7-1-3)

図表7-1-2 男女の地位の平等感-女性



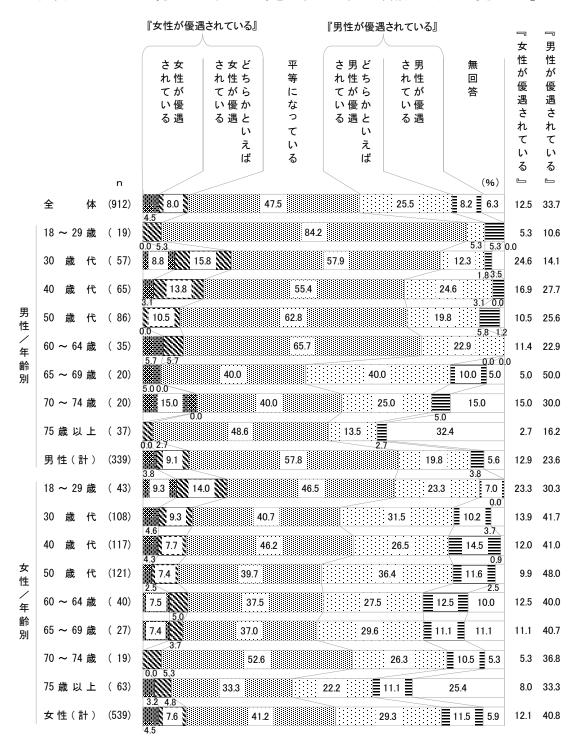
### 図表7-1-3 男女の地位の平等感-男性



"家庭では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が17.2ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が16.6ポイント高くなっている。

"家庭では"について性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は男性の65~69歳で5割と高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の60~64歳で6割台半ばと高くなっている。(図表7-1-4)

図表7-1-4 男女の地位の平等感一性別・性/年齢別「(1)家庭では」



"職場では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が16.5ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が11.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の $65\sim69$ 歳で7割台半ばと高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の40歳代で5割を超えて高くなっている。(図表7-1-5)

男 女 性 性 平 さ男ど さ女 さ女ど さ男 が が れ性ち れ性 等 れ性ち れ性 回 優 優 てが てがら に てがら てが 遇さ 遇さ い優か なっ い優か い優 い優 る遇と る遇と る遇 れて れ て L い て い え え ll い ば ば る る る (%) n 8.0 \$ 37.0 11.5 ■ 全 (912)45.2 18 ~ 29 歳 (19) 0.0 36.8 0.0 0.0 (57) 7.0 119.3 26.3 28.1 代 (65) 20.0 26.2 3.100 代 (86) 11.7 39.5 性 / 年 34.3 齢 20.0 45.0 65 ~ 69 歳 (20) 10.0 40.0 20.0 70~74歳(20) 25.0 5.0 50.0 13.5 ( 37) 32.4 75 歳 以上 35.1 5.4 48.6 10.6 43.7 28.9 7.1 6.5 男性(計) (339) 13.8 36.0 14.0 18 ~ 29 歳 (43) 16.3 34.9 歳 代 (108) 38.9 37.0 14.8 74 518 0.9 (117)12.0 13.7 48.8 代 (121) 19.8 6.7 59.5 39.7 性

図表7-1-5 男女の地位の平等感-性別・性/年齢別「(2)職場では」

『男性が優遇されている』

12.5

39.7

10.0

7.4

10.5

10.0 55.0

0.0 68.4

0.0 42.9

7.4 74.1

8.4 52.5

『女性が優遇されている』

7.5 25.0

31.6

6.5 31.9

7.4 11.1

17.5

64歳 (40)

(63)

(539)

65 ~ 69 歳 (27)

70~74歳(19)

年齢

別

30.2

42.5

57.9

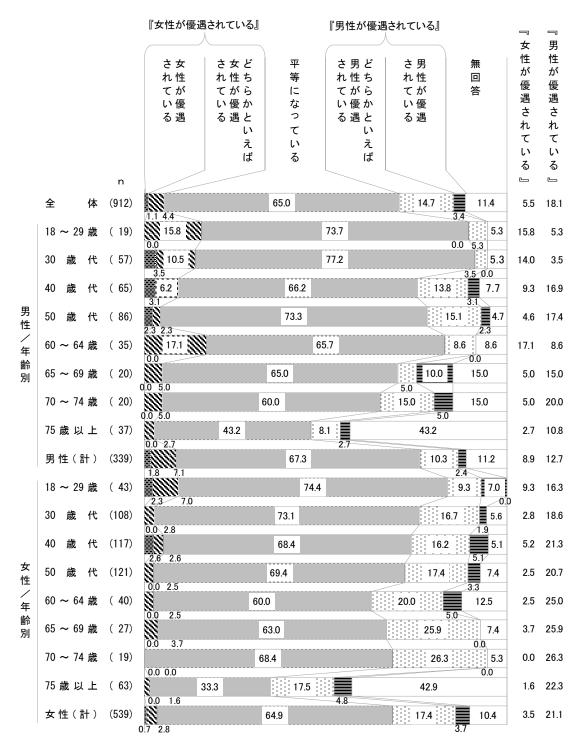
38.0

59.3

"学校教育の場では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』 と感じる割合が8.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「平等になっている」と感じる割合は男性の30歳代で8割近くと高くなっている。(図表7-1-6)

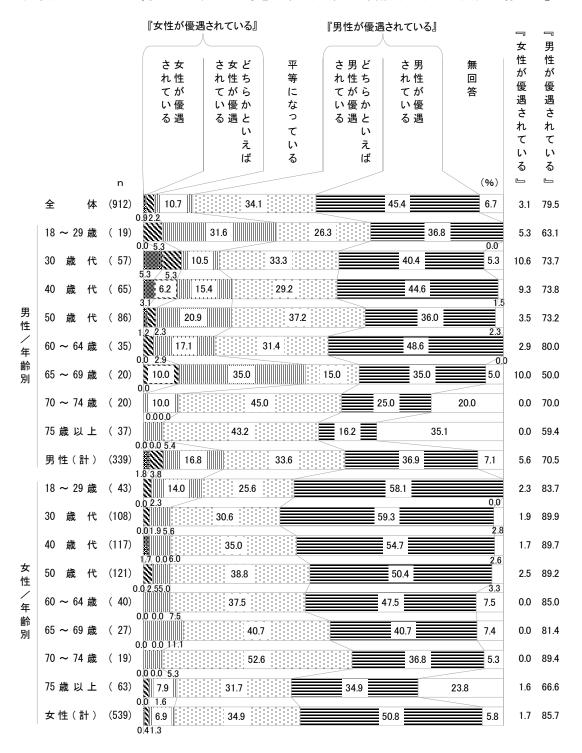
図表7-1-6 男女の地位の平等感-性別・性/年齢別「(3)学校教育の場では」



"政治の場では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が15.2ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が9.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の30歳代と40歳代で9割と高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の65~69歳で3割台半ばとなっている。 (図表7-1-7)

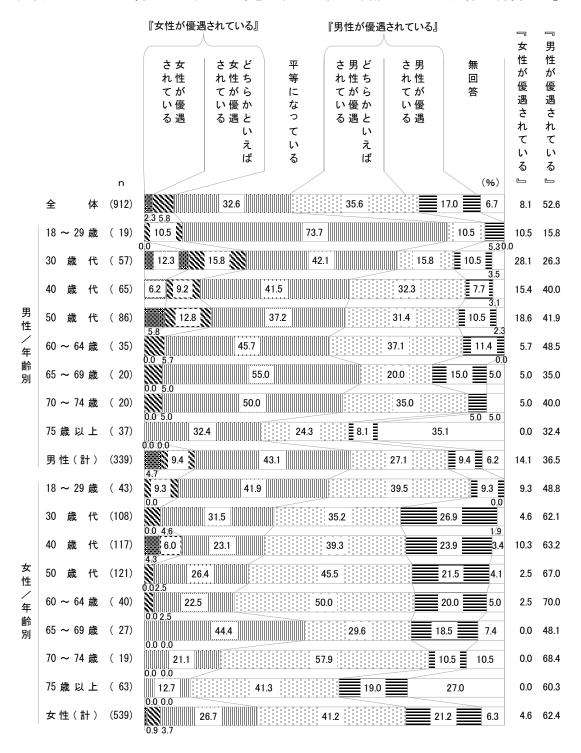
図表7-1-7 男女の地位の平等感-性別・性/年齢別「(4)政治の場では」



"法律や制度では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が25.9ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が16.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の $60\sim64$ 歳で7割と高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の $65\sim69$ 歳で5割台半ばと高くなっている。(図表7-1-8)

図表7-1-8 男女の地位の平等感-性別・性/年齢別「(5) 法律や制度では」

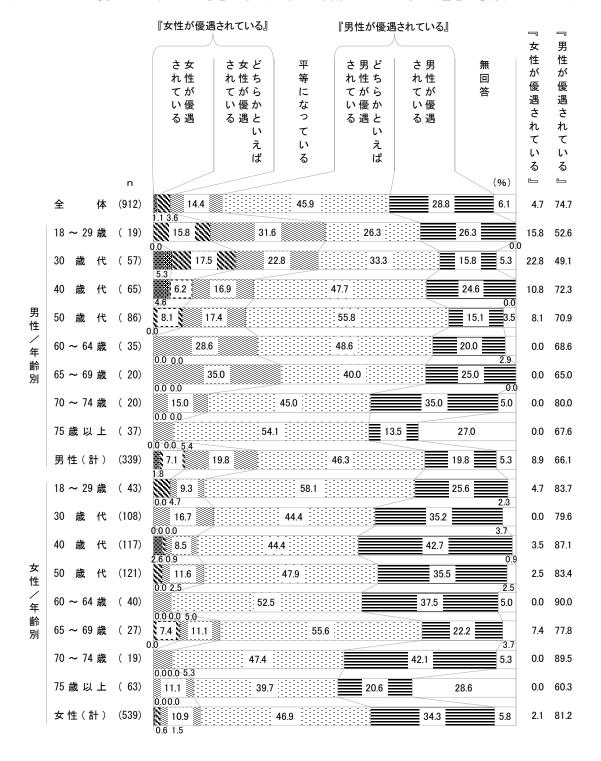


"社会通念・慣習・しきたりでは"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が15.1ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が8.9ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の60~64歳で9割と高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の65~69歳で3割台半ばとなっている。

(図表7-1-9)

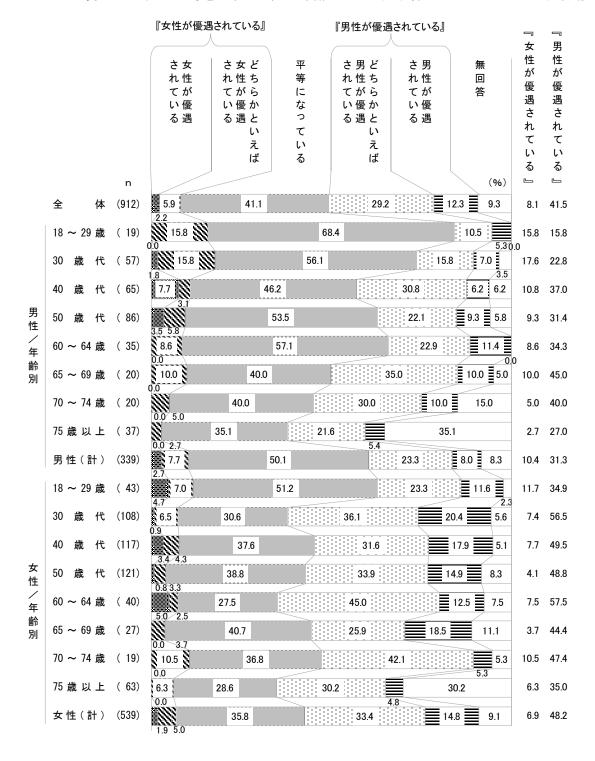
図表 7 - 1 - 9 男女の地位の平等感ー性別・性/年齢別「(6)社会通念・慣習・しきたりでは」



"自治体やPTAなどの地域活動では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が16.9ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が14.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の $60\sim64$ 歳で6割近くと高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の $60\sim64$ 歳で6割近くと高くなっている。 (図表7-1-10)

図表7-1-10 男女の地位の平等感-性別・性/年齢別「(7)自治体やPTAなどの地域活動では」

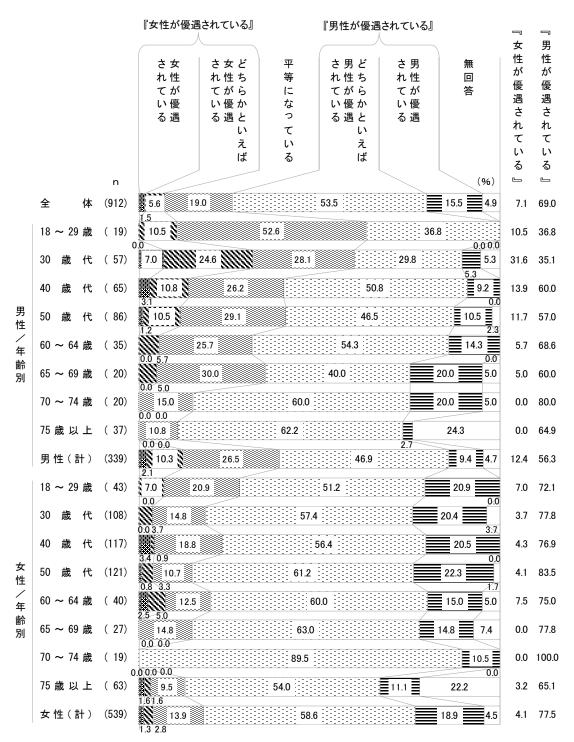


"社会全体では"について性別でみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』と感じる割合が21.2ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「平等になっている」と感じる割合が12.6ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の50歳代で8割を超えて高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の65~69歳で3割となっている。

(図表7-1-11)

図表7-1-11 男女の地位の平等感-性別・性/年齢別「(8)社会全体では」



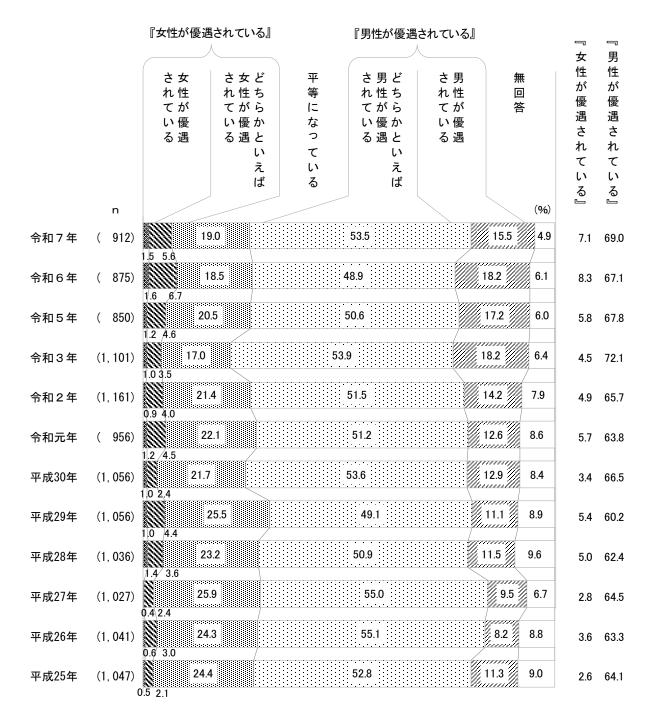
"社会全体では"について職業別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合はアルバイト・パートタイマーで8割を超えて高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は勤め人で2割を超えている。(図表7-1-12)

『女性が優遇されている』 『男性が優遇されている』 女 性 性 平 さ男ど さ女 さ女ど さ男 が が れ性 れ性ち 等 れ性ち れ性 回 優 優 てがら てが てがら に てが 答 過され 遇 い優 い優か な い優か い優 さ る遇と つ る遇 る遇と る遇 れ い τ い て て え い え い い ば る ば る る (%) n 15.5 4.9 19.0 53.5 全 体 (912) 69.0 8.7 17.4 自 (115)20.9 49.6 10.4 67.0 16.6 勤 め 人 (470) 5.7 52.6 7.8 69.2 21.1 職 アルバイト・ 12.9 16.1 (62)69.4 0.0 82.3 パートタイマー 業 0.0 0.0 16.4 7.0 7.8 主 婦・ 主 夫 (128) 57.8 10.2 7.8 74.2 別 0.8 5.3 10.5 学 生 (19) 42.1 36.8 10.5 42.1 5.3 12.1 そ の 他 (99) 4.0 64.6 16.2 52.5 15.2

図表7-1-12 男女の地位の平等感-職業別「(8) 社会全体では」

"社会全体では"について過去の調査と比較すると、『男性が優遇されている』と感じる割合は令和 6 年と比べて1.9ポイント増加している。(図表 7-1-13)

図表 7 - 1 - 13 男女の地位の平等感 - 過年度比較「(8) 社会全体では」



### (2) ワーク・ライフ・バランスの現在の状況

◆「仕事と家庭生活を同じように両立させている」が3割近く

問17 あなた自身のワーク・ライフ・バランス\*(「仕事」と「家庭生活」の調和)について、 現状は次のどれにあてはまりますか。(Oは1つ)

n = 912

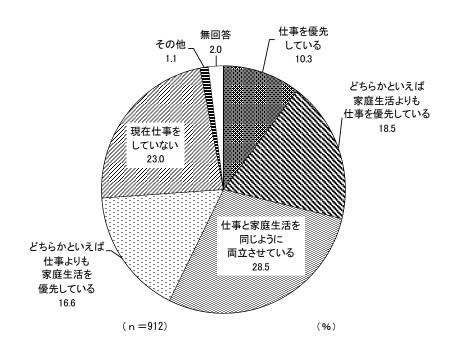
1	仕事を優先している	10.3%
2	どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している	18.5
3	仕事と家庭生活を同じように両立させている	28. 5
4	どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している	16.6
5	現在仕事をしていない	23.0
6	その他	1. 1
	(無回答)	2.0

(※)ワーク・ライフ・バランス 仕事と仕事以外の家庭生活とのバランスを図ることにより、家庭や地域活動などに参加できる時間を確保しながら充実した生活を送ることが重要であるという考え方です。

ワーク・ライフ・バランスの現在の状況は、「仕事と家庭生活を同じように両立させている」 (28.5%) が3割近くと最も高くなっている。次いで、「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」(18.5%)、「どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している」(16.6%) などとなっている。また、「現在仕事をしていない」(23.0%) は2割を超えている。

(図表7-2-1)

図表7-2-1 ワーク・ライフ・バランスの現在の状況



過去の調査結果との比較は、平成30年以前とは選択肢が異なり単純に比較することはできないが、「仕事と家庭生活を同じように両立させている」は令和6年と比べて2.2ポイント増加し、「仕事を優先している」が3.2ポイント減少している。(図表7-2-2)

図表 7 - 2 - 2 ワーク・ライフ・バランスの現在の状況 - 過年度比較

(%)

								(%)
調査年	n	仕事を優先している	よりも仕事を優先しているどちらかといえば家庭生活	に両立させている仕事と家庭生活を同じよう	も家庭生活を優先しているどちらかといえば仕事より	現在仕事をしていない	その他	家 回 浦
令和7年	912	10.3	18.5	28. 5	16.6	23. 0	1.1	2.0
令和6年	875	13.5	18.1	26. 3	16.2	21.9	1.6	2.4
令和5年	850	16.0	19.8	22.6	18.1	19. 2	1.6	2. 7
令和3年	1, 101	15. 9	19. 7	27. 1	13. 3	20.7	0.9	2.5
令和2年	1, 161	15. 3	19.6	25.8	14.7	19. 2	1.5	3.8
令和元年	956	15.4	21.1	23.4	13.6	22.4	0.7	3. 3
平成30年	1,056	9.0	30.3	20.5	13.5	22.7	0.9	3.0
平成29年	1,056	8. 1	29.8	23.9	11.2	20.6	1.5	4.8
平成28年	1,036	10.2	28.8	23.7	12.4	19.6	1.0	4.3
平成27年	1,027	9.7	30.1	20.6	12.8	21.0	2.2	3. 5
平成26年	1,041	7.5	31.6	20.2	12.2	24.1	0.5	3. 9
平成25年	1,047	9. 1	31.6	20.2	11. 3	21.0	1.6	5. 2

<sup>\* 「</sup>仕事を優先している」の選択肢は、平成30年以前は「仕事に専念している」としていた。

<sup>\* 「</sup>どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」の選択肢は、平成30年以前は「どちらかといえば、仕事の方を優先している」としていた。

<sup>\* 「</sup>仕事と家庭生活を同じように両立させている」の選択肢は、平成30年以前は「仕事と生活を同じように両立させている」としていた。

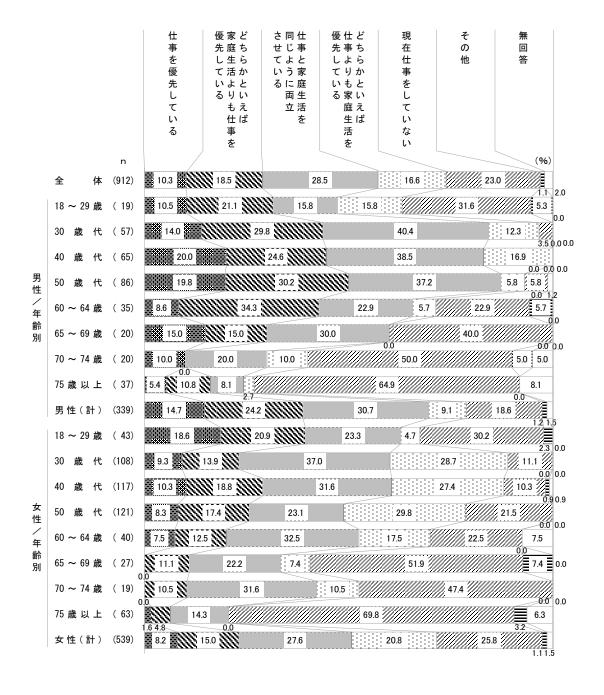
<sup>\* 「</sup>どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している」の選択肢は、平成30年以前は「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」としていた。

性別でみると、女性の方が男性よりも「どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している」で11.7ポイント、「現在仕事をしていない」で7.2ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」で9.2ポイント、「仕事を優先している」で6.5ポイント、「仕事と家庭生活を同じように両立させている」で3.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「仕事を優先している」は男性の40歳代と50歳代で2割となっている。「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」は男性の60~64歳で3割台半ばとなっている。 「仕事と家庭生活を同じように両立させている」は男性の30歳代で4割となっている。

(図表7-2-3)

図表 7 - 2 - 3 ワーク・ライフ・バランスの現在の状況 - 性別・性/年齢別

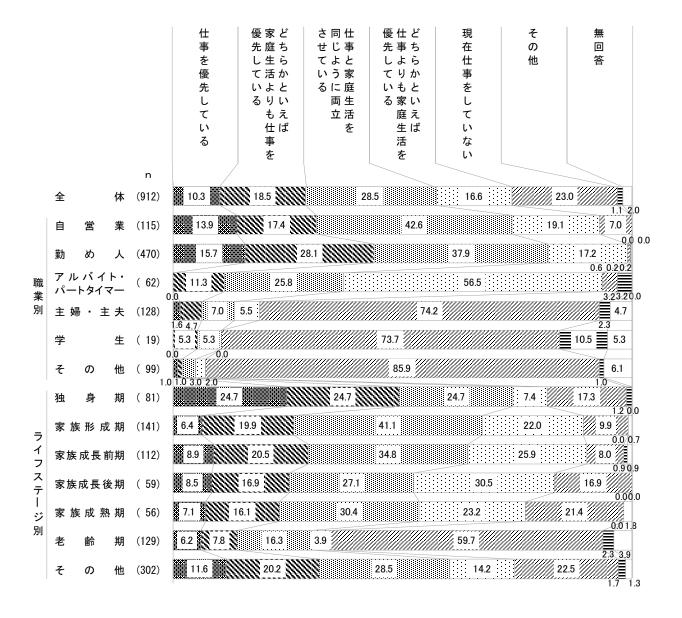


職業別でみると、「仕事を優先している」は勤め人で1割台半ばとなっている。「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」は勤め人で3割近くとなっている。「どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している」はアルバイト・パートタイマーで6割近くと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「仕事を優先している」は独身期で2割台半ばとなっている。「仕事と家庭生活を同じように両立させている」は家族形成期で4割を超えている。

(図表7-2-4)

図表7-2-4 ワーク・ライフ・バランスの現在の状況-職業別・ライフステージ別



# 【8 防犯対策】

## (1) 不安に感じる犯罪

◆特殊詐欺(振り込め詐欺など)が3割を超える

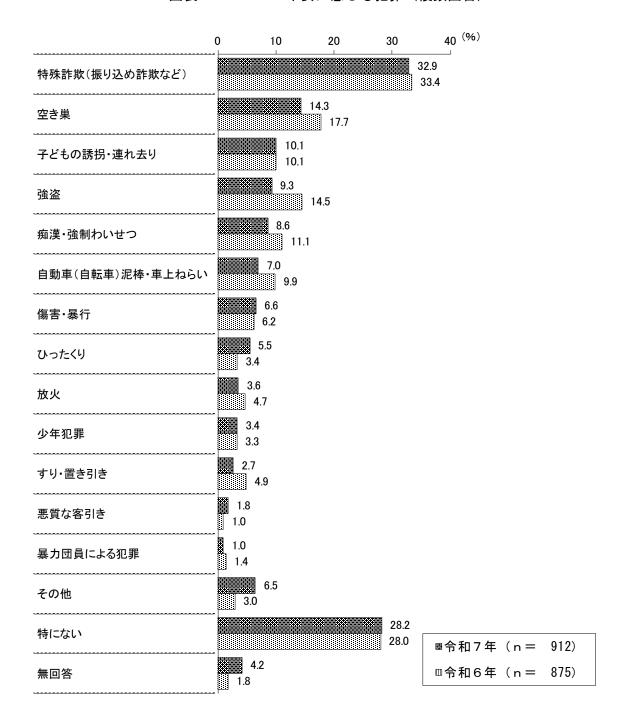
問1	問18 あなたの住む地域で不安に感じる具体的犯罪は何ですか。(〇は2つまで)										
	n = 912										
1	ひったくり	5.5%	9	痴漢・強制わいせつ	8.6						
2	空き巣	14.3	10	少年犯罪	3. 4						
3	強盗	9.3	11	子どもの誘拐・連れ去り	10. 1						
4	すり・置き引き	2.7	12	暴力団員による犯罪	1.0						
5	自動車(自転車)泥棒・車上ねらい	7.0	13	悪質な客引き	1.8						
6	特殊詐欺 (振り込め詐欺など)	32.9	14	その他	6. 5						
7	傷害・暴行	6.6	15	特にない	28. 2						
8	放火	3.6		(無回答)	4.2						

不安に感じる犯罪は、「特殊詐欺(振り込め詐欺など)」(32.9%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「空き巣」(14.3%)、「子どもの誘拐・連れ去り」(10.1%)、「強盗」(9.3%)、「痴漢・強制わいせつ」(8.6%)などとなっている。一方、「特にない」(28.2%)は3割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「強盗」は5.2ポイント、「空き巣」は3.4ポイント、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」は2.9ポイント減少している。

(図表8-1-1)

図表8-1-1 不安に感じる犯罪(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、令和2年 以降は「特殊詐欺(振り込め詐欺など)」が第1位となっている。(図表8-1-2)

図表8-1-2 不安に感じる犯罪-過年度比較

(%)

								_									(%)
調 查 年	n	など) 特殊詐欺 (振り込め詐欺	空き巣	子どもの誘拐・連れ去り	強盗	痴漢・強制わいせつ	車上ねらい自動車(自転車)泥棒・	傷害・暴行	ひったくり	放火	少年犯罪	すり・置き引き	悪質な客引き	暴力団員による犯罪	その他	特にない	無回答
令和7年	912	32.9	14. 3	10.1	9.3	8.6	7.0	6.6	5. 5	3.6	3.4	2.7	1.8	1.0	6.5	28. 2	4.2
令和6年	875	33.4	17.7	10.1	14.5	11.1	9.9	6.2	3.4	4. 7	3.3	4. 9	1.0	1.4	3.0	28.0	1.8
令和5年	850	28.9	17.4	11.5	15. 9	10.8	8.8	8.0	4.2	6.0	3.2	2.7	1.5	1.5	3.4	27. 9	1.4
令和4年	1,004	18.6	17.0	10.7	7.3	12.0	9.6	5.3	6.5	6.2	3.5	1.9	1.0	1.4	3.4	36. 0	1.9
令和3年	1, 101	20.4	16.0	10.6	6.2	11.4	9.6	4. 9	6.5	3.9	3.6	3. 5	0.9	0.9	3. 1	36. 2	2. 1
令和2年	1, 161	19.8	17.7	11.0	8.7	14.4	9.2	5.9	7. 1	3.9	2.4	3. 7	1.3	0.7	4.0	32. 3	2.2
令和元年	956	18.1	23.6	9.8	7.8	10.8	7.1	6.3	5. 9	5.1	3.3	2.7	1.9	1.7	4.0	32. 5	2.4
平成30年	1,056	16.8	22. 1	14. 1	4.7	9.0	8.4	7.5	8.4	6.9	3.5	2.9	1.7	1.2	4. 1	32. 1	2.3
平成29年	1,056	13.6	22.2	13. 2	5. 9	8.3	10.6	5. 2	9.8	6.4	3.1	3.0	1.7	1.0	3.3	31. 5	4.0
平成28年	1,036	12.4	21.7	14.0	6.4	10.0	12.2	6.0	6.0	5.2	3.6	2.7	1.4	2.0	3.8	33. 4	3.2
平成27年	1,027	15. 1	26. 4	14. 1	6.5	7.4	10.8	6.5	7.7	8.7	7.6	3.8	0.8	1.7	4.2	29. 7	2.0
平成26年	1,041	21.4	40.1	16. 9	11.9	11.8	17.5	11.1	16.0	13.8	8.8	8.4	*	3.9	4.1	*	15. 9
平成25年	1,047	21.5	37.8	11.4	12.0	11.4	22.1	11.9	22.6	16.4	7.6	8. 2	*	4.7	4.9	*	11.7
平成24年	1, 123	13. 1	41.7	11.9	16. 9	10.5	21.1	16.8	21.5	17.8	10.2	7. 5	*	8.2	5.9	*	9.3
平成23年	1,097	14.2	43.6	12.8	15. 4	9.9	23.2	11. 9	23. 4	15. 6	7.8	7. 5	*	5.7	6.3	*	10.4
平成22年	1,004	17.1	41.8	13.9	12.8	10.3	20.9	12.2	20.3	16.7	11.3	6.5	*	7.0	4.5	*	11.5
平成21年	1,001	12.2	44.8	14. 2	17.7	10.2	21.1	9. 7	27.7	21.9	9.5	6.3	*	4.8	6.6	*	7.4
平成20年	1,065	18.0	42.6	16. 9	18.1	18.6	13.9	17.7	19.8	18.9	15.0	4.5	*	10.4	5.9	*	7. 6
平成19年	686	18.4	43. 7	16. 5	20.6	15. 9	16.0	14.0	20.6	22.6	16.3	5.0	*	8.7	1.9	*	5. 4

- \* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。
- \* 平成26年以前は、3つまで回答可能としていた。
- \* 「特殊詐欺(振り込め詐欺など)」の選択肢は、令和4年以前は「振り込め詐欺」としていた。

年齢別でみると、「特殊詐欺(振り込め詐欺など)」は65~69歳で6割を超えて高くなっている。 「子どもの誘拐・連れ去り」は30歳代で2割を超えて高くなっている。

居住地域別でみると、「特殊詐欺(振り込め詐欺など)」は月島地域で4割近くと高くなっている。 「空き巣」は京橋地域で2割を超えて高くなっている。

住居形態別でみると、「特殊詐欺 (振り込め詐欺など)」は持家・一戸建で5割近くと高くなっている。「空き巣」は持家・一戸建で2割を超えて高くなっている。(図表8-1-3)

図表8-1-3 不安に感じる犯罪-年齢別・居住地域別・住居形態別(上位10項目)

1	<b>-</b> X • ·	•	121-200	2F 1 M1033 1		-/11/12/15/33	X/
			□特殊詐欺(振り 込め詐欺など)	口空き巣	口子どもの誘拐・ 連れ去り	□強盗	□痴漢・ 強制わいせつ
	全 体	n (912)	0 20 40 60 80 100 (%)	0 20 40 60 80 100%)	0 20 40 60 80 100%	9.3	8.6
年齢別	18 ~ 29 歳 30 歳 代 40 歳 代 50 ~ 64 歳 65 ~ 69 歳 70 ~ 74 歳 75 歳 以	( 64) (169) (186) (215) ( 77) ( 48) ( 39) (101)	17.2 20.1 25.3 33.5 48.1 62.5 46.2 48.5	14.7 11.2 17.2 16.3 14.3 18.8 15.4 14.9	17.2 21.9 11.8 4.2 5.2 6.3 2.6 4.0	7.8 8.9 11.3 8.4 7.8 8.3 10.3 10.9	14.1 11.8 13.4 6.5 7.8 2.1 2.6 2.0
居 地住 域 別	京 橋 地 域 日 本 橋 地 域 月 島 地 域	(197) (281) (415)	28.4 31.7 36.9	21.3 13.2 11.8	9.1 7.8 11.8	12.2 7.8 8.9	] 4.6 ] 10.0 ] 9.9
住居形態別	持分とは ・ マン・ ・ マン・ ・ マン・ ・ で、 ・ で、 ・ で、 ・ で、 ・ で、 ・ で、 ・ に、 ・ に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に	(467) (6) (67) (1)	47.7 36.4 50.0 41.8 0.0 20.7 33.3 0.0 44.4	23.1 11.6 16.7 16.4 0.0 15.3 20.0 33.3	4.6   10.1   9.0   9.0   0.0   11.1   6.7   0.0   11.1	13.8 8.1 16.7 9.0 0.0 10.0 13.3 0.0 11.1	6.2 9.2 0.0 4.5 0.0 9.6 20.0 0.0
	全体	n (912)	□自動車(自転車) 泥棒・車上ねらい 0 20 40 60 80 100%) ■ 7.0	□傷害·暴行 0 20 40 60 80 100 <sup>(%)</sup> 6.6	□ひったくり  0 20 40 60 80 100%)  5.5	□放火 0 20 40 60 80 100 <sup>(%)</sup> 3.6	□少年犯罪  0 20 40 60 80 100 %)  3.4
年齢別	30     歳     代       40     歳     代       50     歳     代       60     ~     64     歳       65     ~     69     歳	( 64) (169) (186) (215) ( 77) ( 48) ( 39) (101)	7.8 7.1 3.8 8.8 10.4 4.2 12.8	9.4 7.1 3.8 7.0 5.2 18.8 7.7	] 4.7 2.4 ] 5.4 ] 5.1 5.2 ] 6.3 ] 12.8 ] 7.9	3.1 3.6 3.8 2.3 6.5 4.2 0.0 5.9	1.6 3.6 4.8 4.2 3.9 0.0 2.6 1.0
居 地住 域 別		(197) (281) (415)	6.6 7.8 6.7		4.6 6.0 5.5	5.1 5.3 1.7	2.0 2.5 4.3
住居形	持家・一戸建分譲マンション借家・一戸建公 共住 宅		6.2 7.9 0.0 7.5	4.6 7.1 0.0 6.0	3.1 5.4 0.0 3.0	6.2 3.2 0.0 1.5	4.6 4.3 16.7 1.5

民間木造アパート (1)

民間鉄筋アパート (261)

社宅、官舎、寮 (15) 間借り、住込み (2) その他(9)

形

態

別

そ

0.0

0.0

0.0

0.0

0.0

6.1 6.7

0.0

0.0

0.0

6.1

0.0

0.0

11.1

0.0

4.6

0.0

0.0

50.0

0.0

2.3

0.0

0.0

0.0

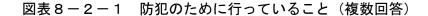
### (2) 防犯のために行っていること

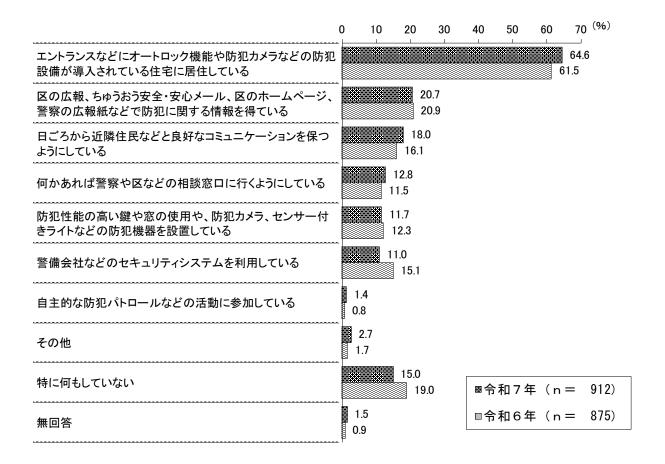
◆「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」が6割台半ば

#### 問19 あなたが防犯のために実行していること、心掛けていることは何ですか。 (Oはいくつでも) n = 912自主的な防犯パトロールなどの活動に参加している 1.4% 2 区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙など で防犯に関する情報を得ている 20.7 何かあれば警察や区などの相談窓口に行くようにしている 12.8 日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている 18.0 **5** 防犯性能の高い鍵や窓の使用や、防犯カメラ、センサー付きライトなどの 防犯機器を設置している 11.7 6 警備会社などのセキュリティシステムを利用している 11.0 7 エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入 されている住宅に居住している 64.6 8 その他 2.7 9 特に何もしていない 15.0 (無回答) 1.5

防犯のために行っていることは、「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」(64.6%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」(20.7%)、「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」(18.0%)、「何かあれば警察や区などの相談窓口に行くようにしている」(12.8%)、「防犯性能の高い鍵や窓の使用や、防犯カメラ、センサー付きライトなどの防犯機器を設置している」(11.7%)などとなっている。一方、「特に何もしていない」(15.0%)は1割台半ばとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯 設備が導入されている住宅に居住している」は3.1ポイント増加している。(図表8-2-1)





過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」と「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」、「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」が令和2年以降上位3項目となっている。(図表8-2-2)

図表8-2-2 防犯のために行っていること - 過年度比較

											(%)
調査年	n	れている住宅に居住しているや防犯カメラなどの防犯設備が導入さエントランスなどにオートロック機能	などで防犯に関する情報を得ているル、区のホームページ、警察の広報紙区の広報、ちゅうおう安全・安心メー	る ミュニケーションを保つようにしていミュニケーションを保つようにしてい	行くようにしている何かあれば警察や区などの相談窓口に	犯機器を設置しているカメラ、センサー付きライトなどの防防犯性能の高い鍵や窓の使用や、防犯	を利用している 警備会社などのセキュリティシステム	参加している自主的な防犯パトロールなどの活動に	その他	特に何もしていない	無回答
令和7年	912	64.6	20.7	18.0	12.8	11.7	11.0	1.4	2.7	15.0	1.5
令和6年	875	61.5	20.9	16. 1	11.5	12.3	15. 1	0.8	1.7	19.0	0.9
令和5年	850	58.5	23. 4	16.8	11.8	12.1	14.5	1.4	2.4	17.1	1.2
令和4年	1,004	57.2	23. 2	17.7	12.7	13.3	14.5	1.9	2.3	20.5	1.6
令和3年	1, 101	58.2	25. 1	16.8	12.1	11.7	13.9	1.1	2.6	17.1	2.5
令和2年	1, 161	59.6	25. 7	16.0	13.3	10.9	14.3	1.2	1.8	16.9	2.0
令和元年	956	*	21.1	20.5	13.7	16.3	16.7	1.6	2.4	40.5	2.4
平成30年	1,056	*	19.8	19.6	13.3	11.6	14.7	1.5	3.9	42.1	2.1
平成29年	1, 056	*	21.3	19. 1	13.2	15.9	14.6	1.4	3.0	38.0	3.6
平成28年	1,036	*	19.8	20.3	13.5	15.5	15.2	1.2	2.2	41.0	2.6
平成27年	1,027	*	20.0	20.1	13.0	14.1	14. 2	1.6	3.0	41.6	1.9
平成26年	1,041	*	17.5	19.5	14.4	14.9	13.6	1.2	3.7	41.6	3.2
平成25年	1,047	*	18.4	22.3	15.2	16.1	11.9	2.1	3.9	36.8	4.7
平成24年	1, 123	*	19.6	20.1	16.3	15. 2	12.0	1.6	2.8	40.5	2.4
平成23年	1,097	*	17.7	22.0	15.3	14.8	11.9	1.8	3.2	39. 7	3.4
平成22年	1,004	*	20.3	27.5	19.2	19.2	14.0	2.6	2.8	33.0	2.1
平成21年	1,001	*	13.7	26.8	16.2	19.4	15.4	2.6	3.5	35.2	2.2
平成20年	1,065	*	12.7	29.8	17.2	19.7	14. 1	3.4	3.3	36.2	2.3
平成19年	686	*	9.0	27.7	13.0	19. 2	10.5	2.9	2.5	41.5	2.0

- \* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。
- \*「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」 の選択肢は、平成21年以前は「子ども安全安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を 得ている」としていた。
- \*「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」の選択 肢は、令和6年以前は「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている」とし ていた。

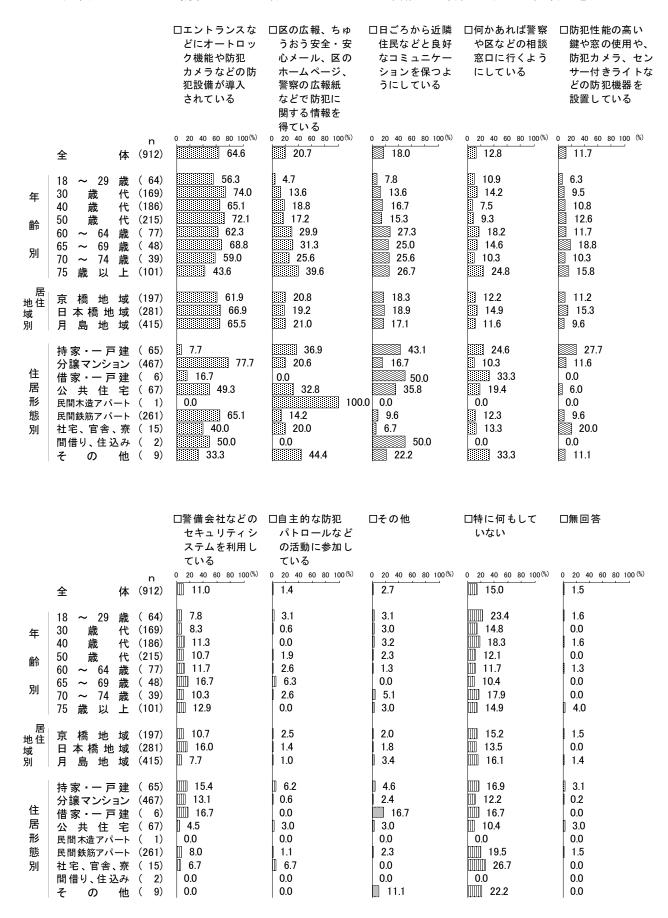
年齢別でみると、「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」は30歳代で7割台半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」は日本橋地域で7割近くと高くなっている。

住居形態別でみると、「エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている住宅に居住している」は分譲マンションで8割近くと高くなっている。

(図表 8 - 2 - 3)

図表8-2-3 防犯のために行っていること-年齢別・居住地域別・住居形態別



## (3) 区に特に力を入れてほしい施策

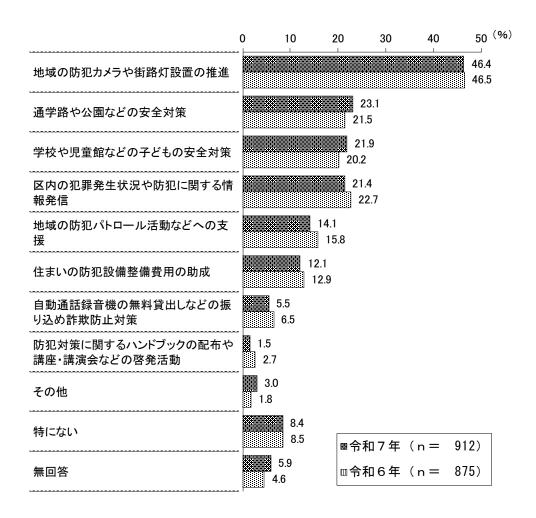
#### ◆「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」が4割台半ば

問2	20 今後、あなたが区に特に力を入れてほしいと考える施策は何ですか。	(Oは2つまで)
	n = 912	
1	区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信	21.4%
2	住まいの防犯設備整備費用の助成	12. 1
3	自動通話録音機の無料貸出しなどの振り込め詐欺防止対策	5. 5
4	地域の防犯カメラや街路灯設置の推進	46. 4
5	防犯対策に関するハンドブックの配布や講座・講演会などの啓発活動	1.5
6	学校や児童館などの子どもの安全対策	21.9
7	通学路や公園などの安全対策	23. 1
8	地域の防犯パトロール活動などへの支援	14.1
9	その他	3.0
10	特にない	8.4
	(無回答)	5.9

区に特に力を入れてほしい施策は、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(46.4%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」(23.1%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(21.9%)、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(21.4%)、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」(14.1%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「学校や児童館などの子どもの安全対策」は1.7ポイント、「通学路や公園などの安全対策」は1.6ポイント、それぞれ増加している。(図表8-3-1)

図表8-3-1 区に特に力を入れてほしい施策(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「地域の 防犯カメラや街路灯設置の推進」は平成27年以降第1位となっている。(図表8-3-2)

												(%)
調査年	n	灯設置の推進地域の防犯カメラや街路	対策 通学路や公園などの安全	もの安全対策学校や児童館などの子ど	犯に関する情報発信区内の犯罪発生状況や防	動などへの支援地域の防犯パトロール活	用の助成住まいの防犯設備整備費	防止対策出しなどの振り込め詐欺自動通話録音機の無料貸	演会などの啓発活動ブックの配布や講座・講防犯対策に関するハンド	その他	特にない	無回答
令和7年	912	46. 4	23. 1	21.9	21.4	14.1	12.1	5.5	1.5	3.0	8. 4	5. 9
令和6年	875	46.5	21.5	20.2	22. 7	15.8	12.9	6.5	2.7	1.8	8. 5	4.6
令和5年	850	48.8	28.5	25.9	20.1	15.8	15.5	8. 1	3.6	2.6	6. 7	1.6
令和4年	1,004	47.0	24.0	19.5	19. 9	14.0	14.6	5. 7	2.2	1.5	10.9	1.4
令和3年	1, 101	44. 1	23.8	20.8	24. 2	13.9	15.3	7.0	2.4	2.0	9.2	2.4
令和2年	1, 161	45.9	22.7	21.7	22.0	12.6	15.2	7. 9	1. 1	2.2	10.0	2.6
令和元年	956	43. 7	25.0	20.6	24. 2	16.0	11.9	8. 5	1.9	1.8	7.6	2.8
平成30年	1,056	51.1	26.9	20.4	20.1	17.0	14.2	*	2.7	2.7	6.4	2.1
平成29年	1,056	47.1	26.2	22.1	24. 1	16.3	11.7	*	2.5	2.1	8.0	4.5
平成28年	1,036	46. 9	25.5	22.0	24.0	18.8	11.5	*	2.2	1.2	8.5	3. 1
平成27年	1,027	50.6	30.1	23.5	21.3	22. 1	12.8	*	2. 9	2.4	5.6	2.7
平成26年	1,041	26. 9	35.8	22.9	14.6	22.4	21.3	*	4.4	3.2	*	8.9
平成25年	1,047	30. 7	34. 4	19.5	14. 9	21.0	23.3	*	4.6	3.5	*	8.3
平成24年	1, 123	14. 2	38. 1	24.0	20.7	28. 9	11.0	*	5.9	3.9	*	9.3
平成23年	1,097	13. 7	38.6	24. 2	15.6	30.8	12.4	*	5. 7	4.6	*	10.6
平成22年	1,004	14. 4	42.4	29.3	14. 9	31.1	10.8	*	5.0	3.7	*	7.3

図表8-3-2 区に特に力を入れてほしい施策-過年度比較

\* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。

16.3

39.3

23.6

14.5

平成21年 1,001

\* 「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」の選択肢は、平成25年から平成26年までは「町会、自治会などに対する防犯アドバイザーの派遣および防犯カメラなどの設置費用の助成」、平成24年以前は「町会、自治会等に対する街の防犯対策に関するアドバイザーの派遣相談及び費用の助成」としていた。

28.6

11.4

5.0

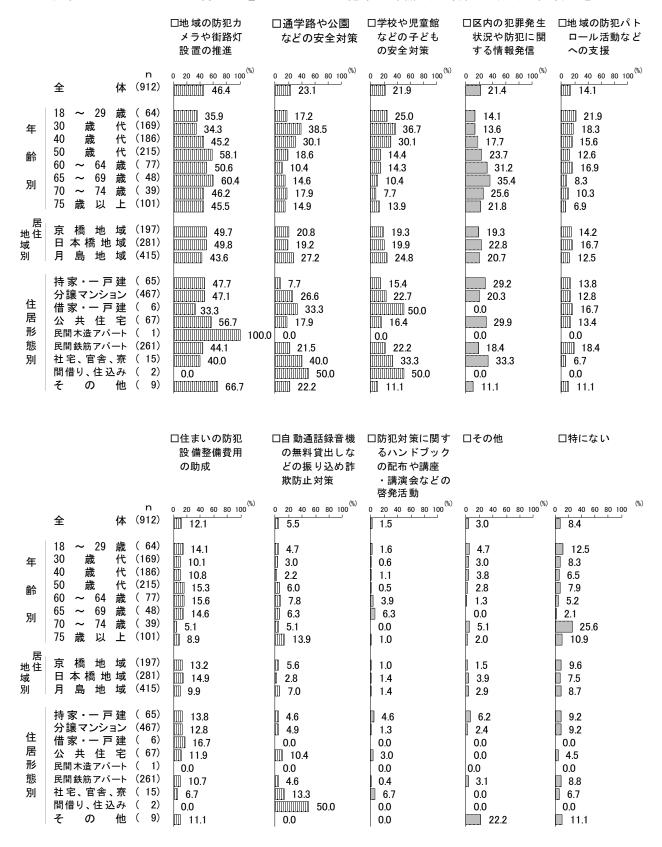
- \* 「地域の防犯パトロール活動などへの支援」の選択肢は、平成29年と平成27年では「地域の防犯パトロール活動への支援」、平成26年以前は「地域の自主的防犯パトロール活動や子ども見守り活動への支援」としていた。
- \* 「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」の選択肢は、平成26年以前は「メールによる犯罪発生状況や防犯に関する情報 発信」としていた。
- \* 「住まいの防犯設備整備費用の助成」の選択肢は、平成25年から平成26年までは「住まいの防犯アドバイザーの派遣および防犯性能の高い鍵やセンサー付きライトなどの設置費用の助成」、平成24年以前は「住まいの防犯対策に関するアドバイザーの派遣相談及び費用の助成」としていた。
- \* 「防犯対策に関するハンドブックの配布や講座・講演会などの啓発活動」の選択肢は、平成26年以前は「防犯や子どもの安全に関する講座・講演会」としていた。

年齢別でみると、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は65~69歳で6割と高くなっている。 「通学路や公園などの安全対策」は30歳代で4割近くと高くなっている。

居住地域別でみると、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は京橋地域と日本橋地域で5割と高くなっている。

住居形態別でみると、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は公共住宅で6割近くと高くなっている。(図表8-3-3)

図表8-3-3 区に特に力を入れてほしい施策-年齢別・居住地域別・住居形態別



## 【9 スポーツ】

## (1)過去1年間に行ったスポーツや運動の種類

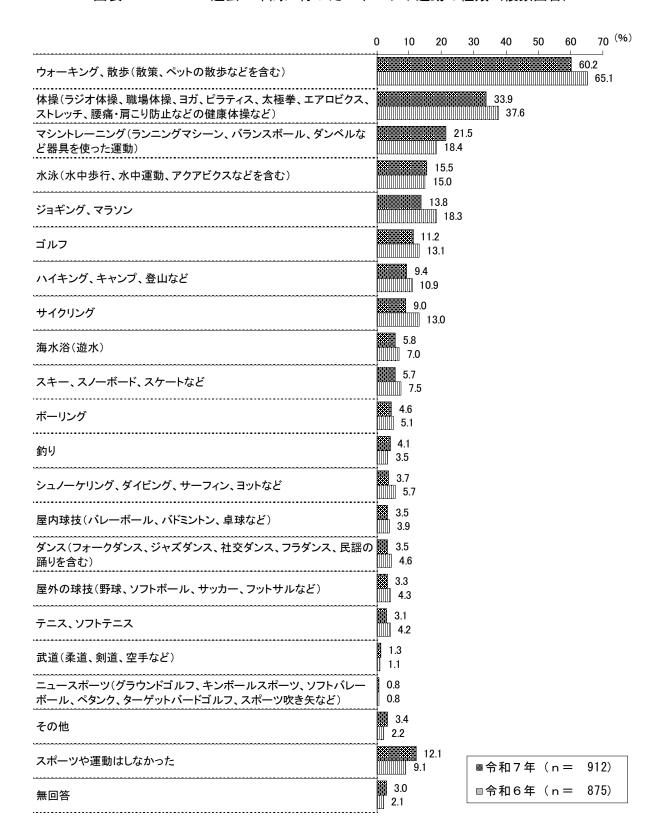
◆「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)」が6割

問2	21 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動は何ですか。(〇はいくつでも) ※ 運動の量や時間の条件はありません。	
	n = 912	
1	水泳(水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む)	15.5%
2	体操(ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、	
	ストレッチ、腰痛・肩こり防止などの健康体操など)	33.9
3	ジョギング、マラソン	13.8
4	ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)	60.2
5	マシントレーニング(ランニングマシーン、バランスボール、ダンベルなど	
	器具を使った運動)	21.5
6	武道(柔道、剣道、空手など)	1.3
7	テニス、ソフトテニス	3. 1
8	屋内球技(バレーボール、バドミントン、卓球など)	3.5
9	屋外の球技(野球、ソフトボール、サッカー、フットサルなど)	3.3
10	ゴルフ	11.2
11	ハイキング、キャンプ、登山など	9.4
12	スキー、スノーボード、スケートなど	5. 7
13	海水浴(遊水)	5.8
14	シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、ヨットなど	3. 7
15	釣り	4. 1
16	ボーリング	4.6
17	サイクリング	9.0
18	ニュースポーツ(グラウンドゴルフ、キンボールスポーツ、ソフトバレーボール	<b>'</b> \
	ペタンク、ターゲットバードゴルフ、スポーツ吹き矢など)	0.8
19	ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、	
	民謡の踊りを含む)	3.5
20	その他	3.4
21	スポーツや運動はしなかった	12. 1
	(無回答)	3. 0

過去1年間に行ったスポーツや運動の種類は、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)」(60.2%)が6割と最も高くなっている。次いで、「体操(ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、腰痛・肩こり防止などの健康体操など)」(33.9%)、「マシントレーニング(ランニングマシーン、バランスボール、ダンベルなど器具を使った運動)」(21.5%)、「水泳(水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む)」(15.5%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「マシントレーニング(ランニングマシーン、バランスボール、ダンベルなど器具を使った運動)」は3.1ポイント増加している。一方、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)」は4.9ポイント、「ジョギング、マラソン」は4.5ポイント、「サイクリング」は4.0ポイント、それぞれ減少している。(図表 9-1-1)

図表9-1-1 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「ウォーキング、散歩」と「体操」が引き続き上位2項目となっている。(図表9-1-2)

図表9-1-2 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類-過年度比較

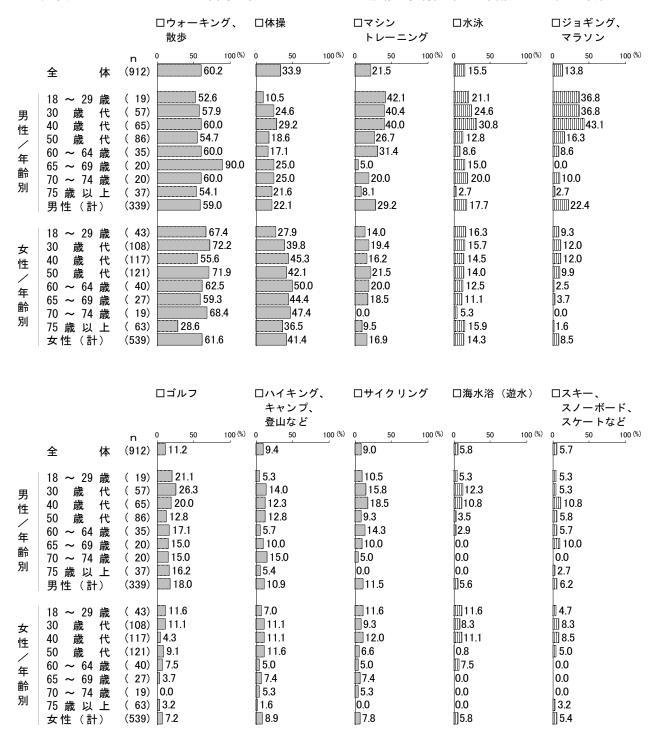
							,																(%)
調査年	n	ウォーキング、散歩	体操	マシントレー ニング	水泳	ジョギング、マラソン	ゴルフ	ハイキング、キャンプ、登山など	サイクリング	海水浴(遊水)	スキー、スノーボード、スケートなど	ボー リング	釣り	フイン、ヨットなどシュノーケリング、ダイビング、サー	屋内球技	ダンス	屋外の球技	テニス、ソフトテニス	武道	ニュースポーツ	その他	スポーツや運動はしなかった	無回答
令和7年	912	60. 2	33.9	21.5	15.5	13.8	11.2	9.4	9.0	5.8	5.7	4.6	4.1	3.7	3.5	3.5	3.3	3.1	1.3	0.8	3.4	12.1	3.0
令和6年	875	65. 1	37.6	18.4	15.0	18.3	13.1	10.9	13.0	7.0	7.5	5.1	3.5	5.7	3.9	4.6	4.3	4.2	1.1	0.8	2.2	9.1	2.1
令和5年	850	65.3	32.1	17.5	15.6	14.8	12.8	8.2	10.2	4.9	6.6	4.1	4.0	3.4	3.6	3.3	4.4	3.9	1.6	0.8	1.8	12.5	2.4
令和4年	1,004	62.2	34.5	19.2	12.4	17.3	12.8	7.3	10.3	2.6	5.7	3.2	4.1	3.5	3.2	3.9	2.8	4.5	2.2	0.5	2.3	14.3	1.5
令和3年	1,101	66.1	38.2	17.4	12.0	20.3	12.5	6.8	12.0	2.5	3.7	3.5	4.0	2.3	3.3	3.5	3.0	3.2	0.8	0.3	2.5	12.8	0.7
令和2年	1,161	62.9	40.1	18.1	16.6	20.1	12.4	8.2	12.6	5.8	4.7	3.5	3.5	5.2	3.5	3.7	5.3	3.9	1.4	0.4	3.1	13.4	1.8
平成30年	1,056	57.5	37.9	20.3	17.0	18.8	12.2	11.6	13.7	7.2	6.2	6.6	3.5	6.0	4.3	5.7	4.5	3.6	1.1	0.9	1.2	11.9	2.0
平成29年	1,056	56.7	40.0	17.4	17.6	16.4	12.7	11.2	13.0	8.6	6.0	6.7	3.9	5.6	5.6	5.8	4.9	4.4	1.3	1.0	0.9	12.7	3.5
平成28年	1,036	58.3	36.2	18.8	21.9	20.6	14.3	11.3	15.9	11.0	6.9	8.7	4.7	7.4	5.3	5.3	5.5	5.4	1.4	1.5	1.0	12.6	3.4
平成27年	1,027	50.2	30.0	14.0	16.9	16.8	15.1	8.3	10.2	6.2	7.4	4.6	3.1	5.1	3.3	3.3	3.9	3.8	1.5	0.9	1.8	15.5	2.8
平成26年	1,041	57.8	37.8	15.0	21.3	17.2	13.9	11.6	14.6	8.5	7.4	7.3	4.9	3.7	5.2	5.0	5.2	4.2	1.1	1.0	1.2	12.1	2.2
平成25年	1,047	57.0	36.1	14.3	20.9	15.6	13.0	9.6	12.3	7.6	5.9	7.1	4.2	4.9	4.8	5.3	5.2	5.3	1.3	1.1	1.5	12.1	2.7
平成24年	1,123	43.6	27.2	9.8	20.1	17.7	13.2	11.2	*	*	*	*	*	*	5.3	*	4.0	4. 1	*	1.0	7.1	19.4	2.2

<sup>\* ※</sup>印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

<sup>\* 「</sup>ニュースポーツ (グラウンドゴルフ、キンボールスポーツ、ソフトバレーボール、ペタンク、ターゲットバードゴルフ、スポーツ吹き矢など)」の選択肢は、平成29年以前は「ニュースポーツ (グラウンドゴルフ、キンボール、ソフトバレー、ペタンク、スポーツ吹き矢など)」としていた。

性/年齢別でみると、「ウォーキング、散歩」は男性の65~69歳で9割と高くなっている。「体操」は女性の60~64歳で5割と高くなっている。「マシントレーニング」は男性の30歳代と40歳代で4割となっている。(図表 9-1-3)

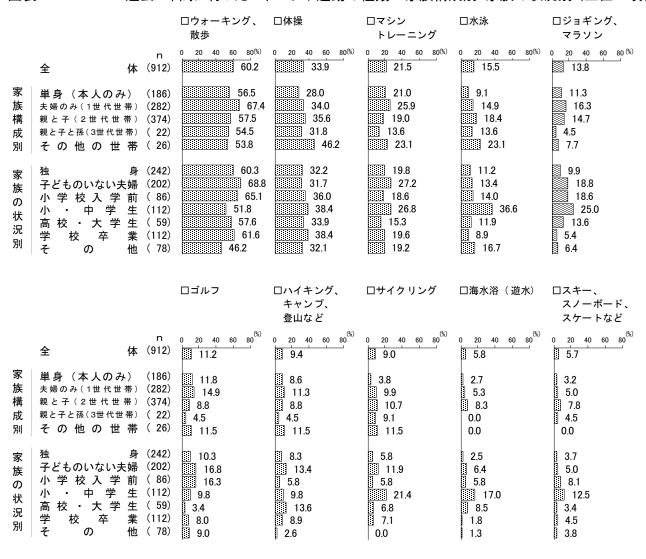
図表9-1-3 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類-性/年齢別(上位10項目)



家族構成別でみると、「ウォーキング、散歩」は夫婦のみ(1世代世帯)で7割近くと高くなっている。

家族の状況別でみると、「水泳」は一番上の子どもが小・中学生の家族で4割近くと高くなっている。(図表9-1-4)

図表9-1-4 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類-家族構成別・家族の状況別(上位10項目)



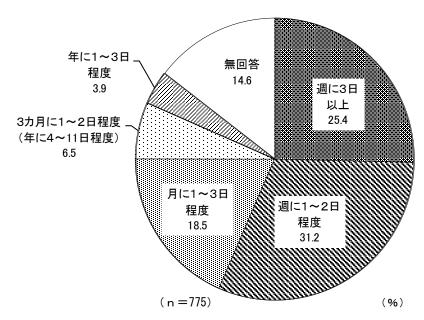
## (2) 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

#### ◆「週に1~2日程度」が3割を超える

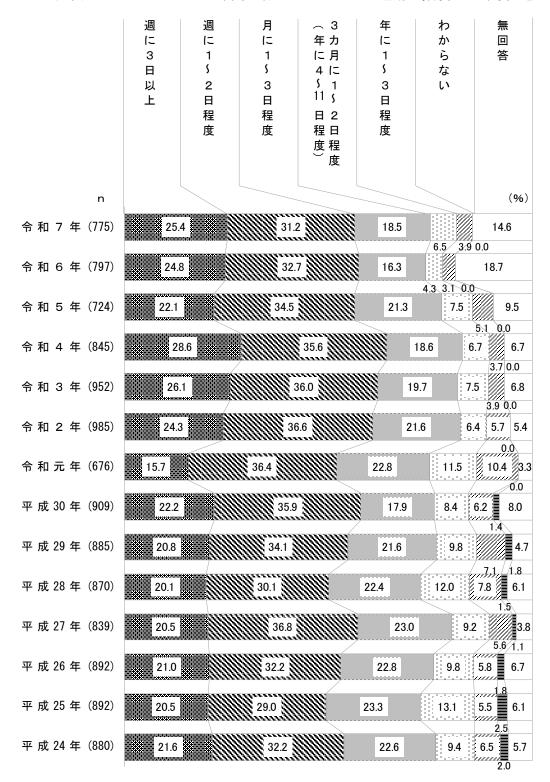
(問21で、「1 水泳」から「20 その他」のいずれかにお答えの方に) 問21-1 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。(Oは1つ) n = 7751 週に3日以上 25.4% 週に1~2日程度 31.2 月に1~3日程度 18.5 3 3カ月に1~2日程度(年に4~11日程度) 6.5 5 年に1~3日程度 3.9 (無回答) 14.6

問21で、いずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方の、過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度は、「週に $1\sim2$ 日程度」(31.2%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(25.4%)、「月に $1\sim3$ 日程度」(18.5%)、「3カ月に $1\sim2$ 日程度(年に $4\sim11$ 日程度)」(6.5%)などとなっている。(図表9-2-1)

図表9-2-1 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、令和 6 年 と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図表 9-2-2)

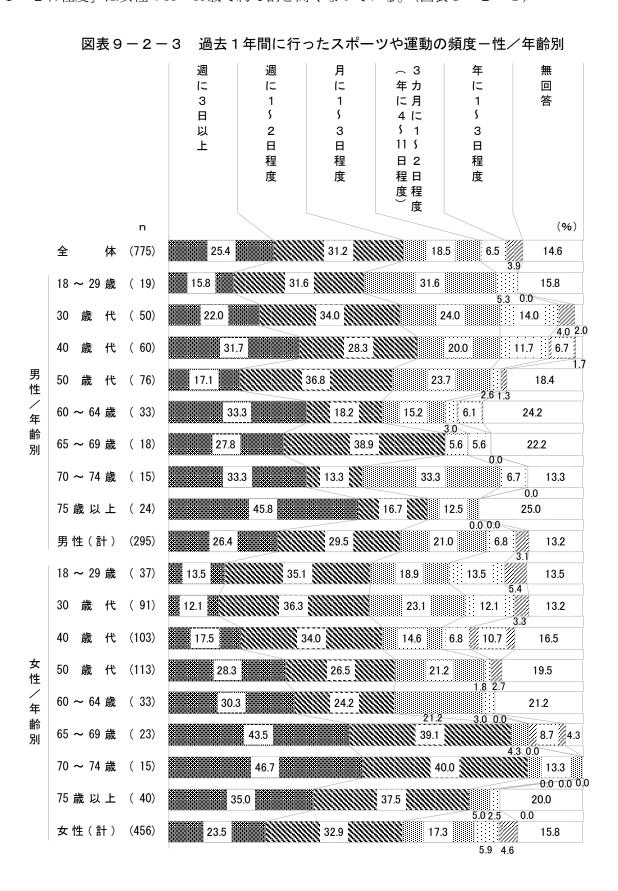


図表9-2-2 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度-過年度比較

<sup>\* 「</sup>わからない」は、令和元年調査から選択肢に含まれていない。

<sup>\*</sup> 令和元年の調査では、「あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。( $\bigcirc$ は1つ)」と全員に対してこの質問を聞いた。図表 9-2-2における令和元年の比率は、「スポーツや運動はしなかった」と答えた数を除いて再計算した比率を示す。

性/年齢別でみると、「週に3日以上」は男性の75歳以上で4割台半ばと高くなっている。「週に $1 \sim 2$ 日程度」は女性の65 $\sim$ 69歳で約4割と高くなっている。(図表9 - 2 - 3)



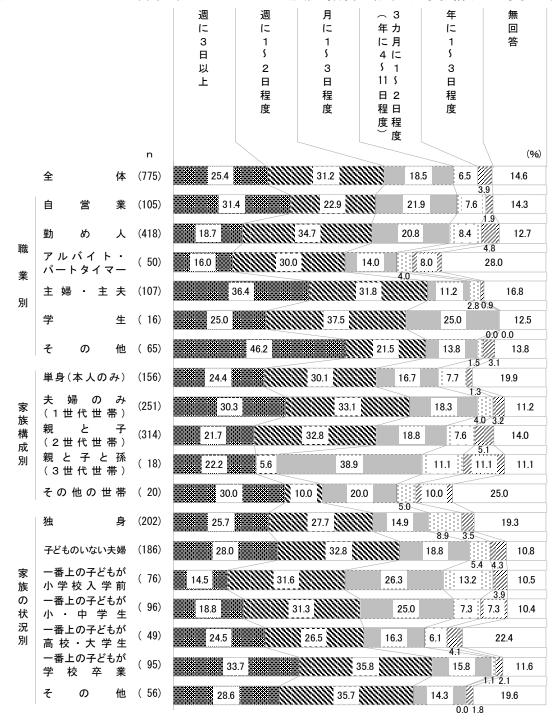
第55回 中央区政世論調査

職業別でみると、「週に3日以上」は主婦・主夫で3割台半ばと高くなっている。「週に $1\sim2$ 日程度」は勤め人で3割台半ばと高くなっている。

家族構成別でみると、「週に $1\sim2$ 日程度」は夫婦のみ(1世代世帯)と親と子(2世代世帯)で 3割を超えて高くなっている。

家族の状況別でみると、「週に3日以上」は一番上の子どもが学校卒業の家族で3割を超えて高くなっている。「週に $1\sim2$ 日程度」は一番上の子どもが学校卒業で3割台半ばと高くなっている。 (図表9-2-4)

図表9-2-4 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度-職業別・家族構成別・家族の状況別



### (3)過去1年間にウォーキングや散歩をした場所

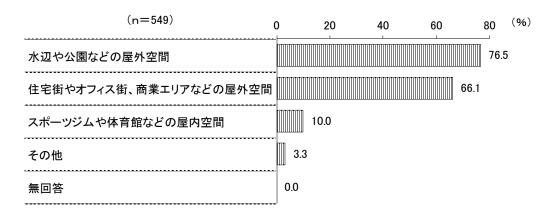
#### ◆「水辺や公園などの屋外空間」が8割近く

(問21で、「4 ウォーキング、散歩 (散策、ペットの散歩などを含む)」とお答えの方に) 問21-2 あなたは、この1年間に区内のどのような場所でウォーキングや散歩をしましたか。 (Oはいくつでも) n=549

1 水辺や公園などの屋外空間 76.5%
2 住宅街やオフィス街、商業エリアなどの屋外空間 66.1
3 スポーツジムや体育館などの屋内空間 10.0
4 その他 3.3
(無回答) 3.3

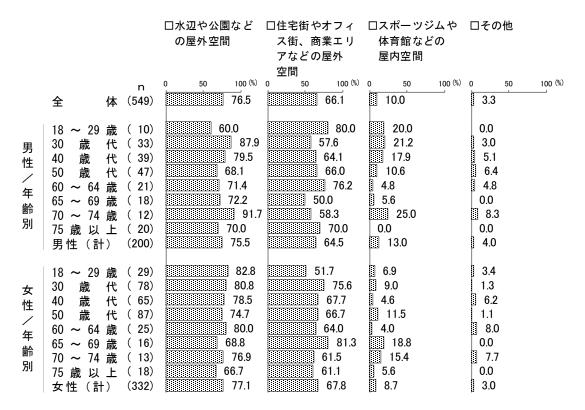
問21で、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)」をしたことがあると回答した方の、ウォーキングや散歩をした場所は「水辺や公園などの屋外空間」(76.5%)が8割近くと最も高くなっている。次いで、「住宅街やオフィス街、商業エリアなどの屋外空間」(66.1%)、「スポーツジムや体育館などの屋内空間」(10.0%)となっている。(図表9-3-1)

図表9-3-1 過去1年間にウォーキングや散歩をした場所(複数回答)



性/年齢別でみると、「水辺や公園などの屋外空間」は男性の30歳代で9割近くと高くなっている。「住宅街やオフィス街、商業エリアなどの屋外空間」は男性の $60\sim64$ 歳と女性の30歳代で7割台半ばと高くなっている。(図表 9-3-2)

図表9-3-2 過去1年間にウォーキングや散歩をした場所-性/年齢別

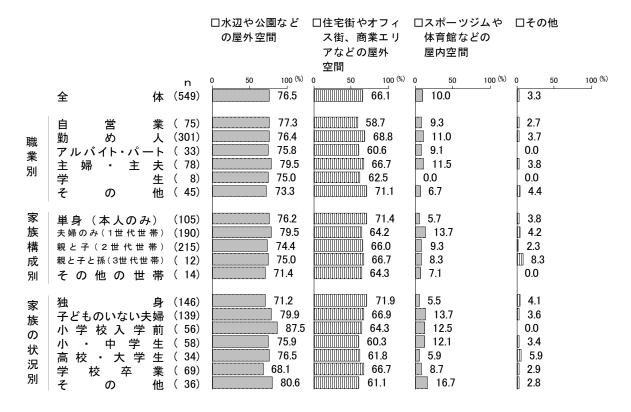


職業別でみると、「水辺や公園などの屋外空間」は主婦・主夫で8割と高くなっている。「住宅街やオフィス街、商業エリアなどの屋外空間」は勤め人で7割近くと高くなっている。

家族構成別でみると、「水辺や公園などの屋外空間」は夫婦のみ (1世代世帯) で8割と高くなっている。

家族の状況別でみると、「水辺や公園などの屋外空間」は一番上の子どもが小学校入学前の家族で9割近くと高くなっている。「住宅街やオフィス街、商業エリアなどの屋外空間」は独身で7割を超えて高くなっている。(図表9-3-3)

図表9-3-3 過去1年間にウォーキングや散歩をした場所-職業別・家族構成別・家族の状況別



## 【10 地域のコミュニティ活動】

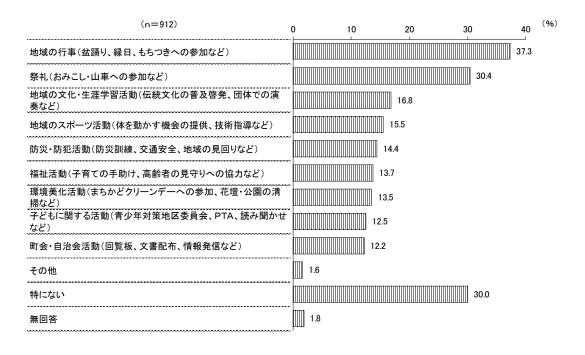
## (1) 地域の方と交流を持ちたいと思う活動

◆「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」が4割近く

問2	2 あなたが地域の方と交流を持ちたいと思う活動は何ですか。(〇はいくつで	<b>(</b> +)
	n = 912	
1	町会・自治会活動(回覧板、文書配布、情報発信など)	12.2%
2	地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)	37.3
3	祭礼(おみこし・山車への参加など)	30. 4
4	地域の文化・生涯学習活動(伝統文化の普及啓発、団体での演奏など)	16.8
5	地域のスポーツ活動 (体を動かす機会の提供、技術指導など)	15. 5
6	防災・防犯活動(防災訓練、交通安全、地域の見回りなど)	14.4
7	福祉活動(子育ての手助け、高齢者の見守りへの協力など)	13. 7
8	環境美化活動(まちかどクリーンデーへの参加、花壇・公園の清掃など)	13. 5
9	子どもに関する活動(青少年対策地区委員会、PTA、読み聞かせなど)	12.5
10	その他	1.6
11	特にない	30.0
	(無回答)	1.8

地域の方と交流を持ちたいと思う活動は、「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」 (37.3%) が4割近くと最も高くなっている。次いで、「祭礼 (おみこし・山車への参加など)」 (30.4%)、「地域の文化・生涯学習活動 (伝統文化の普及啓発、団体での演奏など)」 (16.8%) などとなっている。(図表10-1-1)

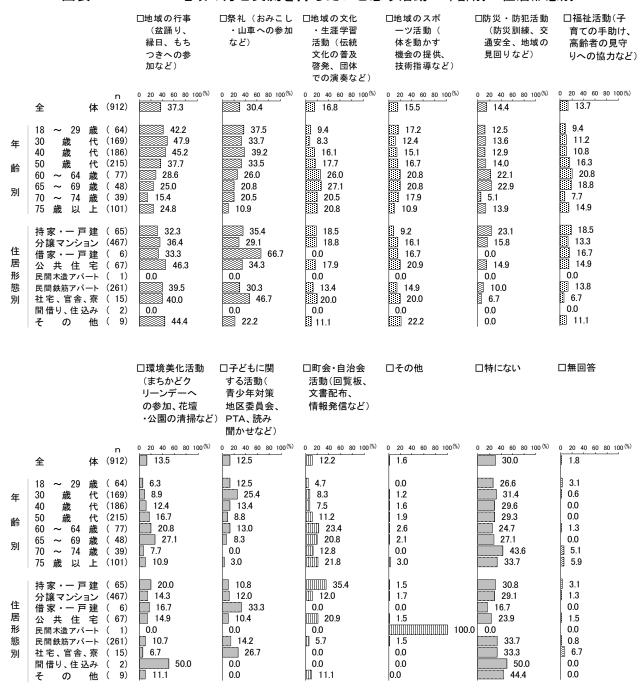
図表10-1-1 地域の方と交流を持ちたいと思う活動(複数回答)



年齢別でみると、「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」は30歳代で5割近くと高くなっている。

住居形態別でみると、「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」は公共住宅で4割台半ばと高くなっている。(図表10-1-2)

図表10-1-2 地域の方と交流を持ちたいと思う活動-年齢別・住居形態別



## (2) すでに交流・参加している活動

#### ◆「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」が2割近く

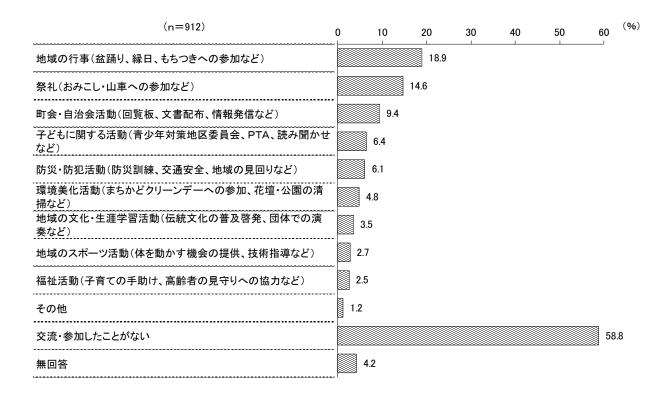
# 問23 問22の取り組みであなたがすでに交流・参加している活動はありますか。(Oはいくつ でも)

	n = 912	
1	町会・自治会活動(回覧板、文書配布、情報発信など)	9.4%
2	地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)	18.9
3	祭礼(おみこし・山車への参加など)	14.6
4	地域の文化・生涯学習活動(伝統文化の普及啓発、団体での演奏など)	3. 5
5	地域のスポーツ活動(体を動かす機会の提供、技術指導など)	2.7
6	防災・防犯活動(防災訓練、交通安全、地域の見回りなど)	6. 1
7	福祉活動(子育ての手助け、高齢者の見守りへの協力など)	2.5
8	環境美化活動(まちかどクリーンデーへの参加、花壇・公園の清掃など)	4.8
9	子どもに関する活動(青少年対策地区委員会、PTA、読み聞かせなど)	6.4
10	その他	1.2
11	交流・参加したことがない	58.8
	(無回答)	4. 2

すでに交流・参加している活動は、「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」(18.9%) が2割近くと最も高くなっている。次いで、「祭礼(おみこし・山車への参加など)」(14.6%)、「町 会・自治会活動(回覧板、文書配布、情報発信など)」(9.4%)などとなっている。

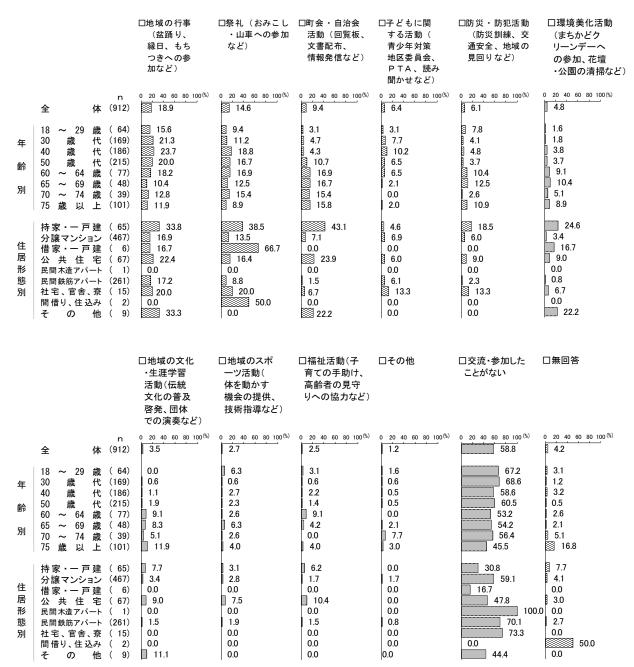
(図表10-2-1)

図表10-2-1 すでに交流・参加している活動(複数回答)



年齢別でみると、「交流・参加したことがない」は30歳以下の年代で7割近くと高くなっている。 住居形態別でみると、「交流・参加したことがない」は民間鉄筋アパート、マンションで7割と 高くなっている。(図表10-2-2)

図表10-2-2 すでに交流・参加している活動-年齢別・住居形態別



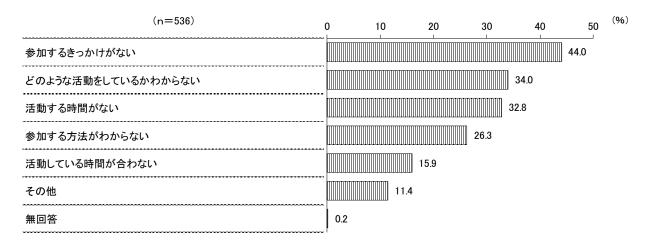
## (3) 地域の活動に参加していない理由

#### ◆「参加するきっかけがない」が4割台半ば

(問23で「11 交流・参加したことがない」とお答えの方に) 問23-1 あなたが地域の活動に参加していない理由は何ですか。(Oはいくつでも) n = 5361 活動する時間がない 32.8% 2 活動している時間が合わない 15.9 参加するきっかけがない 3 44.0 4 参加する方法がわからない 26.3 5 どのような活動をしているかわからない 34.0 6 その他 11.4 (無回答) 0.2

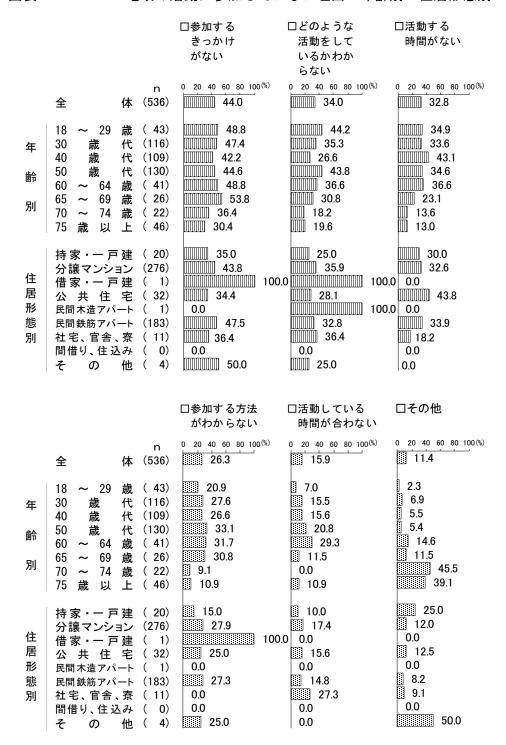
地域の活動に参加していない理由は、「参加するきっかけがない」(44.0%) が 4 割台半ばと最も高くなっている。次いで、「どのような活動をしているかわからない」(34.0%)、「活動する時間がない」(32.8%)、「参加する方法がわからない」(26.3%) などとなっている。(図表10-3-1)

図表10-3-1 地域の活動に参加していない理由(複数回答)



年齢別でみると、「参加するきっかけがない」は65~69歳で5割を超えて高くなっている。 住居形態別でみると、「参加するきっかけがない」は民間鉄筋アパート、マンションで5割近く と高くなっている。(図表10-3-2)

図表10-3-2 地域の活動に参加していない理由-年齢別・住居形態別



# 【11 おくやみコーナー】

- (1) おくやみコーナーの認知度
- ◆「知らない」が9割を超える

問24 令和6年7月、中央区役所1階に「おくやみコーナー\*」が開設しました。あなたは、「おくやみコーナー」を知っていますか。(〇は1つ)

n = 912

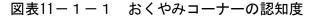
1	「おくやみコーナー」の内容も知っている	1.8%
2	内容までは知らないが、聞いたことはある	5. 2

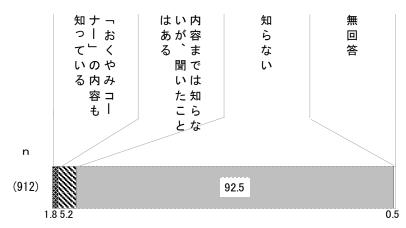
3 知らない92.5(無回答)0.5

(※) おくやみコーナー ご家族などの身近な方が亡くなられた際、ご遺族の方々が区役所で行う 各種手続きに関する不安や負担を軽減するため、手続きの相談対応、申請 書の作成補助、各種証明書の取得支援などをワンストップで行う窓口です。

おくやみコーナーの認知度は、「知らない」(92.5%)が9割を超えて最も高くなっている。

(図表11-1-1)

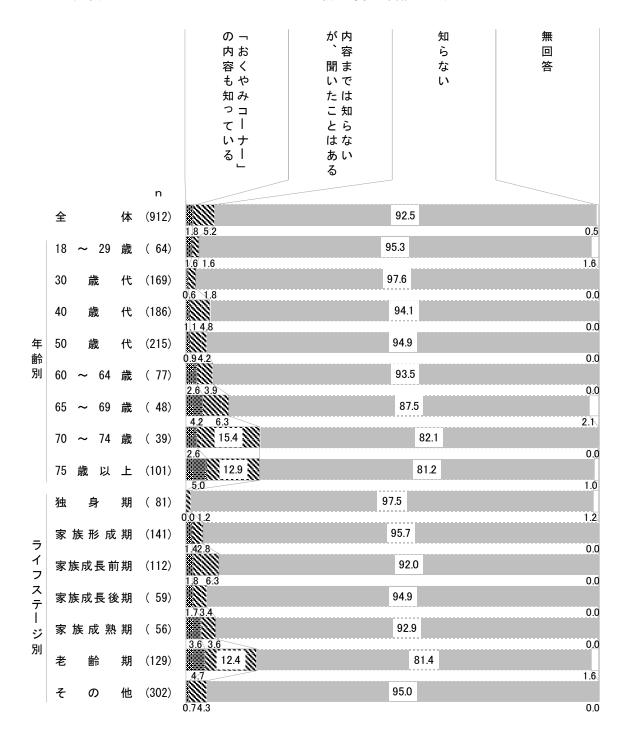




年齢別でみると、「内容までは知らないが、聞いたことはある」は70~74歳で1割台半ばとなっている。

ライフステージ別でみると、「内容までは知らないが、聞いたことはある」は老齢期で1割を超えている。(図表11-1-2)

図表11-1-2 おくやみコーナーの認知度-年齢別・ライフステージ別



# 【12 動物の飼養】

#### (1)動物の飼養状況

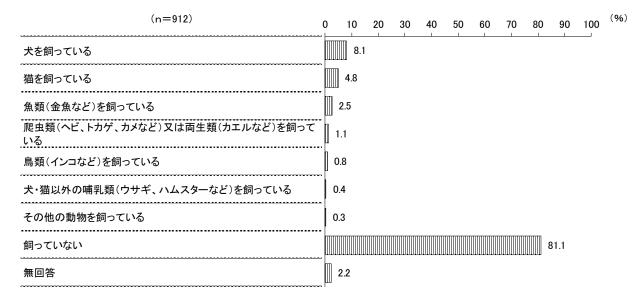
#### ◆「犬を飼っている」が1割近く

問25 あなたの世帯では、ご自宅で動物を飼っていますか。(Oはいくつでも)					
	n = 912				
1	犬を飼っている	8.1%			
2	猫を飼っている	4.8			
3	犬・猫以外の哺乳類(ウサギ、ハムスターなど)を飼っている	0.4			
4	鳥類(インコなど)を飼っている	0.8			
5	爬虫類(ヘビ、トカゲ、カメなど)又は両生類(カエルなど)を飼っている	1.1			
6	魚類(金魚など)を飼っている	2.5			
7	その他の動物を飼っている	0.3			
8	飼っていない	81. 1			
	(無回答)	2.2			
	(///III II /	<b>2.</b> 2			

動物の飼養状況は、「犬を飼っている」が8.1%で最も高くなっている。次いで、「猫を飼っている」が4.8%、「魚類(金魚など)を飼っている」が2.5%となっている。

(図表12-1-1)

#### 図表12-1-1 動物の飼養状況(複数回答)



#### (2) 犬の飼養数

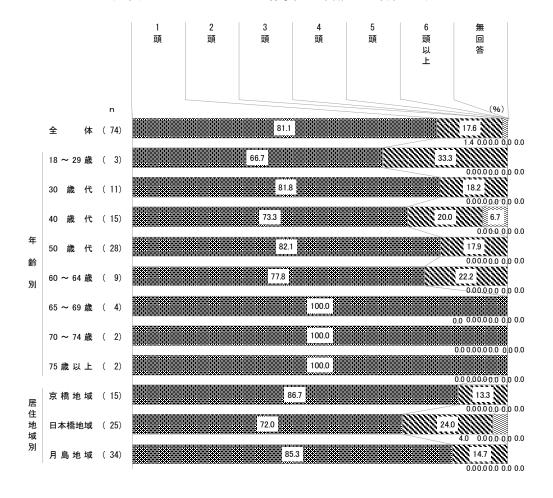
#### ◆「1頭」が8割を超える

1	(問25で、「1 犬を飼っている」とお答えの方に) 問25-1 あなたの世帯では、犬を何頭飼っていますか。(〇は1つ)					
	n = 74					
1	1頭	81.1%				
2	2頭	17.6				
3	3頭	1.4				
4	4頭	0.0				
5	5頭	0.0				
6	6頭以上	0.0				
	(無回答)	0.0				

犬の飼養数は、「1頭」(81.1%)が8割を超えて最も高くなっている。 年齢別、居住地域別の回答については、回答数が少ないため参考までに図示する。

(図表12-2-1)

図表12-2-1 犬の飼養数-年齢別・居住地域別



#### (3) 猫の飼養数

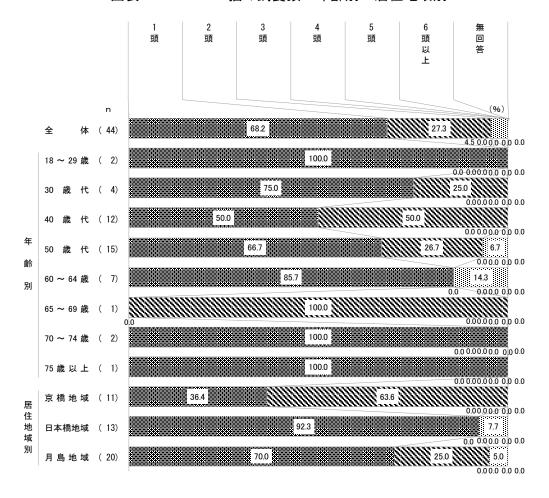
#### ◆「1頭」が7割近く

(問25で、「2 猫を飼っている」とお答えの方に) 問25-2 あなたの世帯では、猫を何頭飼っていますか。(〇は1つ)						
	n = 44					
1	1頭	68. 2%				
2	2頭	27. 3				
3	3頭	4. 5				
4	4頭	0.0				
5	5頭	0.0				
6	6頭以上	0.0				
	(無回答)	0.0				

猫の飼養数は、「1頭」(68.2%)が7割近くで最も高くなっている。 年齢別、居住地域別の回答については、回答数が少ないため参考までに図示する。

(図表12-3-1)

図表12-3-1 猫の飼養数-年齢別・居住地域別



# 【13 受動喫煙防止対策】

- (1)「中央区たばこルール」の認知度
- ◆「『中央区たばこルール』の内容も知っている」が2割を超える

問26 令和2年7月1日に「中央区受動喫煙防止対策の推進に関する条例」が施行されました。 あなたは条例で定めた「中央区たばこルール」\*を知っていますか。( $\bigcirc$ は1つだけ)

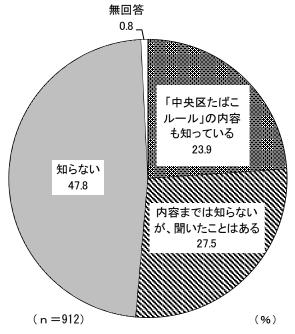
23.9%
27. 5
47.8
0.8

(※) 中央区たばこルール 公共の場所(区内全域の道路、公園、広場)での受動喫煙を防止するため、「喫煙者が守るべきルール」および「灰皿を設置する事業者が守るべきルール」を設けました。ルールには加熱式たばこも含みます。

「中央区たばこルール」の認知度は、「『中央区たばこルール』の内容も知っている」(23.9%)が 2割を超えている。「内容までは知らないが、聞いたことはある」(27.5%)は 3割近く、「知らない」(47.8%)は 5割近くとなっている。(図表13-1-1)

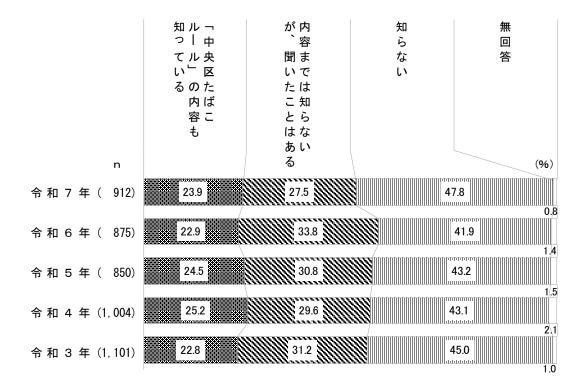
無回答

図表13-1-1 「中央区たばこルール」の認知度



昨年の調査結果と比較すると、「『中央区たばこルール』の内容も知っている」は1.0ポイント増加している。一方、「内容までは知らないが、聞いたことはある」は6.3ポイント減少している。(図表13-1-2)

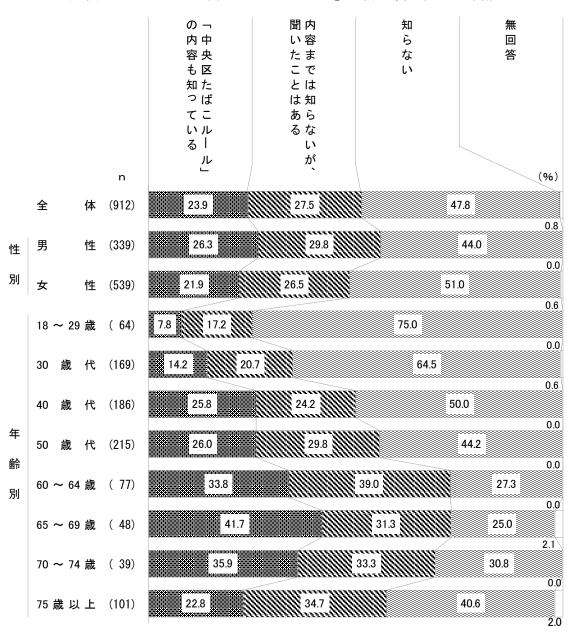




<sup>\* 「</sup>内容までは知らないが、聞いたことはある」の選択肢は、令和5年以前は「聞いたことはあるが、内容は知らない」としていた。

性別でみると、男性の方が女性よりも「『中央区たばこルール』の内容も知っている」は4.4ポイント、「内容までは知らないが、聞いたことはある」は3.3ポイント高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「知らない」は7.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「『中央区たばこルール』の内容も知っている」は $65\sim69$ 歳で4割を超えて高くなっている。一方、「知らない」は $18\sim29$ 歳で7割台半ばと高くなっている。(図表13-1-3)



図表13-1-3 「中央区たばこルール」の認知度-性別・年齢別

# 【14 デジタル技術を活用した区民サービス】

- (1) 区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービス
- ◆「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる手続きの拡大」が6割を超える

## 問27 あなたが、区に進めてほしいと考えるデジタル技術を活用した区民サービスは どれですか。(Oはいくつでも)

	n = 912	
1	窓口手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大	37.2%
2	オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大	34. 6
3	区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる	
	申請・届出手続きの拡大	61. 5
4	マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大	34. 9
5	スマートフォンなどへの区民サービスの案内の充実	25. 3
6	チャットボット*を活用した自動応答サービスの拡大	6.8
7	オンラインでの混雑状況配信窓口の拡大	15. 5
8	デジタルツールなどを活用した窓口サービスの改善*	19. 6
9	オンライン対応可能な相談事業の拡大	14. 6
10	区が開催する講座や説明会などのオンライン配信	12.8
11	区が保有するデータのオープンデータ化	10. 1
12	パソコンやスマートフォンなどの情報通信技術を十分に活用できない方への	
	支援の充実	19.8
13	その他	2. 5
14	特にない	13. 7
	(無回答)	1. 9

- (※) チャットボット インターネットを利用し、人間と会話しているような受け答えをロボットが 自動で行うしくみです。
- (※) デジタルツールなどを活用した窓口サービスの改善

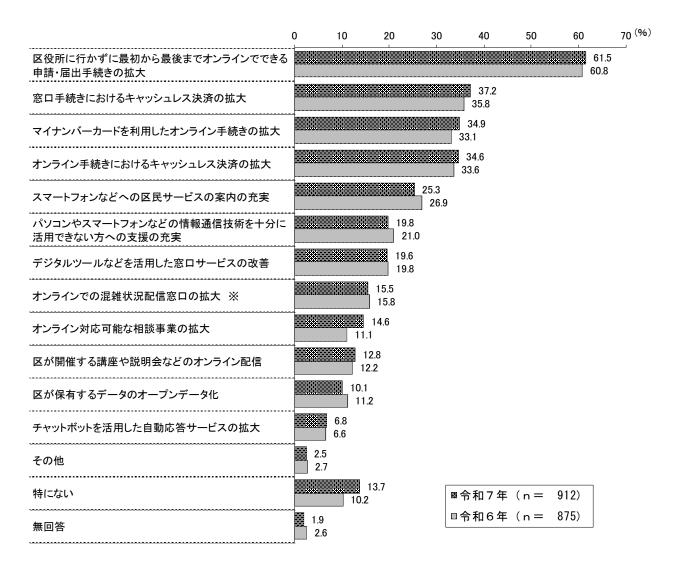
「区役所に行く前にインターネットで自分に必要な手続き、持ち物などの案内を受けられる」「窓口・相談予約ができる」「複数の申請書に何度も同じことを記入しなくてよい」などデジタルツールを活用し、区役所の窓口サービスの利便性を向上する取り組みです。

区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービスは、「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届け出手続きの拡大」(61.5%)が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「窓口手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大」(37.2%)、「マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大」(34.9%)、「オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大」(34.6%)、「スマートフォンなどへの区民サービスの案内の充実」(25.3%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「オンライン対応可能な相談事業の拡大」は3.5ポイント増加している。

(図表14-1-1)

図表14-1-1 区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービス(複数回答)



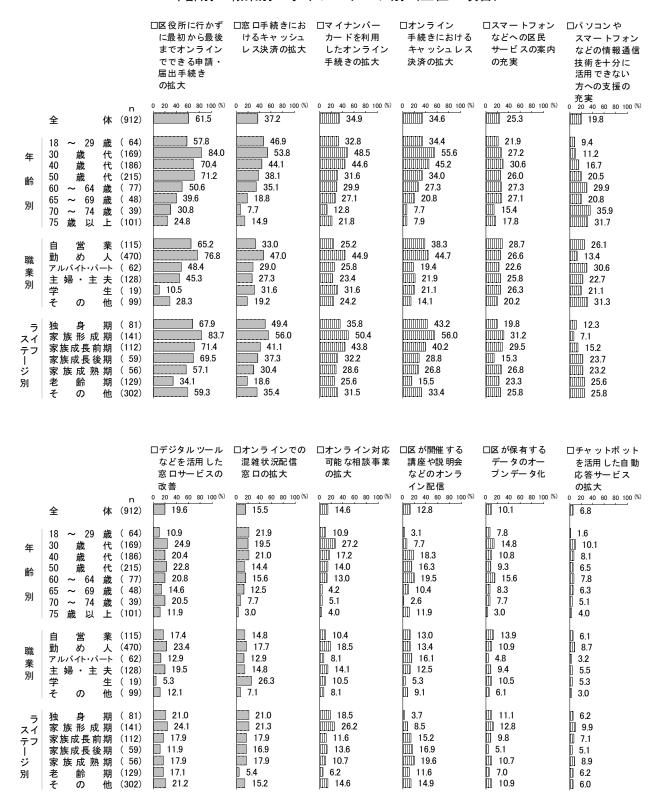
※「オンラインでの混雑状況配信窓口の拡大」の選択肢は、令和6年では「オンラインでの窓口の混雑状況の配信」としていた。

年齢別でみると、「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届け出手続きの拡大」は30歳代で8割台半ばと高くなっている。「マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大」は30歳代で5割近くと高くなっている。

職業別でみると、「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届け出手続きの拡大」は勤め人で8割近くと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届け出手続きの拡大」は家族形成期で8割を超えて高くなっている。(図表 14-1-2)

## 図表14-1-2 区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービス -年齢別・職業別・ライフステージ別(上位12項目)



# 【15 広報】

#### (1) リニューアル後の広報紙について感じたこと

#### ◆「良くなった」が3割

問28 区では、広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」について、これまで以上に区民の皆さんに読んでいただけるような紙面を目指し、令和6年10月1日号から全面フルカラー化や特集記事の掲載などのリニューアルを行いました。あなたがリニューアル後の紙面について感じたことや行動の変化を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

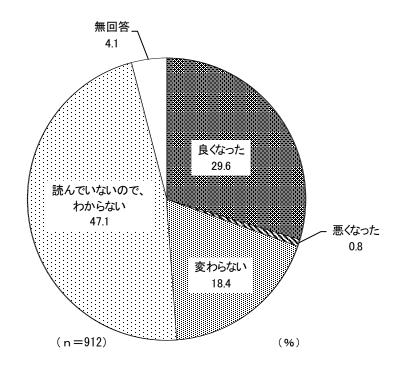
#### (1) 紙面デザイン

n = 912

1	良くなった	29.6%
2	悪くなった	0.8
3	変わらない	18. 4
4	読んでいないので、わからない	47. 1
	(無回答)	4. 1

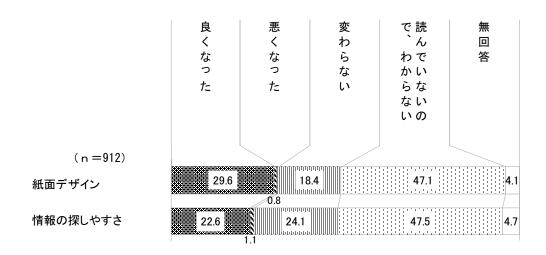
紙面デザインは、「良くなった」(29.6%)が3割で最も高くなっている。次いで、「変わらない」 (18.4%)、「悪くなった」(0.8%) となっている。一方、「読んでいないので、わからない」(47.1%)は5割近くとなっている。(図表13-1-1)

図表13-1-1 リニューアル後の広報紙について感じたこと



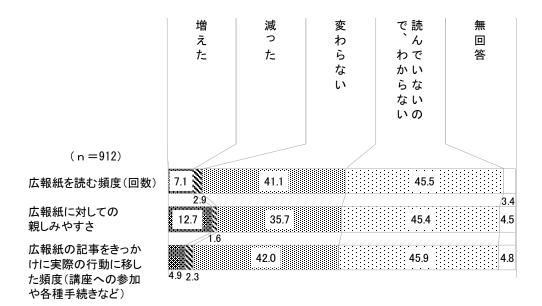
リニューアル後の広報紙について、紙面デザインは「良くなった」が3割となっている。また、情報の探しやすさは「変わらない」が2割台半ばとなっている。(図表13-1-2)

図表13-1-2 リニューアル後の広報紙について感じたこと



リニューアル後の広報紙について、広報紙を読む頻度(回数)、広報紙に対しての親しみやすさ、 広報紙の記事をきっかけに実際の行動に移した頻度(講座への参加や各種手続きなど)は、いずれ も「変わらない」が最も高くなっている。(図表13-1-3)

図表13-1-3 リニューアル後の広報紙について感じたこと



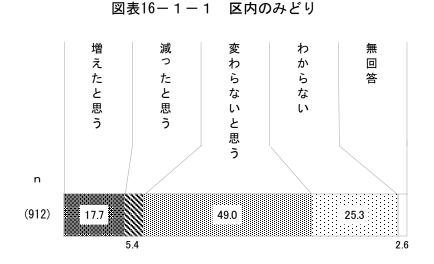
# 【16 環境】

### (1) 区内のみどり

#### ◆「増えたと思う」が2割近く

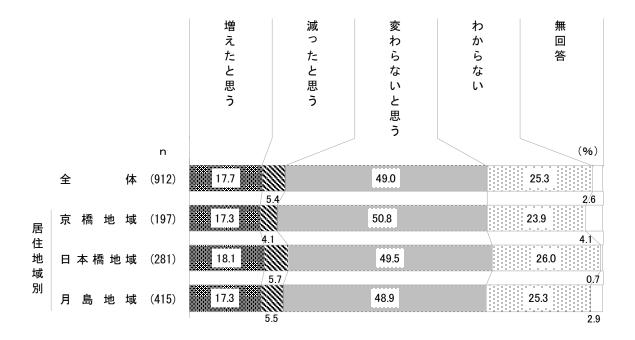
問29 あなたは、この1年間で	区内のみどりが増	見えた	と思いますか。(〇は1:	つ)
n=912				
1 増えたと思う	17.7%	3	変わらないと思う	49.0
2 減ったと思う	5.4	4	わからない	25. 3
			(無回答)	2.6

区内のみどりは、「増えたと思う」(17.7%)が2割近く、「減ったと思う」(5.4%)が1割未満、「変わらないと思う」(49.0%)が約5割となっている。(図表16-1-1)



居住地域別でみると、「増えたと思う」はすべての地域で2割近くとなっている。「変わらないと思う」は京橋地域で約5割と高くなっている。(図表16-1-2)

図表16-1-2 区内のみどり-居住地域別



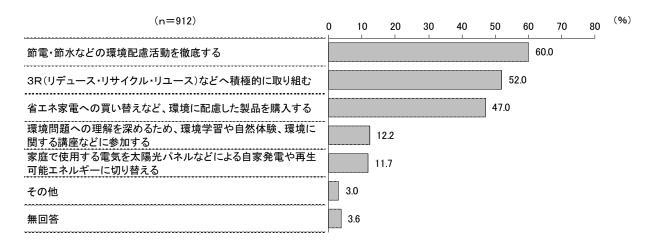
#### (2) 今後の家庭での取り組み

#### ◆「節電・節水などの環境配慮活動を徹底する」が6割

問30 あなたは、環境を守るために、今後どのような家庭での取り組みが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)					
	n = 912				
1	節電・節水などの環境配慮活動を徹底する	60.0%			
2	省エネ家電への買い替えなど、環境に配慮した製品を購入する	47.0			
3	3 R (リデュース・リサイクル・リユース)などへ積極的に取り組む	52.0			
4	環境問題への理解を深めるため、環境学習や自然体験、環境に関する講座				
	などに参加する	12. 2			
5	家庭で使用する電気を太陽光パネルなどによる自家発電や再生可能				
	エネルギーに切り替える	11.7			
6	その他	3.0			
	(無回答)	3.6			

今後の家庭での取り組みは、「節電・節水などの環境配慮活動を徹底する」(60.0%)が6割で最も高くなっている。次いで、「3R (リデュース・リサイクル・リユース)などへ積極的に取り組む」(52.0%)、「省エネ家電への買い替えなど、環境に配慮した製品を購入する」(47.0%)などとなっている。(図表16-2-1)

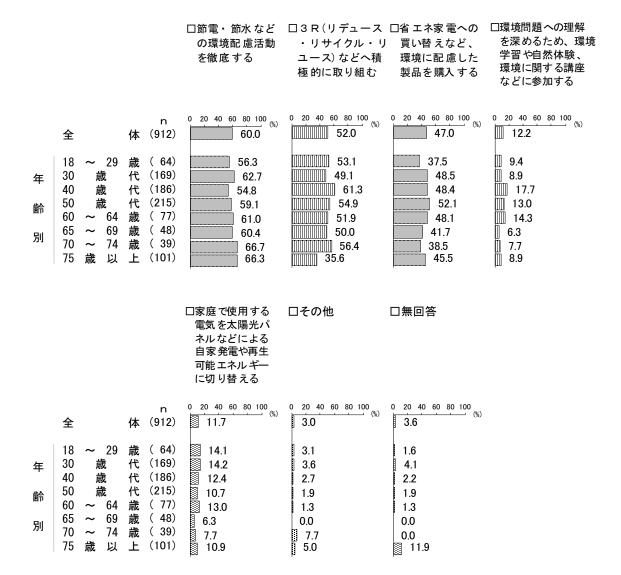
#### 図表16-2-1 今後の家庭での取り組み(複数回答)



年齢別でみると、「節電・節水などの環境配慮活動を徹底する」は70~74歳で7割近くと高くなっている。「3R(リデュース・リサイクル・リユース)などへ積極的に取り組む」は40歳代で6割を超えて高くなっている。「省エネ家電への買い替えなど、環境に配慮した製品を購入する」は50歳代で5割を超えて高くなっている。

(図表16-2-2)

#### 図表16-2-2 今後の家庭での取り組み-年齢別



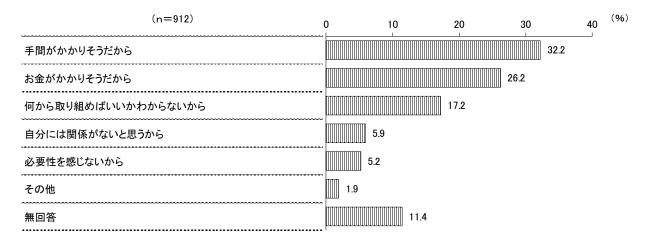
#### (3) 環境配慮を行う上での阻害要因

#### ◆「手間がかかりそうだから」が3割を超える

問3	1 あなたは、家庭で環境配慮活動を行う上での阻害要因は何だと思います	すか。(Oは1つ)
	n = 912	
1	お金がかかりそうだから	26. 2%
2	手間がかかりそうだから	32. 2
3	自分には関係がないと思うから	5. 9
4	必要性を感じないから	5. 2
5	何から取り組めばいいかわからないから	17. 2
6	その他	1.9
	(無回答)	11. 4

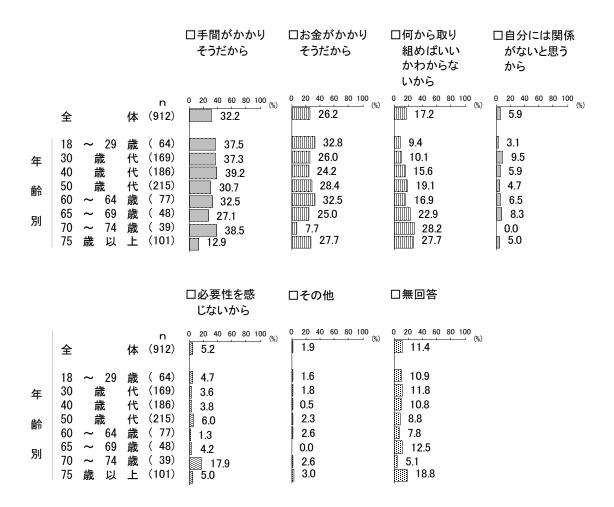
環境配慮を行う上での阻害要因は、「手間がかかりそうだから」(32.2%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「お金がかかりそうだから」(26.2%)、「何から取り組めばいいかわからないから」(17.2%)などとなっている。(図表16-3-1)

図表16-3-1 環境配慮を行う上での阻害要因



年齢別でみると、「手間がかかりそうだから」は40歳代で約4割となっている。「お金がかかりそうだから」は $18\sim29$ 歳と $60\sim64$ 歳で3割を超えている。「何から取り組めばいいかわからないから」は $70\sim74$ 歳と75歳以上で3割近くとなっている。(図表16-3-2)

図表16-3-2 環境配慮を行う上での阻害要因-年齢別



# 【17 伝統と文化】

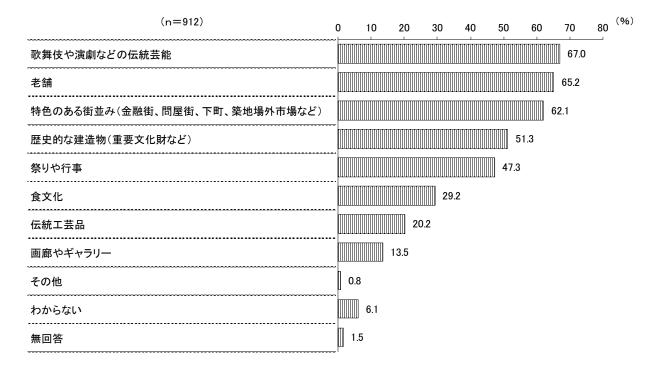
#### (1) 中央区ならではの伝統と文化

◆「歌舞伎や演劇などの伝統芸能」が7割近く

問32 江戸開府以来、東京の経済・文化の中心として発展を遂げてきた中央区の各エリアは、 それぞれの歴史に裏打ちされた特色があり、数多くの有形・無形の文化資源を有してい ます。あなたが思う「中央区ならではの伝統と文化」とは、どのようなものですか。 (Oはいくつでも) n = 912歌舞伎や演劇などの伝統芸能 67.0% 6 画廊やギャラリー 13. 5 伝統工芸品 20.2 7 食文化 29.2 老舗 8 祭りや行事 3 65.2 47.3 歴史的な建造物 (重要文化財など) 9 その他 51.3 0.8 5 特色のある街並み(金融街、問屋街、 10 わからない 6. 1 下町、築地場外市場など) (無回答) 62. 1 1.5

中央区ならではの伝統と文化は、「歌舞伎や演劇などの伝統芸能」(67.0%)が7割近くと最も高くなっている。次いで、「老舗」(65.2%)、「特色のある街並み(金融街、問屋街、下町、築地場外市場など)」(62.1%)、「歴史的な建造物(重要文化財など)」(51.3%)、「祭りや行事」(47.3%)などとなっている。(図表17-1-1)

図表17-1-1 中央区ならではの伝統と文化(複数回答)



#### (2) 伝統と文化を身近に感じているか

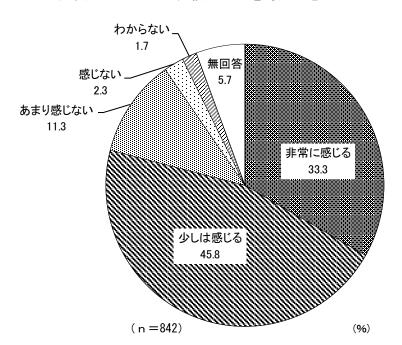
#### ◆『感じる』が約8割

(問32で、「1 歌舞伎や演劇などの伝統芸能」から「9 その他」のいずれかにお答えの方に) 問32-1 あなたは、問32で選択した「中央区ならではの伝統と文化」について、身近に感じていますか。(〇は1つ)

n = 842

1	非常に感じる	33.3%	4 感じない	2.3
2	少しは感じる	45.8	5 わからない	1. 7
3	あまり感じない	11.3	(無回答)	5. 7

伝統と文化を身近に感じているかについて、「非常に感じる」(33.3%)と「少しは感じる」(45.8%)を合わせた『感じる』(79.1%)は約8割となっている。一方、「あまり感じない」(11.3%)と「感じない」(2.3%)を合わせた『感じない』(13.6%)は1割を超えている。(図表17-2-1)



図表17-2-1 伝統と文化を身近に感じているか

# 【18 施策の要望・評価】

- (1) 区の施策の満足度と重要度
- ◆満足度が高いのは「公園・緑地の整備」、低いのは「駐車場・駐輪場の整備」
- ◆重要度が高いのは「防災対策」、低いのは「男女共同参画社会の推進」

問33 あなたは、区の施策についてどの程度満足していますか。また、その施策をどの程度重視していますか。満足度と重要度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。(Oはそれぞれ1つずつ)

満足度						(%)				
	1	2	3	4	5		1	2	3	
n=912	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	たいへん重要	比較的重要	普通	無回答
(1) 子育て支援	9. 4	18. 0	53. 6	6.3	3. 3	9. 4	51.4	16. 4	16. 3	15.8
(2)障害者福祉	5. 7	8. 7	69.3	5. 2	1. 9	9. 3	29. 5	26. 4	27. 6	16.4
(3) 高齢者福祉・介護	4.9	11. 7	67. 1	5. 6	3. 2	7. 5	40.9	23. 7	20. 2	15. 2
(4)保健衛生	9.0	15. 7	62.3	3. 4	1. 1	8.6	28.9	30. 5	24. 1	16. 4
(5) 男女共同参画社会の推進	3.8	5. 7	75. 4	2. 9	2.5	9.6	12. 7	27. 6	42. 3	17. 3
(6)住宅対策	4.8	8. 2	59.8	12. 1	6.6	8.6	25. 2	29. 9	27. 5	17. 3
(7)公園・緑地の整備	16. 2	27. 9	35. 1	11. 1	3.8	5. 9	27. 4	36. 6	20.7	15. 2
(8) 水辺環境の整備	15. 5	26. 2	42.2	7. 3	2.6	6. 1	26. 6	33. 9	24. 0	15. 5
(9)消費者生活対策	5. 2	9. 1	63. 3	10. 7	3. 7	8.0	26. 3	26. 3	30. 5	16. 9
(10) 環境保全・公害対策	6.0	11. 7	67. 2	5.8	1.6	7. 6	25. 1	29.8	28. 3	16.8
(11) 清掃・リサイクル事業の推進	8.4	20.3	55.8	6. 7	2.0	6.8	26. 3	32. 9	24. 9	15. 9
(12) 駐車場・駐輪場の整備	4.8	11. 4	52. 5	18. 1	6. 7	6. 5	17.8	31. 1	34. 5	16.6
(13) 道路環境整備、交通安全対策	7.5	16.8	55. 4	9. 9	3. 9	6.6	26. 4	31. 7	25. 3	16.6
(14) 防災対策	8.2	19. 6	58.8	5. 2	1. 3	6. 9	45. 7	23. 7	15.0	15. 6
(15) 防犯対策	5. 7	14. 7	62.0	8. 1	1.8	7.8	43.0	25.0	16.8	15. 2
(16) 再開発などによる地域整備	7. 1	18.8	49. 9	10.3	6. 1	7.8	23. 4	28.6	31. 5	16.6
(17) 中小企業対策	2.6	4. 3	74. 7	5.8	2. 7	9. 9	12.5	28.8	42. 3	16.3
(18) 学校教育の充実	5.8	14. 5	61.6	6.8	2. 1	9. 2	32. 1	26. 1	24. 7	17. 1
(19) 青少年対策	4.2	6. 5	74. 0	4. 7	1. 1	9. 5	19.8	28. 9	33. 7	17. 5
(20) 生涯学習・文化・スポーツの振興	4.7	14. 9	64. 3	5. 6	1. 9	8. 7	12.8	30.8	39. 6	16.8
(21) コミュニティの育成	3. 5	7. 9	71.4	7. 0	1.8	8. 4	11. 3	30. 7	41. 4	16.6
(22) 観光振興	6.8	17.8	60.7	5. 9	1. 5	7. 2	13. 3	30. 3	39. 7	16.8
(23) デジタル化の推進	3. 3	10. 4	62. 2	9.8	4.8	9. 5	26.8	30.0	25. 7	17. 5
(24) 区の施策を総合的に見ると	5.8	23. 8	55. 0	6. 4	1. 3	7. 7				

次のグラフは、「満足」と「やや満足」の合算で、高い順に並べたものである。「公園・緑地の整備」は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』(44.1%)が4割台半ばで最も高くなっている。一方、「駐車場・駐輪場の整備」は、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満足』(24.8%)が2割台半ばで最も高くなっている。(図表18-1-1)

『満足』 『不満足』 ゃ ゃ 無 普 不 足 ゃ ゃ 通 満 満 、満足 不 答 足 足 -満 (n = 912)(%) 16.2 27.9 35.1 11.1 公園・緑地の整備 5.9 44.1 14.9 42.2 26.2 水辺環境の整備 41.7 9.9 清掃・リサイクル事業 55.8 28.7 8.7 の推進 58.8 6.9 防災対策 6.5 27.8 53.6 子育て支援 9.4 27.4 9.6 18.8 49.9 7.8 再開発などによる地域整備 25.9 16.4 保健衛生 62.3 8.6 24.7 4.5 観光振興 60.7 5.9 7.2 24.6 7.4 道路環境整備、 55.4 24.3 13.8 交通安全対策 62.0 8.1 防犯対策 7.8 9.9 20.4 61.6 学校教育の充実 20.3 8.9 生涯学習・文化 64.3 7.5 19.6 スポーツの振興 67.2 5.8 7.6 環境保全・公害対策 17.7 7.4 67.1 7.5 高齢者福祉・介護 5.6 16.6 8.8 52.5 18.1 6.7 6.5 駐車場・駐輪場の整備 16.2 24.8 69.3 障害者福祉 14.4 63.3 消費者生活対策 14.3 14.4 62.2 デジタル化の推進 13.7 14.6 59.8 住宅対策 13.0 18.7 71.4 7.0 8.4 コミュニティの育成 114 88 74.0 9.5 青少年対策 10.7 5.8 75.4 9.6 男女共同参画社会の推進 9.5 5.4 74.7 5.8 9.9 中小企業対策 6.9 8.5 6.4 区の施策を総合的に見ると 29.6 7.7

図表18-1-1 区の施策の満足度

次のグラフは、「たいへん重要」と「比較的重要」の合算で高い順に並べたものである。「防災対 策」は、「たいへん重要」と「比較的重要」を合わせた『重要』(69.4%)が約7割と最も高くなっ ている。また、「中小企業対策」、「男女共同参画社会の推進」は、「普通」(42.3%)が4割を超え て高くなっている。(図表18-1-2)

『重要』 比 回 い 較 通 重 的 Ы 重 要 重 要 (n = 912)(%) 23.7 45.7 15.0 防災対策 15.6 69.4 25.0 43.0 16.8 防犯対策 15.2 68.0 16.4 子育て支援 51.4 16.3 15.8 67.8 23.7 高齢者福祉・介護 40.9 20.2 152 64.6 36.6 公園・緑地の整備 20.7 64.0 26.6 33.9 24.0 水辺環境の整備 155 60.5 28.9 30.5 24.1 保健衛生 16.4 59.4 清掃・リサイクル事業 32.9 24.9 26.3 159 59.2 の推進 学校教育の充実 32.1 26.1 24.7 17.1 58.2 道路環境整備、 **[[]** 31.7 **[]]]]]]** 26.4 25.3 16.6 58.1 交通安全対策 30.0 (111111) 25.7 デジタル化の推進 26.8 17.5 56.8 26.4 障害者福祉 29.5 27.6 16.4 55.9 29.9 25.2 27.5 住宅対策 17.3 55 1 25.1 29.8 環境保全・公害対策 28.3 16.8 54.9 26.3 26.3 30.5 16.9 消費者生活対策 52.6 28.6 再開発などによる地域整備 31.5 16.6 52.0 31.1 34.5 16.6 駐車場・駐輪場の整備 48.9 28.9 青少年対策 33.7 17.5 48.7 生涯学習・文化 12.8 39.6 16.8 43.6 ・スポーツの振興 観光振興 13.3 39.7 16.8 43.6 11.3 41.4 コミュニティの育成 16.6 42.0 12.5 42.3 中小企業対策 16.3 413 12.7 男女共同参画社会の推進 42.3 173 40.3

図表18-1-2 区の施策の重要度

# ■満足度順位

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』 とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

①公園・緑地の整備	(44.1%)	①駐車場・駐輪場の整備	(24.8%)
②水辺環境の整備	(41.7%)	②住宅対策	(18.7%)
③清掃・リサイクル事業の推進	(28.7%)	③再開発などによる地域整備	(16.4%)
④防災対策	(27.8%)	④公園・緑地の整備	(14.9%)
⑤子育て支援	(27.4%)	⑤デジタル化の推進	(14.6%)

#### ■重要度順位

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

上 位		下 位	
①防災対策	(69.4%)	①男女共同参画社会の推進	(40.3%)
②防犯対策	(68.0%)	②中小企業対策	(41.3%)
③子育て支援	(67.8%)	③コミュニティの育成	(42.0%)
④高齢者福祉・介護	(64.6%)	④生涯学習・文化・スポーツの振興	(43.6%)
⑤公園・緑地の整備	(64.0%)	⑤観光振興	(43.6%)

満足度・重要度の比較をより明確にするために、加重平均値を算出した。

満足度評価点= (「満足」の回答者数×10点+「やや満足」の回答者数×5点+「普通」の 回答者数×0点+「やや不満」の回答者数×-5点+「不満」の回答者数 ×-10点 ) ÷ (回答者数-無回答者数)

重要度評価点= (「たいへん重要」の回答者数×10点+「比較的重要」の回答者数×5点+ 「普通」の回答者数×0点) ÷ (回答者数-無回答者数)

この計算方法では、満足度の場合の評価点は、+10.00点~-10.00点の間に分布し、中間点の0.00点を境に、+10.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に-10.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。一方、重要度は、+10.00点~0.00点の間に分布することになる。

以上の算出方法による評価点の上位5項目、下位5項目は次のようになっている。

#### 【満足度】

上 位		下 位	
①水辺の整備	(2.37)	①駐車場・駐輪場の整備	(-0.56)
②公園・緑地の整備	(2.21)	②住宅対策	(-0.40)
③保健衛生	(1.53)	③デジタル化の推進 (	(-0.13)
④防災対策	(1.52)	④中小企業対策 (	(-0.10)
⑤清掃・リサイクル事業の推進	(1.42)	⑤消費者生活対策 (	( 0.07)
【重要度】			
上 位		下 位	
①子育て支援	(7.08)	①コミュニティの育成	(3.19)
②防災対策	(6.82)	②男女共同参画社会の推進	(3.21)
③防犯対策	(6.55)	③中小企業対策	(3.22)
④高齢者福祉・介護	(6. 22)	④生涯学習・文化・スポーツの振興	(3.39)
⑤学校教育の充実	(5.45)	⑤観光振興	(3.41)

居住地域別に満足度をみると、京橋地域では、「公園・緑地の整備」(2.82)、「水辺環境の整備」(2.45)が比較的高くなっている。また、「駐車場・駐輪場の整備」(-0.97)が比較的低くなっている。

日本橋地域では、「防災対策」(1.63)、「水辺環境の整備」(1.60)、「清掃・リサイクル事業の推進」(1.51)が比較的高くなっている。また、「住宅対策」(-0.62)が比較的低くなっている。

月島地域では、「水辺環境の整備」(2.80)、「公園・緑地の整備」(2.48)が比較的高くなっている。また、「駐車場・駐輪場の整備」(-0.62)が比較的低くなっている。

居住地域別に重要度をみると、京橋地域と月島地区では、「子育て支援」が1位、「防災対策」が2位となっているが、日本橋地区では「防災対策」が1位、「子育て支援」が2位となっている。 (図表18-1-3)

図表18-1-3 区の施策の満足度評価点と重要度評価点-居住地域別

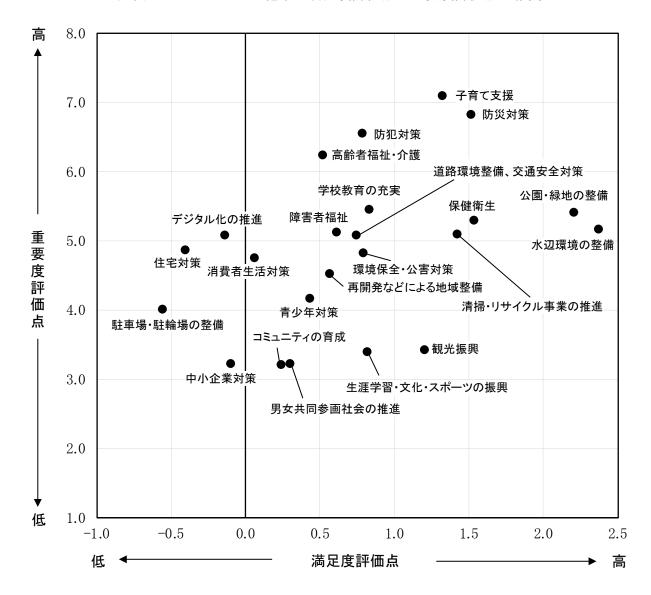
地域	満足度				重要度			
地域	全	京	日	月	全	京	日	月
		橋	本	島		橋	本	島
		地	橋 地	地		地	橋 地	地
項目	体	域	域	域	体	域	域	域
(1)子育て支援	1.33	0.94	1.32	1.49	7.08	6.66	7.00	7.37
(2)障害者福祉	0.62	0.46	0.41	0.86	5. 11	5. 21	4.73	5.36
(3) 高齢者福祉・介護	0.52	0.78	0.46	0.52	6. 22	5. 99	5.97	6.53
(4)保健衛生	1.53	1.43	1. 47	1.65	5. 29	5. 33	5.54	5.16
(5)男女共同参画社会の推進	0.30	0.22	-0.02	0.63	3. 21	3. 19	3. 51	3.05
(6) 住宅対策	-0.40	-0.27	-0.62	-0.30	4.86	4. 66	4. 92	4. 96
(7)公園・緑地の整備	2.21	2.82	1.37	2.48	5.39	5. 12	5. 35	5. 57
(8) 水辺環境の整備	2.37	2.45	1.60	2.80	5. 16	4.88	4.92	5. 47
(9)消費者生活対策	0.07	0.08	0.10	0.06	4.75	4. 33	4.92	4.91
(10) 環境保全・公害対策	0. 79	0.84	0.74	0.84	4.81	4. 76	4. 98	4.77
(11) 清掃・リサイクル事業の推進	1.42	1.10	1. 51	1. 56	5.08	5. 03	5.21	5.10
(12) 駐車場・駐輪場の整備	-0.56	-0.97	-0.17	-0.62	3. 99	3.89	3. 67	4. 27
(13) 道路環境整備、交通安全対策	0.75	0.63	0.53	0.96	5.07	4.63	5. 16	5. 20
(14) 防災対策	1.52	1.18	1.63	1.65	6.82	6.46	7.01	6.91
(15)防犯対策	0.78	0.43	0.84	0.95	6. 55	6.37	6.50	6.71
(16)再開発などによる地域整備	0.56	0.33	0. 52	0.75	4.51	4.17	4.59	4.64
(17) 中小企業対策	-0.10	-0.25	-0.14	0.03	3. 22	3.48	3.08	3.19
(18)学校教育の充実	0.83	0.68	0.81	0.97	5. 45	4. 97	5. 26	5. 75
(19)青少年対策	0.44	0.55	0.31	0.50	4. 16	3.81	3. 93	4. 52
(20) 生涯学習・文化・スポーツの振興	0.82	0.66	0.89	0.88	3.39	3.04	3.09	3. 78
(21)コミュニティの育成	0.24	0.38	0.21	0.20	3. 19	3.20	3.09	3. 25
(22) 観光振興	1. 21	1.42	1.27	1.09	3.41	2.96	3.62	3.53
(23)デジタル化の推進	-0.13	-0. 25	-0.27	0.04	5.07	4.50	5.37	5.18

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足 度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。

右に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど重要度が高いといえる。満足度評価点が低く、 重要度評価点が高い領域(左上方)にある項目が、住民ニーズの高いものと考えられる。

(図表18-1-4)

図表18-1-4 区の施策の満足度評価点と重要度評価点の相関



#### (2) 区の施策への要望

#### ◆「子育て支援」が4割近く

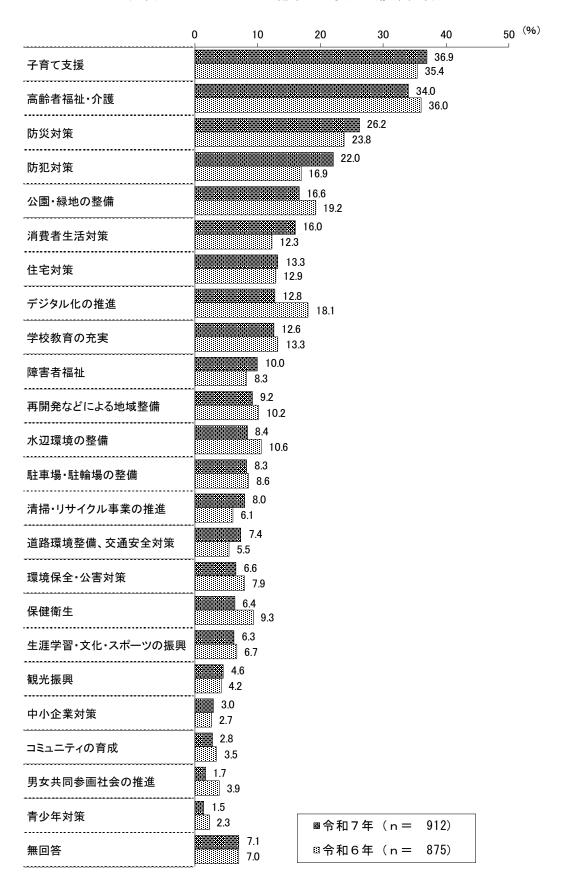
# 問34 問33の施策の中で、あなたが力を入れてほしいものは何ですか。 1位から3位までを選んで番号を記入してください。(1~23までの番号)

n = 912(%)第1位 第2位 第3位 全体 (1) 子育て支援 23. 2 8. 3 5. 4 36. 9 2.9 (2) 障害者福祉 4. 1 3. 0 10. 0 (3) 高齢者福祉・介護 9.8 7.9 34.0 16. 3 (4) 保健衛生 2.7 1.3 2.4 6.4 (5) 男女共同参画社会の推進 0.2 0.5 1.0 1.7 (6) 住宅対策 4. 2 4.6 4. 5 13. 3 6.7 3.2 (7)公園・緑地の整備 6. 7 16. 6 (8) 水辺環境の整備 1.9 3. 2 3.3 8.4 (9)消費者生活対策 5. 9 5. 2 4.9 16. 0 (10) 環境保全・公害対策 2.0 2.6 2.0 6.6 (11) 清掃・リサイクル事業の推進 1.3 3.4 3.3 8.0 (12) 駐車場・駐輪場の整備 2.3 3.9 8.3 2. 1 (13) 道路環境整備、交通安全対策 2.3 2.5 2.6 7.4 (14) 防災対策 8.6 8. 2 9.4 26. 2 (15) 防犯対策 4. 2 9.6 8, 2 22, 0 (16) 再開発などによる地域整備 2.7 2.4 4. 1 9. 2 (17) 中小企業対策 0.9 1.0 3.0 1. 1 (18) 学校教育の充実 2.5 3. 7 6.4 12.6 (19) 青少年対策 0.7 0.1 0.7 1.5 (20) 生涯学習・文化・スポーツの振興 1.2 1. 5 3.6 6.3 (21) コミュニティの育成 2.8 0.3 0.9 1.6 (22) 観光振興 0.5 1.9 2.2 4.6 (23) デジタル化の推進 3. 7 4.8 4. 3 12. 8 (無回答) 8.2 7. 1 10.0 7. 1

区の施策への要望としては、「子育て支援」(36.9%) が4割近くと高くなっている。次いで、「高齢者福祉・介護」(34.0%)、「防災対策」(26.2%)、「防犯対策」(22.0%)、「公園・緑地の整備」(16.6%) などとなっている。

<sup>\*</sup> 全体の無回答の割合は、第1位の割合とした。

昨年の調査結果と比較すると、「防犯対策」は5.1ポイント増加している。一方、「デジタル化の推進」は5.3ポイント減少している。(図表18-2-1)



図表18-2-1 区の施策への要望(複数回答)

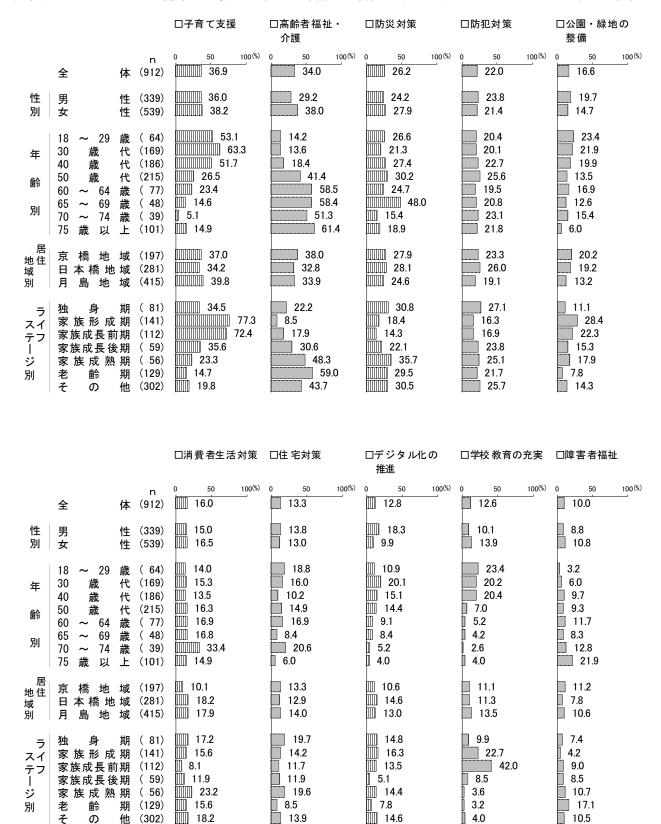
性別でみると、女性の方が男性よりも「高齢者福祉・介護」で8.8ポイント、「学校教育の充実」で3.9ポイント、「防災対策」で3.6ポイント高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「デジタル化の推進」で8.5ポイント、「公園・緑地の整備」で5.1ポイント、「防犯対策」で2.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「高齢者福祉・介護」は75歳以上で6割を超えて高くなっている。「子育て支援」は30歳代で6割を超えて高くなっている。

居住地域別でみると、「子育て支援」は月島地域で4割と高くなっている。「高齢者福祉・介護」 は京橋地域で4割近くと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「高齢者福祉・介護」は老齢期で6割近くと高くなっている。「子育て支援」は家族形成期で8割近くと高くなっている。(図表18-2-2)

図表 18-2-2 区の施策への要望-性別・年齢別・居住地域別・ライフステージ別(上位 10 項目)



上位5項目にあげられた施策を性別でみると、男性、女性ともに「子育て支援」が第1位となっている。

年齢別でみると、「子育て支援」は40歳代以下の年代で第1位となっており、「高齢者福祉・介護」は50歳代以上の年代で第1位となっている。

居住地域別でみると、「子育て支援」は日本橋地域と月島地域で第1位となっており、「高齢者福祉・介護」は京橋地域で第1位となっている。

ライフステージ別でみると、「子育て支援」は独身期と家族形成期、家族成長前期、家族成長後期で第1位となっている。「高齢者福祉・介護」は家族成熟期、老齢期、その他で第1位となっている。(図表18-2-3)

図表 18-2-3 区の施策への要望-性別・年齢別・居住地域別・ライフステージ別(上位 5 項目)

								(%)
属		順位	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
	全	体	912	子育て支援 36.9	高齢者福祉·介護 34.0	防災対策 26.2	防犯対策 22.0	公園・緑地の整備 16.6
性	男	性	339	子育で支援 36.0	高齢者福祉·介護 29.2	防災対策 24.2	防犯対策 23.8	公園・緑地の整備 19.7
別	女	性	539	子育て支援 38.2	高齢者福祉·介護 38.0	防災対策 27.9	防犯対策 21.4	消費者生活対策 16.5
	18~29	9歳	64	子育て支援 53.1	防災対策 26.6	公園・緑地の整備/学	校教育の充実 23.4	防犯対策 20.4
	30 歳	代	169	子育て支援 63.3	公園・緑地の整備 21.9	防災対策 21.3	学校教育の充実 20.2	防犯対策 20.1
_	40 歳	代	186	子育て支援 51.7	防災対策 27.4	防犯対策 22.7	学校教育の充実 20.4	公園・緑地の整備 19.9
年齡	50 歳	代	215	高齢者福祉·介護 41.4	防災対策 30.2	子育て支援 26.5	防犯対策 25.6	消費者生活対策 16.3
別	60~6	4歳	77	高齢者福祉·介護 58.5	防災対策 24.7	子育で支援 23.4	防犯対策 19.5	住宅対策 16.9
נינע	65~69	9歳	48	高齢者福祉·介護 58.4	防災対策 48.0	防犯対策 20.8	消費者生活対策 16.8	生涯学習・文化・ スポーツの振興 14.7
	70~7	4歳	39	高齢者福祉·介護 51.3	消費者生活対策 33.4	防犯対策 23.1	住宅対策	道路環境整備、 交通安全対策 20.5
	75歳以	J.上	101	高齢者福祉·介護 61.4	障害者福祉 21.9	防犯対策 21.8	防災対策 18.9	子育で支援 14.9
居	京橋地	也域	197	高齢者福祉·介護 38.0	子育で支援 37.0	防災対策 27.9	防犯対策 23.3	公園・緑地の整備 20.2
住地域	日本橋:	地域	281	子育て支援 34.2	高齢者福祉·介護 32.8	防災対策 28.1	防犯対策 26.0	公園・緑地の整備 19.2
別	月島地	也域	415	子育て支援 39.8	高齢者福祉·介護 33.9	防災対策 24.6	防犯対策 19.1	消費者生活対策 17.9
	独身	期	81	子育て支援 34.5	防災対策 30.8	防犯対策 27.1	高齢者福祉·介護 22.2	住宅対策 19.7
ラ	家族形	成期	141	子育で支援 77.3	公園・緑地の整備 28.4	学校教育の充実 22.7	防災対策 18.4	防犯対策 16.3
イフ	家族成長	長前期	112	子育て支援 72.4	学校教育の充実 42.0	公園・緑地の整備 22.3	高齢者福祉·介護 17.9	防犯対策 16.9
, ステー ジ別	家族成長	長後期	59	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高齢者福祉·介護 30.6	防犯対策 23.8	防災対策 22.1	公園・緑地の整備 15.3
	家族成	熟期	56	高齢者福祉·介護 48.3	防災対策 35.7	防犯対策 25.1	子育て支援	消費者生活対策 23.2
	老齢	期	129	高齢者福祉·介護 59.0	防災対策 29.5	防犯対策 21.7	障害者福祉	消費者生活対策 15.6
	その	他	302	高齢者福祉·介護 43.7	防災対策 30.5	防犯対策 25.7	子育て支援	消費者生活対策 18.2

# V 結果の数表

# V 結果の数表

上段:件数 定住性 1 下段: %

問1 あなたは、中央区にお住まいになって何年になりますか。(Oは1つ)

全体	3 年未満	3~6年未満	6~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上	生まれてからずっと	無回答	『短期居住者』	『中期居住者』	『長期居住者』
912	138	105	136	138	108	214	70	3	243	382	284
100.0	15. 1	11.5	14. 9	15. 1	11.8	23. 5	7.7	0.3	26.6	41.8	31. 2

問2 あなたは、中央区に対して「わがまち」というような愛着心を感じていますか。(Oは1つ)

全 体	非常に感じる	少しは感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
912	396	392	75	18	28	3
100.0	43. 4	43.0	8.2	2.0	3. 1	0.3

問3 あなたは、中央区に今後もずっと住みたいと思っていますか。 (Oは1つ)

全体	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば転出したい	転出したい	わからない	無回答
912	461	341	16	8	82	4
100.0	50. 5	37. 4	1.8	0.9	9.0	0.4

### 2 防災対策

問4 あなたのご家庭では、大地震などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。(Oは いくつでも)

4	(1人1日3食分) 627	(1人1日3 日3 日3 日3 日3 1 700	簡易トイレの備蓄 607	防止やガラス飛散防止 家具類の転倒・落下・移動 309	消 火 器 の 備 え 485	救急セットの備え 380	助用工具の備え バールやハンマーなどの教 117	貴重品を持ち出す準備 174	風呂などへの水のため置き 137	救命救助の講習会への参加 61	防災訓練への参加 町会・自治会などの地域の 120	避難方法、避難場所の確認 317	し合い 家庭での連絡方法などの話 242	建 物 の 補 強 28	そ の 他	特 に な い	無 回 答 22
100. 0									15. 0	6. 7	1	34. 8			2. 5		

問5 区では発災後も自宅の安全が確保できる場合には「在宅避難」を推奨しています。 あなたは、このことを知っていますか。(〇は1つ) 上段:件数 下段: %

全体	知っている	をしてよいかわからない知っているが、どのような対策	知らない	無回答
912	495	159	252	6
100.0	54. 3	17.4	27. 6	0.7

問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、災害時に火災や倒壊などにより自宅で継続して生活できない人が避難生活する場所として、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備しています。この「防災拠点」は避難所のほか救護所などの機能を持っています。また、「防災拠点」を運営するため、町会・自治会や防災区民組織が中心となり「防災拠点運営委員会」をつくり、災害に備えた協力体制をとっています。あなたは、ご自分の地域の「防災拠点」および「防災拠点運営委員会」を知っていますか。(〇は1~3で1つ、4~6で1つ)

	全体	る 知っているし、場所も知ってい	い知っているが、場所はわからな	知らない	無回答
防災拠点	912	552	137	213	10
	100. 0	60. 5	15. 0	23. 4	1. 1
防災拠点運営委員会	912	69	207	601	35
	100. 0	7. 6	22. 7	65. 9	3. 8

問7 大震災などの災害が起こったら、あなたが協力したいと思う活動には何がありますか。 (〇はいくつでも)

当	1 からの救出・	動	災者の対応	力けなどの防	動と専門的技能手話・建物の	トによる情報	活動	V		
1	236 207 5. 9 22. 7	8			1		45 4. 9	16 1. 8	152 16. 7	13 1. 4

問8 災害情報を得る手段として、一般のテレビ・ラジオ以外にあなたが有効だと思うものは何ですか。(Oはいくつでも)

上段:件数 下段: %

体	区のホームページ	防災マップアプリ	ちゅうおう安全・安心メール	インターネット	F a c e b o o k などSNS	カー) 防災行政無線(屋外スピー	緊急告知ラジオ※	ケーブルテレビ	その他	無回答
912	385	270	201	543	376		312	42	15	14
100.0	42. 2	29. 6	22.0	59. 5	41. 2	33. 4	34. 2	4.6	1.6	1.5

### 3 健康診査

問9 あなたは、この1年間に健康診査(健康診断)を受けましたか。(〇はいくつでも)

全体	けた区で実施している健康診査	で実施する健康診査を受け勤務先(家族の勤務先を含	で実施する健康診査を受けれ入している健康保険組合	個人で人間ドックなどを受	だだで実施する健康診査を受	その他	健康診査は受けていない	無回答
	査を受	け含 たむ)	たな	け				
			Ŀ	た	け			
912	195	437	112	89	17	43	133	6
100.0	21. 4	47. 9	12. 3	9.8	1. 9	4. 7	14.6	0.7

問 9-1 (問 9 で、「7 健康診査は受けていない」とお答えの方に) 問 9-1 あなたが健康診査を受けなかった理由は何ですか。 ( $\bigcirc$ はいくつでも)

体	などで実施していない 勤務先 (家族の勤務先を含む)	受診方法がわからない	必要がない	時間がない	面倒である	健康に自信がある	病気で医者にかかっている	検査がいや	病気と診断されるのが怖い	費用がかかる	その他	無回答
133	12	7	9	41	40	11	34	20	7	13	15	0
100.0	9.0	5.3	6.8	30.8	30. 1	8.3	25. 6	15.0	5.3	9.8	11.3	0.0

上段:件数 下段: %

### 4 健康アプリ事業

問10 あなたは中央区健康アプリ「ちゅうおうヘルス&ウォーク」を利用していますか。 (〇は1つ)

全体	利用している	知っているが利用していな	知らない	無回答
		い		
912	36	79	785	12
100.0	3. 9	8. 7	86. 1	1.3

(問10で、「2 知っているが利用していない」とお答えの方に) 問10-1 あなたが中央区健康アプリを利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

全体	やり方がわからない	る。必要がない・健康に自信があ	時間がない・面倒である	る別の健康アプリを利用してい	景品に興味がない	その他	無回答
79	17	4	30	20	11	12	0
100.0	21. 5	5. 1	38.0	25. 3	13. 9	15. 2	0.0

問11 あなたは今、高血圧症、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病を患っていますか。(Oは1つ)

全体	患っていない	れない 患っている・患っているかもし	分からない	無回答
912	653	211	27	21
100.0	71.6	23. 1	3.0	2.3

上段:件数 下段: %

### 5 高齢者施策

問12 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。 (もっとも近い考え1つに〇)

体	ら、自宅で暮らしたい主に家族の介護を受けなが	して、自宅で暮らしたい主に介護サー ビスなどを利用	しながら暮らしたいて、介護サー ビスなどを利用高齢者向けの住宅に住み替え	護施設に入りたい特別養護老人ホー ムなどの介	りたい 介護付き有料老人ホー ムに入	その他	わからない	無回答
912	73	339	216	85	88	17	78	16
100. 0	8. 0	37. 2	23. 7	9. 3	9. 6	1. 9	8. 6	1. 8

問13 あなたは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で、 区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

全 体	健康づくり・介護予防の充実	就労・社会参加の促進	実在サ 宅 <sup> </sup>	施設の整備・誘致 対応型グルー プホー ムなどの特別養護老人ホーム や認知点	高齢者向け住宅の整備・誘致	などへの支援ひとり暮らしや認知症高齢者	低所得者への経済的支援	特にない	無回答
	実		<u> </u>	の症	致	者			
912	400	313	554	366		453	212	43	6
100.0	43. 9	34. 3	60.7	40. 1	40.7	49.7	23. 2	4.7	0.7

### 6 子育て支援

問14 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどこに相談しましたか。(Oはいくつでも)

体	配偶者・パートナー	その他の親族	職場の人	隣近所の人、知人、友人	園・学校の保護者の仲間保育園・認定こども園※・幼稚	園・学校の先生保育園・認定こども園※・幼稚	支援施設館、天国など子育て館、あかちゃん天国など子育て子ども家庭支援センター、児童	センターの担当者(健診時などで)保健所、保健	その他	特に相談しない	子育てを経験していない	無回答
912 100. 0			96 10. 5	153 16. 8		}	1	55 6. 0		83 9. 1		

問15 あなたがこれからの区の子育て支援で重要と考えるものを選んでください。 (〇は2つまで)

また、さらに充実を図る必要があると考えるものを選んでください。 (〇はいくつでも) 上段:件数

下段: %

重要と考えるもの(Oは2つまで)

体		ー ビス ・病後児保育などの子育て支援 時預かり保育、延長保育、病	のできる場子育て仲間が交流し、情報交換	教育環境の整備子どもの健やかな成長のための	や生活の場 放課後などにおける児童の遊び	情報の提供や相談サービス	て育てることができる環境整備公園の整備など、子どもを安心し	および増進 母親と乳幼児などの健康の確保	支援職業生活と家庭生活との両立の	児童虐待防止対策	経済的な支援	特にない	無回答
912	241	358	39	85	3 9	40	117	21	202	77	145	64	96
100.0	26.4	39. 3	4.3	9.3	12.1	4. 4	12.8	2.3	22. 1	8.4	15.9	7.0	10.5

### さらに充実を図る必要があると考えるもの(Oはいくつでも)

体	事業所※・幼稚園などの施設整育園・認定こども園・地域型保	サービス児・病後児保育などの子育て支援一・時預かり保育、延長保育、病	のできる場子育て仲間が交流し、情報交換	教育環境の整備子どもの健やかな成長のための	や生活の場 放課後などにおける児童の遊び	情報の提供や相談サービス	て育てることができる環境整備公園の整備など、子どもを安心し	および増進日親と乳幼児などの健康の確保	支援 職業生活と家庭生活との両立の	児童虐待防止対策	経済的な支援	特にない	無回答
912		315	112	183	248	132	247	99	247	156	196	86	152
100. 0		34. 5	12. 3	20. 1	27. 2	14. 5	27. 1	10. 9	27. 1	17. 1	21. 5	9. 4	16. 7

### 7 男女共同参画社会

### 問16 あなたは、次にあげる分野の男女の平等についてどのように感じていますか。 (〇はそれぞれ1つずつ)

	全	る 女性が優遇されてい	性が優遇されているどちらかといえば女	平等になっている	性が優遇されているどちらかといえば男	る 男性が優遇されてい	無回答
(1) 家庭では	912 100. 0	41 4. 5	73 8. 0	433 47. 5		75 8. 2	57 6. 3
(2) 職場では	912 100. 0	21 2. 3	73 8. 0	337 37. 0	1	105 11. 5	
(3) 学校教育の場では	912 100. 0	10 1. 1	40 4. 4	593 65. 0			
(4) 政治の場では	912 100. 0	8 0.9	20 2. 2	98 10. 7		414 45. 4	61 6. 7
(5) 法律や制度では	912 100. 0	21 2. 3	53 5. 8	297 32, 6	325		
(6) 社会通念・慣習・しきたりでは	912 100. 0	10 1. 1	33 3. 6	131 14. 4	419		56
(7) 自治会やPTAなどの地域活動では	912 100. 0	20 2. 2	54 5. 9	375 41. 1	266 29. 2	112 12. 3	
(8) 社会全体では	912 100. 0		51 5. 6	173 19. 0	1		45 4. 9

問17 あなた自身のワーク・ライフ・バランス(「仕事」と「家庭生活」の調和)について、 現状は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

上段:件数 下段: %

		,					
	仕	りど	両仕	家ど	現	そ	無
	事	もち	立事	庭ち	在	の	回
全	を	仕ら	さと	生ら	仕	他	答
	優	事か	せ家	活か	事		
	先	をと	て庭	をと	をし		
体	し	優い	い生	優い	し		
	て	先え	る活	先え	て		
	٧١	しば	を	しば	V١		
	る	て家	同	て仕	な		
		い庭	じ	い事	٧١		
		る生	よう	るよ			
		活	う	り			
		よ	に	ŧ			
912	94	169	260	151	210	10	18
100.0	10.3	18. 5	28. 5	16.6	23.0	1. 1	2.0

### 8 防犯対策

### 問18 あなたの住む地域で不安に感じる具体的犯罪は何ですか。(〇は2つまで)

全体	ひったくり	空 き 巣	強盗	すり・置き引き	車上ねらい 自動車(自転車)泥棒・	など) 特殊詐欺(振り込め詐欺	傷害・暴行	放火	痴漢・強制わいせつ	少年犯罪	子どもの誘拐・連れ去り	暴力団員による犯罪	悪質な客引き	その他	特にない	無回答
912	50	130	85	25	64	300	60	33	78	31	92	9	16	59	257	38
100.0	5. 5	14. 3	9. 3	2. 7	7.0	32. 9	6.6	3.6	8.6	3.4	10.1	1.0	1.8	6.5	28. 2	4.2

### 問19 あなたが防犯のために実行していること、心掛けていることは何ですか。(Oはいくつでも)

全 体	加している 自主的な防犯パトロー ルなどの活動に参	情報を得ているホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区の	くようにしている何かかれば警察や区などの相談窓口に行	ニケーションを保つようにしている日ごろから近隣住民などと良好なコミュ	ンサー付きライトなどの防犯機器を設置している防犯性能の高い鍵や窓の使用や、防犯カメラ、セ	利用している警備会社などのセキュリティシステムを	いる 防犯カメラなどの防犯設備が導入されてエントランスなどにオートロック機能や	その他	特に何もしていない	無回答
912	13 1. 4	189 20. 7	117 12. 8	1	107 11. 7		589 64. 6	25 2. 7		14 1. 5

### 問20 今後、あなたが区に特に力を入れてほしいと考える施策は何ですか。(Oは2つまで)

全体	情報発信区内の犯罪発生状況や防犯に関する	住まいの防犯設備整備費用の助成	振り込め詐欺防止対策自動通話録音機の無料貸出しなどの	進地域の防犯カメラや街路灯設置の#	布や講座・講演会などの啓発活動防犯対策に関するハンドブックの配	策学校や児童館などの子どもの安全な	通学路や公園などの安全対策	支援地域の防犯パトロール活動などへの	その他	特にない	無回答
	-9 る	<b>万</b> 义。	と の	推	動の 配	至 対		へ の			
912			50	423	14		211	129	27	77	54
100.0	21. 4	12. 1	5. 5	46. 4	1.5	21. 9	23. 1	14. 1	3.0	8.4	5. 9

### 9 スポーツ

# 問21 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動は何ですか。(Oはいくつでも)

全体	クスなどを含む) 水中運動、アクアビ	腰痛・肩こり防止な	ラティス、太極拳、エアロビクス操(ラジオ体操、職場体操、ヨガ	ジョギング、マラソン	散歩などを含む) ウォーキング、散歩(散策、ペットの	動) ランスボール、ダンベルなど器具を使った運ランスボール、ダンベルなど器具を使った運べシントレーニング(ランニングマシーン、バ	武道 (柔道、剣道、空手など)	テニス、ソフトテニス	ン、卓球など) 上の球技 (バレーボール、バドミント	サツカー、フツトサルなど)屋外の球技(野球、ソフトボール、	ゴルフ	ハイキング、キャンプ、登山など	スキー、スノーボード、スケートなど	海水浴(遊水)	フィン、ヨットなどシュノーケリング、ダイビング、サー
912	141		309		549	8	12	28	32	30	102	86	52	53 -	34
100.0 釣 り	15.55 ボ リ ン グ	サイクリング	ドゴルフ、スポ	バィ ボ レ、ペヌィフ、ヌフ、キンボールスポーツ、ソニュースポーツ(グラウンド	民謡の踊りを含む)	ディス、 上でディス、 フダンス (フォー クダンス	1.3 その 他	3.1 スポーツや運動はしなかった	3.5	3.3	11. 2	9.4	5. 7	5. 8	3.7
37	42			7		32	31	110	27						
4. 1	4.6	9.0		0.8		3. 5	3. 4	12. 1	3.0						

(問21で、「1 水泳」から「20 その他」のいずれかにお答えの方に) 上段:件数 問21-1 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。 下段: % (Oは1つ)

		,	016 1	-,			
	体	週に3日以上	週に1~2日程度	月に1~3日程度	に4~11日程度) 名カ月に1~2日程度(年	年に1~3日程度	無回答
1	775	197	242	143	50	30	113
Į	100.0	25. 4	31. 2	18. 5	6.5	3. 9	14.6

(問21で、「4 ウォーキング、散歩」とお答えの方に)

問21-2 あなたは、この1年間に区内のどのような場所でウォーキングや散歩をしましたか。 (Oはいくつでも)

全体	水辺や公園などの屋外空間	エリアなどの屋外空間住宅街やオフィス街、商業	の屋内空間 スポーツジムや体育館など	その他	無回答
549	420	363	55	18	0
100.0	76. 5	66. 1	10.0	3.3	0.0

### 10 地域のコミュニティ活動

### 問22 あなたが地域の方と交流を持ちたいと思う活動は何ですか。(Oはいくつでも)

上段:件数 下段: %

問23 問22の取り組みであなたがすでに交流・参加している活動はありますか。 (○はいくつでも)

全体	布、情報発信など) 一覧板、文書配町会・自治会活動 (回覧板、文書配	きへの参加など)地域の行事(盆踊り、縁日、もちつ	ど)祭礼(おみこし・山車への参加な	化の普及啓発、団体での演奏など)地域の文化・生涯学習活動 (伝統文	会の提供、技術指導など)地域のスポーツ活動(体を動かす機	全、地域の見回りなど) 防災・防犯活動(防災訓練、交通安	の見守りへの協力など) 福祉活動(子育ての手助け、高齢者	への参加、花壇・公園の清掃など)環境美化活動(まちかどクリーンデー	委員会、PTA、読み聞かせなど)子どもに関する活動 (青少年対策地区	その他	交流・参加したことがない	無回答
912	č	172	133	32		56		44	58	11	536	38
100.0	9.4	18.9	14.6	3.5	2.7	6.1	2.5	4.8	6.4	1. 2	58.8	4. 2

(問23で「11 交流・参加したことがない」とお答えの方に)

<u>問23-1 あなたが地域の活動に参加していない理</u>由は何ですか。(Oはいくつでも)

全体	活動する時間がない	合わない。お問じている時間が	ない。参加するきっかけが	らない 参加する方法がわか	ているかわからないどのような活動をし	その他	無回答
536	176	85	236	141	182	61	1
100.0	32.8	15. 9	44.0	26. 3	34.0	11.4	0.2

### 11 おくやみコーナー

問24 令和6年7月、中央区役所1階に「おくやみコーナー※」が開設しました。 あなたは、「おくやみコーナー」を知っていますか。(〇は1つ)

全体	の内容も知っている「おくやみコーナー」	が、聞いたことはある内容までは知らない	知らない	無回答
912	16	47	844	5
100.0	1.8	5. 2	92. 5	0.5

上段:件数 下段: ~%

# 12 動物の飼養 問25 あなたの世帯では、ご自宅で動物を飼っていますか。(〇はいくつでも)

4	犬を飼っている	猫を飼っている	ハムスターなど)を飼っている犬・猫以外の哺乳類(ウサギ、	いる 鳥類(インコなど)を飼って	ているまたは両生類(カエルなど)を飼っまたは両生類(ヘビ、トカゲ、カメなど)	る 魚類 (金魚など) を飼ってい	その他の動物を飼っている	飼っていない	無回答
912	74	44	4	7	10	23	3	740	20
100.0	8. 1	4.8	0.4	0.8	1.1	2. 5	0.3	81. 1	2. 2

(問25で、「1 犬を飼っている」とお答えの方に) 問25-1 あなたの世帯では、犬を何頭飼っていますか。(〇は1つ)

全	1 頭	2 頭	3 頭	4 頭	5 頭	6 頭以上	無回答
						上	
体							
74	60	13	1	0	0	0	0
100.0	81.1	17.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0

(問25で、「2 猫を飼っている」とお答えの方に) 問25-2 あなたの世帯では、猫を何頭飼っていますか。(〇は1つ)

全体	1 頭	2 頭	3 頭	4 頭	5 頭	6 頭以上	無回答
44	30		2	0	0	0	0
100.0	68. 2	27. 3	4. 5	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:件数 下段: %

### 13 受動喫煙防止対策

問26 令和2年7月1日に「中央区受動喫煙防止対策の推進に関する条例」が施行されました。 あなたは条例で定めた「中央区たばこルール」を知っていますか。(〇は1つだけ)

全体	知っている「中央区たばこルール」の内容	いが、 聞 いた	知らない	無回答
	±	2		
912	218	251	436	7
100.0	23. 9	27. 5	47.8	0.8

### 14 デジタル技術を活用した区民サービス

問27 あなたが、区に進めてほしいと考えるデジタル技術を活用した区民サービスはどれですか。 (〇はいくつでも)

全体	拡大 窓口手続きにおけるキャッシュレス決済	決済の拡大	インでできる申請・届出手続きの拡大区役所に行かずに最初から最後までオン	手続きの拡大・アイナンバーカードを利用したオンライ	内の充実 スマートフォンなどへの区民サービスの	スの拡大チャットボットを活用した自動応答サー	オンラインでの混雑状況配信窓口の拡大	スの改善だジタルツールなどを活用した窓口サー	オンライン対応可能な相談事業の拡大	ン配信 区が開催する講座や説明会などのオンラ	区が保有するデータのオープンデータ化	術を十分に活用できない方への支援の充実パソコンやスマートフォンなどの情報通信	その他	特にない	無回答
	済	レ	ン	イ	の	ĺ	大	1		ラ	化				
912	の 339	ス 316	ラ 561	ン 318	案 231	ビ 62	141	ビ 179	133	イ 117	92	181	23	125	17
100. 0	3 8		61. 5	1	1	: 8		3 8	14. 6	3 8	10. 1	19.8	2. 5	1 1	1. 9

### 15 広報

問28 区では、広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」について、これまで以上に区民の皆さんに読んでいただけるような紙面を目指し、令和6年10月1日号から全面フルカラー化や特集記事の掲載などのリニューアルを行いました。あなたがリニューアル後の紙面について感じたことや行動の変化を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	全体	良くなった	悪くなった	変わらない	読んでいないので、わからない	無回答
(1)紙面デザイン	912 100. 0		7 0. 8	168 18. 4	1	37 4. 1
(2)情報の探しやすさ	912 100. 0	206	10			43 4. 7

	全体	増えた	減った	変わらない	読んでいないので、わからない	無回答
(3) 広報紙を読む頻度(回	912	65	26	375	415	31
数)	100.0	7. 1	2. 9	41.1	45. 5	3. 4
(4) 広報紙に対しての親し	912	116	15	326	414	41
みやすさ	100.0	12.7	1.6	35. 7	45. 4	4. 5
(5) 広報紙の記事をきっかけに実際の行動に移した頻度	912	45	21	383	419	44
(講座への参加や各種手続き など)	100.0	4. 9	2. 3	42	45. 9	4.8

### 16 環境

問29 あなたは、この1年間で区内のみどりが増えたと思いますか。(Oは1つ)

全体	増えたと思う	減ったと思う	変わらないと思う	わからない	無回答
912	161	49	447	231	24
100.0	17.7	5. 4	49.0	25. 3	2.6

### 問30 あなたは、環境を守るために、今後どのような家庭での取り組みが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

	<del>- \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \</del>						
全体	動を徹底するの環境配が	環境に配慮した製品を購入、省エネ家電への買い替えな	むり、リュース)などへ積極的に取り、リュース)などへ積極的に取りません。	座などに参加する環境問題への理解を深めるため	ルギーに切り替えるなどによる自家発電や再生可能家庭で使用する電気を太陽光バ	その他	無回答
	慮	カ ど	取りりル	9 め る `	1日 スネ		
	活	る、	組・	講環	ネル		
912	547	429	474	111	107	27	33
100.0	60.0	47.0	52. 0	12. 2	11.7	3. 0	3.6

### 問31 あなたは、家庭で環境配慮活動を行う上での阻害要因は何だと思いますか。(Oは1つ)

全体	お金がかかりそうだから	手間がかかりそうだから	自分には関係がないと思うから	必要性を感じないから	からの知り組めばいいかわからない	その他	無回答
912 100. 0	239 26. 2	294 32, 2	54 5. 9	47 5. 2	157 17. 2	17 1. 9	104 11. 4
100.0	40.4	04.4	0.9	0. 4	1 11.2	1.9	11.4

17 伝統と文化上段: 件数下段: %

問32 江戸開府以来、東京の経済・文化の中心として発展を遂げてきた中央区の各エリアは、それぞれの歴史に裏打ちされた特色があり、数多くの有形・無形の文化資源を有しています。 あなたが思う「中央区ならではの伝統と文化」とは、どのようなものですか。 (Oはいくつでも)

全 体	歌舞伎や演劇などの伝統芸能	伝統工芸品	老舗	など) 歴史的な建造物 (重要文化財	など) 問屋街、下町、築地場外市場特色のある街並み(金融街、	画廊やギャラリー	食文化	祭りや行事	その他	わからない	無回答
912	611	184		468	566		266	431	7	56	14
100.0	67.0	20. 2	65. 2	51.3	62. 1	13. 5	29. 2	47. 3	0.8	6.1	1. 5

(問32で、「1 歌舞伎や演劇などの伝統芸能」から「9 その他」のいずれかにお答えの方に) 問32-1 あなたは、問32で選択した「中央区ならではの伝統と文化」について、 身近に感じていますか。(〇は1つ)

体	非常に感じる	少しは感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
842	280	386	95	19	14	48
100.0	33. 3	45.8	11.3	2.3	1.7	5. 7

問33 あなたは、区の施策についてどの程度満足していますか。満足度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

(1) 子育で支援 912 86 164 489 57 30 8 100.0 9.4 18.0 53.6 6.3 3.3 9. 100.0 9.4 18.0 53.6 6.3 3.3 9. 100.0 9.4 18.0 53.6 6.3 3.3 9. 100.0 5.7 8.7 69.3 5.2 1.9 9. 100.0 5.7 8.7 69.3 5.2 1.9 9. 100.0 4.9 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.9 9. 100.0 4.9 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.9 9. 100.0 4.9 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.9 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 3.2 7. 1.0 9. 11.7 67.1 5.6 6.0 8. 1.0 9. 11.7 67.2 5.8 12.1 6.6 8. 1.0 9. 11.1 11.1 3.8 5. 1.0 9. 11.1 11.1 11.1 11.1 11.1 11.1 1	0. 62 0. 52 1. 53 0. 30 10. 40
(2) 障害者福祉 100.0 5.7 8.7 69.3 5.2 1.9 9. (3) 高齢者福祉・介護 100.0 4.9 11.7 67.1 5.6 3.2 7. (4) 保健衛生 100.0 9.0 15.7 62.3 3.4 1.1 8. (5) 男女共同参画社会の推進 100.0 3.8 5.7 75.4 2.9 2.5 9. (6) 住宅対策 100.0 4.8 8.2 59.8 12.1 6.6 8. (7) 公園・緑地の整備 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. (8) 水辺環境の整備 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. (9) 消費者生活対策 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. (10) 環境保全・公害対策 100.0 5.2 9.1 63.3 10.7 3.7 8. (11) 清掃・リサイクル事業の推進 100.0 6.0 11.7 67.2 5.8 1.6 7. (11) 清掃・リサイクル事業の推進 100.0 6.0 11.7 67.2 5.8 1.6 7. (12) 駐車場・駐輪場の整備 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6. (13) 道路環境整備、交通安全対策 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6. (13) 道路環境整備、交通安全対策 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6. (13) 道路環境整備、交通安全対策 100.0 7.5 16.8 55.4 9.9 3.9 6.	8 0. 52 6 1. 53 8 0. 30 6 -0. 40
(3) 高齢者福祉・介護 912 45 107 612 51 29 6 100.0 4.9 11.7 67.1 5.6 3.2 7. (4) 保健衛生 912 82 143 568 31 10 7 62 3 3.4 1.1 8. 100.0 9.0 15.7 62.3 3.4 1.1 8. 100.0 3.8 5.7 75.4 2.9 2.5 9. 100.0 3.8 5.7 75.4 2.9 2.5 9. 100.0 4.8 8.2 59.8 12.1 6.6 8. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5. 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.5 10.0 10.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.0 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.0 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.0 100.0 1	3 0. 52 3 1. 53 6 0. 30 6 0. 30
(4) 保健衛生       912 82 143 568 31 10 7 62.3 3.4 1.1 8.         (5) 男女共同参画社会の推進       912 35 52 688 26 23 8 100.0 3.8 5.7 75.4 2.9 2.5 9.         (6) 住宅対策       912 44 75 545 110 60 7.0 100.0 4.8 8.2 59.8 12.1 6.6 8.4         (7) 公園・緑地の整備       912 148 254 320 101 35 5.0 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5.0 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5.0 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6.         (8) 水辺環境の整備       912 141 239 385 67 24 5 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6.         (9) 消費者生活対策       912 47 83 577 98 34 7 100.0 5.2 9.1 63.3 10.7 3.7 8.         (10) 環境保全・公害対策       100.0 6.0 11.7 67.2 5.8 1.6 7.         (11) 清掃・リサイクル事業の推進       912 77 185 509 61 18 6 (7.2 5.8 1.6 7.2 5.8 1.6 7.         (12) 駐車場・駐輪場の整備       912 44 104 479 165 61 5 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6.         (13) 道路環境整備、交通安全対策       912 68 153 505 90 36 6 1 18 6.7 6.         (13) 道路環境整備、交通安全対策       912 68 153 505 90 36 6 1 100.0 7.5 16.8 55.4 9.9 3.9 6.	3 1.53 3 0.30 5 -0.40
(5) 男女共同参画社会の推進 912 35 52 688 26 23 8 100.0 3.8 5.7 75.4 2.9 2.5 9.0 (6) 住宅対策 912 44 75 545 110 60 7 100.0 4.8 8.2 59.8 12.1 6.6 8.0 (7) 公園・緑地の整備 912 148 254 320 101 35 5 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5.0 (8) 水辺環境の整備 912 141 239 385 67 24 5 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6.0 (9) 消費者生活対策 912 47 83 577 98 34 7 100.0 5.2 9.1 63.3 10.7 3.7 8.0 (10) 環境保全・公害対策 912 55 107 613 53 15 6 100.0 6.0 11.7 67.2 5.8 1.6 7.0 (11) 清掃・リサイクル事業の推進 912 77 185 509 61 18 6 100.0 8.4 20.3 55.8 6.7 2.0 6.0 (12) 駐車場・駐輪場の整備 912 44 104 479 165 61 5 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6.0 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 (13) (13) 道路環境を開発を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を	0.30 3 -0.40
(6)住宅対策       912 44 75 545 110 60 70 100.0 4.8 8.2 59.8 12.1 6.6 8.4 100.0 4.8 8.2 59.8 12.1 6.6 8.4 12.1 6.6 8.4 12.1 6.6 8.4 12.1 6.6 8.4 12.1 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5.4 12.1 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5.4 12.1 100.0 16.2 27.9 35.1 11.1 3.8 5.4 12.1 6.6 8.4 12.1 100.0 15.5 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0	3 -0.40
100.0   4.8   8.2   59.8   12.1   6.6   8.6     (7) 公園・緑地の整備	***************************************
100.0   16.2   27.9   35.1   11.1   3.8   5.     (8) 水辺環境の整備	2.21
(8) 水辺環境の整備 100.0 15.5 26.2 42.2 7.3 2.6 6. [9] 消費者生活対策 912 47 83 577 98 34 7 100.0 5.2 9.1 63.3 10.7 3.7 8. [10] 環境保全・公害対策 912 55 107 613 53 15 6 7. [10] 環境保全・公害対策 912 77 185 509 61 18 6 7. [11] 清掃・リサイクル事業の推進 912 77 185 509 61 18 6 100.0 8.4 20.3 55.8 6.7 2.0 6. [12] 駐車場・駐輪場の整備 912 44 104 479 165 61 5 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6. [13] 道路環境整備、交通安全対策 912 68 153 505 90 36 6 100.0 7.5 16.8 55.4 9.9 3.9 6.	
(9) 消費者生活対策     100.0     5.2     9.1     63.3     10.7     3.7     8.       (10) 環境保全・公害対策     912     55     107     613     53     15     6       (11) 清掃・リサイクル事業の推進     912     77     185     509     61     18     6       (12) 駐車場・駐輪場の整備     912     44     104     479     165     61     5       (13) 道路環境整備、交通安全対策     912     68     153     505     90     36     6       100.0     7.5     16.8     55.4     9.9     3.9     6.	
(10) 環境保全・公害対策     100.0 6.0 11.7 67.2 5.8 1.6 7.       (11) 清掃・リサイクル事業の推進     912 77 185 509 61 18 6 100.0 8.4 20.3 55.8 6.7 2.0 6.       (12) 駐車場・駐輪場の整備     912 44 104 479 165 61 5 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6.       (13) 道路環境整備、交通安全対策     912 68 153 505 90 36 6 100.0 7.5 16.8 55.4 9.9 3.9 6.	
(11) 清掃・リサイクル事業の推進     100.0     8.4     20.3     55.8     6.7     2.0     6.       (12) 駐車場・駐輪場の整備     912     44     104     479     165     61     5       (13) 道路環境整備、交通安全対策     912     68     153     505     90     36     6       100.0     7.5     16.8     55.4     9.9     3.9     6.	
(12) 駐車場・駐輪場の整備     912 44 104 479 165 61 5 100.0 4.8 11.4 52.5 18.1 6.7 6.       (13) 道路環境整備、交通安全対策     912 68 153 505 90 36 6 100.0 7.5 16.8 55.4 9.9 3.9 6.	
(13) 道路環境整備、交通安全対策     912 68 153 505 90 36 6 100.0 7.5 16.8 55.4 9.9 3.9 6.	-0.56
	0.75
(14) 防災対策     912 75 179 536 47 12 6       100.0 8.2 19.6 58.8 5.2 1.3 6.	1.52
(15)     防犯対策       912     52     134     565     74     16     7       100.0     5.7     14.7     62.0     8.1     1.8     7.	0.78
(16) 再開発たどに上ろ地域整備 912 65 171 455 94 56 7	0.56
100.0     7.1     18.8     49.9     10.3     6.1     7.       (17)     中小企業対策     912     24     39     681     53     25     9       (17)     中小企業対策     100.0     0.0     1.0     7.7     5.0     0.7     0.0	
100. 0 2. 0 4. 3 (4. 7 5. 8 2. 7 9. 9. 912 53 132 562 62 19 8	
(18) 学校教育の充実     100.0     5.8     14.5     61.6     6.8     2.1     9.	2
(19) 青少年対策     912 38 59 675 43 10 8       100.0 4.2 6.5 74.0 4.7 1.1 9.	
(20) 生涯学習・文化・スポーツの振興     912 43 136 586 51 17 7 100.0 4.7 14.9 64.3 5.6 1.9 8.	
(21) コミュニティの育成     912 32 72 651 64 16 7 100.0 3.5 7.9 71.4 7.0 1.8 8.	
(22) 観光振興     912 62 162 554 54 14 6 100.0 6.8 17.8 60.7 5.9 1.5 7.	
(23) デジタル化の推進     912 30 95 567 89 44 8 100.0 3.3 10.4 62.2 9.8 4.8 9.	7 -0.13
(24) 区の施策を総合的に見ると     912 53 217 502 58 12 7 100.0 5.8 23.8 55.0 6.4 1.3 7.	

満足度の比較をより明確にするために、加重平均値を算出した。

満足度評価点= (「満足」の回答者数×10点+「やや満足」の回答者数×5点+「普通」の回答者数×0点

<sup>+「</sup>やや不満」の回答者数×-5点+「不満」の回答者数×-10点) ÷ (回答者数-無回答者数)

この計算方法では、満足度の場合の評価点は、+10.00点~-10.00点の間に分布し、中間点の0.00点を境に、

<sup>+10.00</sup>点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に-10.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

問33 あなたは、区の施策についてどの程度重視していますか。重要度について、次の項目 それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。 (〇はそれぞれ1つずつ)

上段:件数 下段: %

(ひはそれぞれ 1つすう)	1	8		1	ı	
	全 体	たいへん重要	比較的重要	普通	無回答	評価点(点数)
(1) 子育て支援	912	469	150	149	144	7. 08
(2) 障害者福祉	100. 0 912 100. 0	51. 4 269 29. 5	16. 4 241 26. 4	16. 3 252 27. 6	15. 8 150 16. 4	5. 11
(3) 高齢者福祉・介護	912 100. 0	373 40. 9	216 23. 7	184 20. 2	139 15. 2	6. 22
(4) 保健衛生	912 100. 0	264 28. 9	278 30. 5	220 24. 1	150 16. 4	5. 29
(5) 男女共同参画社会の推進	912 100. 0	116 12. 7	252 27. 6	386 42. 3	158 17. 3	3. 21
(6) 住宅対策	912 100. 0	230 25. 2	273 29. 9	251 27. 5	158 17. 3	4. 86
(7) 公園・緑地の整備	912 100. 0	250 27. 4	334 36. 6	189 20. 7	139 15. 2	5. 39
(8) 水辺環境の整備	912 100. 0	243 26. 6	309 33. 9	219 24. 0	141 15. 5	5. 16
(9) 消費者生活対策	912 100. 0	240 26. 3	240 26. 3	278 30. 5	154 16. 9	4. 75
(10) 環境保全・公害対策	912 100. 0	229 25. 1	272 29. 8	258 28. 3	153 16. 8	4.81
(11) 清掃・リサイクル事業の推進	912 100. 0	240 26. 3	300 32. 9	227 24. 9	145 15. 9	5. 08
(12) 駐車場・駐輪場の整備	912 100. 0	162 17. 8	284 31. 1	315 34. 5	151 16. 6	3. 99
(13) 道路環境整備、交通安全対策	912 100. 0	241 26. 4	289 31. 7	231 25. 3	151 16. 6	5. 07
(14) 防災対策	912 100. 0	417 45. 7	216 23. 7	137 15. 0	142 15. 6	6. 82
(15) 防犯対策	912 100. 0	392 43. 0	228 25. 0	153 16. 8	139 15. 2	6. 55
(16) 再開発などによる地域整備	912 100. 0	213 23. 4	261 28. 6	287 31. 5	151 16. 6	4. 51
(17) 中小企業対策	912 100. 0	114 12. 5	263 28. 8	386 42. 3	149 16. 3	3. 22
(18) 学校教育の充実	912 100. 0	293 32. 1	238 26. 1	225 24. 7	156 17. 1	5. 45
(19) 青少年対策	912 100. 0	181 19. 8	264 28. 9	307 33. 7	160 17. 5	4. 16
(20) 生涯学習・文化・スポーツの振興	912 100. 0	117 12. 8	281 30. 8	361 39. 6	153 16. 8	3. 39
(21) コミュニティの育成	912 100. 0	103 11. 3	280 30. 7	378 41. 4	151 16. 6	3. 19
(22) 観光振興	912 100. 0	121 13. 3	276 30. 3	362 39. 7	153 16. 8	3. 41
(23) デジタル化の推進	912 100. 0	244 26. 8	274 30. 0	234 25. 7	160 17. 5	5. 07

重要度の比較をより明確にするために、加重平均値を算出した。

重要度評価点= (「たいへん重要」の回答者数×10点+「比較的重要」の回答者数×5点

<sup>+「</sup>普通」の回答者数×0点) ÷ (回答者数-無回答者数)

この計算方法では、重要度の場合の評価点は、+10.00点 $\sim 0$ 点の間に分布し、+10.00点に近くなるほど重要度が高くなる。

19 フェイスシート

上段:件数 下段: %

F1 性別(Oは1つ)

全体	男 性	女性	回答しない	無回答
912	339		22	12
100.0	37. 2	59. 1	2. 4	1. 3

### F2 年齢(Oは1つ)

全体	1 8 2 9 歳	3 0 歳代	4 0 歳代	50歳代	6 0 6 4 歳	65~69歳	7 0 7 4 歳	75歳以上	無回答
912	64	169	186	215	77	48	39	101	13
100.0	7.0	18.5	20.4	23.6	8.4	5. 3	4.3	11. 1	1.4

### 性/年齢別

		男 性										女	性				性
全	男 性 1	男 性 。	男 性 4	男 性 -	男性。	男 性	男 性 7	男 性 7	女 性 1	女性。	女性	女性	女 性 6	女性。	女 性 7	女 性 7	別 ま た
体	8	。 0 歳	0 歳	5 0 歳	0	6 5 5	0	5 歳	8	。 0 歳	4 0 歳	5 0 歳	0	5 \	0	5 歳	は 年 齢
	2 9 歳	代	代	代	6 4 歳	6 9 歳	7 4 歳	以上	2 9 歳	代	代	代	6 4 歳	6 9 歳	7 4 歳	以 上	無回
	///				/1/2	///	//3/4		/1/4				//3/4	///	///		答
912	19	57	65	86	35	20	20	37	43	108	117	121	40	27	19	63	35
100.0	2.1	6.3	7. 1	9.4	3.8	2. 2	2. 2	4. 1	4.7	11.8	12.8	13. 3	4. 4	3.0	2. 1	6.9	3.8

### F3 あなたの職業は何ですか。(Oは1つ)

体	自営業(家族従業を含む)	勤め人	アルバイト・パー トタイマー	無職(主婦・主夫)	無職(学生)	無職(その他)	無回答
912	115	470	62	128	19	99	19
100.0	12.6	51. 5	6.8	14.0	2. 1	10. 9	2.1

### F 4 あなたのお住まいの地域は次のどれにあたりますか。(Oは1つ)

上段:件数 下段: %

全体	京橋地域	日本橋地域	月島地域	無回答
912	197	281	415	19
100.0	21.6	30.8	45. 5	2. 1

### F5 現在一緒に暮らしているご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。(Oは1つ)

体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9 人	1 0 人以上	具体的な人数欄無回答「6人以上」に回答して	無回答
912	198	323	206	133	27	4	0	0	0	0	0	21
100.0	21.7	35. 4	22.6	14. 6	3.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

### F6 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。(Oは1つ)

全体	単身(本人のみ)	(1世代世帯) 夫婦のみ	(2世代世帯)	(3世代世帯)親と子と孫	その他の世帯	無回答
912	186	282	374	22	26	22
100.0	20.4	30. 9	41.0	2.4	2. 9	2.4

### F7 あなた自身は、次のどれにあたりますか。(Oは1つ)

	独	子	入一	学一	大一	業一	そ	無
	身	ど	学番	生番	学番	番	の	回
全		ŧ	前上	上	生上	上	他	答
		の	の	の	の	の		
		い	子	子	子	子		
体		な	ど	ど	الخ	ڵڂ		
		い	t	t	5	ŧ		
		夫	が	が	が	が		
		婦	小	小	高	学 校		
			小 学	•	校	校		
			校	中	•	卒		
912	242	202	86	112	59	112	78	21
100.0	26. 5	22. 1	9.4	12.3	6.5	12. 3	8.6	2. 3

### F8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(Oは1つ)

	持	家			借	家			そ	無
体	一戸建	分譲マンション	一戸建	社、都市再生機構(旧公団))公共住宅(区立、区営、都営、公	民間木造アパート	民間鉄筋アパート、マンション	社宅、官舎、寮	間借り、住込み	の他	回答
912	65	467	6	67	1	261	15	2	9	19
100.0	7. 1	51.2	0.7	7.3	0.1	28.6	1.6	0.2	1.0	2. 1

(F8で、「2 分譲マンション」「4 公共住宅」「5 民間木造アパート」 「6 民間鉄筋アパート、マンション」「7 社宅、官舎、寮」とお答えの方に) F8-1 お住まいの階層

	全体	1 階	2 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	1 0 階以上	無回答	1 5 階	6 ~ 9 階	1 0 階以上
分譲マンション	467 100. 0	4 0. 9	19 4. 1	22 4. 7	24 5. 1	24 5. 1	27 5. 8	29 6. 2	22 4. 7	22 4. 7	175 37. 5	99 21. 2			
公共住宅	67 100. 0	0 0. 0	2 3. 0	2 3. 0	3 4. 5	1 1. 5	3 4. 5	2 3. 0	2 3. 0	2 3. 0	26 38. 8		-	9 13. 4	26 38. 8
民間木造アパート	1 100. 0	0 0. 0	0 0. 0	1 100. 0	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	v	ľ	1 100. 0	0 0. 0	0.0
民間鉄筋アパート、	261	0	13	18	15		25	11	14	14		63	00	64	71
マンション	100.0	0.0	5.0	6.9	5. 7	6. 5	9. 6	4. 2	5. 4	5. 4	27. 2	24. 1	24. 1	24. 5	27. 2
社宅、官舎、寮	15 100. 0	1 6. 7	2 13. 3	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	1 6. 7	0 0. 0	3 20. 0	1 6. 7	0 0. 0	7 46. 7	3 20. 0	5 33. 3	0.0

### F9 あなたの国籍はどちらですか。(Oは1つ)

全体	日本	日本以外(外国籍)	期 回 答
912	872	31 3. 4	9
100.0		3.4	1.0

### ライフステージ

全体	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	老齡期	その他	無回答
912	81	141	112	59	56	129	302	32
100.0	8.9	15. 5	12.3	6.5	6. 1	14. 1	33. 1	3. 5

# VI 使用した調査票

- 194	_
-------	---

# 区政世論調査ご協力のお願い

日頃から区政の推進にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。 このたび中央区では、「第 55 回 区政世論調査」を行うことといたしました。

今回も、満 18 歳以上の区民の皆さま 2,000 人を対象に、防災対策、高齢者施策、子育て支援などについてご意見を伺い、今後の区政運営の参考資料とするために実施するものです

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人の回答内容やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

今回の調査票をお送りしましたのは、区の住民基本台帳から統計的手法によって無作為 に選ばせていただいた結果です。

調査の趣旨をご理解の上、ご回答くださいますようよろしくお願い申し上げます。

折り目

令和7年5月

折り目

中央区企画部広報課

# <回答にあたってのお願い>

◎<u>封筒宛名のご本人様</u>がお答えください。

(記入が困難な場合は、本人同意の上で、別の方が回答を代筆しても構いません。)

- ◎質問によっては、○印は(1つ)や(3つまで)(いくつでも)などの指定がありますので、それに合わせて回答をしてください。
- ◎「その他」の番号を選んだ場合には、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- ◎回答は、**令和7年6月4日(水)**までに**《郵送》**または**《インターネット》**

いずれかの方法で、投函もしくは送信してください。

# 【調査受託事業者・お問い合わせ先(回答方法)】

株式会社ケー・デー・シー 担当:佐藤、佐久間

東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目 MT ビル2号館8階

電 話:03-5733-5111

受付時間:月~金曜日(祝日を除く)9:00~17:30

※外国語 [英語、中国語(簡体)] で書かれた調査票が必要な方は、 上記へお問い合わせください。

※If you need a questionnaire written in a foreign language
(English, Chinese (simplified or traditional)), please contact us.

## 【調査主体・お問い合わせ先(調査内容)】

中央区役所 企画部広報課広聴係 担当: 渡邊、白石

東京都中央区築地1-1-1

電 話:03-3546-5222 (直通)

受付時間:月~金曜日(祝日を除く)8:30~17:00

折り目

- 195 -

# 郵送での回答方法

#### 手順1 調査票に回答してください。

- ・あらかじめ設けてある選択肢の中から、当てはまる項目の番号に○を付けてください。
- ・ボールペン記載で誤った場合は、二重線で消し、正しい回答に○を付けてください。

#### 調査票を郵送してください。 手順2

- ・回答が終わりましたら、同封の返信用封筒(中央区役所宛)に入れて**令和7年6月4日(水)** までに投函してください(切手は不要です)。
- ・調査票と返信用封筒への記名は不要です(無記名でご回答ください)。

# インターネットでの回答方法

(パソコン、スマートフォン、タブレットから回答できます。)

#### 手順1 中央区ホームページから該当ページへアクセスしてください。

※スマートフォン等から回答する場合は、「手順3」 <スマートフォン等で回答する場合>へ

中央区ホームページ()の画面上部にある「ページ ID」の検索窓で『78』と入力し、検索してくだ 311 。中央区 応
関
覧
支援
SUPPORT



# 区政世論調査のページから回答専用ページにアクセスをしてください。

「令和7年 第55回区政世論調査の実施について」の『回答専用ページ』を選択して、「回答専用 ページ」にアクセスしてください。

### 郵送での回答

■ 調査票に記入の上、同封の返信用封筒に入れて、6月4日(水曜日)までにポストに投函して ください(切手は不要です)。

### インターネットでの回答

- 回答専用ページ(日本語) (外部サイトヘリンク) (別ウィンドウで開きます)
- 回答専用ページ(英語)(外部サイトヘリンク)(別ウィンドウで開きます)
- 回答専用ページ(中国語) (外部サイトヘリンク) (別ウィンドウで開きます)
- 6月4日(水曜日)23時59分59秒まで回答が可能です。
- 回答できるのは、調査票が届いた方のみとなります。

## 手順3 回答専用ページからログインをしてください。

「回答専用ページ」をクリックすると、ログインページが表示されるので、以下の ID とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを選択してください。

### <スマートフォン等で回答する場合>

- ・以下の二次元コードを読み取るとログインページが表示されます。
- ・以下の ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンを選択し、順番に回答してください。
- ※二次元コードを読み取ることができない場合は、各端末から中央区ホームページにアクセスし、「区政世論調査」ページの中の『回答専用ページ』を選択してください。

インターネット回答用の あなたの ID とパスワード

ID

Chuo0000

パスワード (PASSWORD)

Q0000000

※ID、パスワードは、半角英数で計8文字です。 IDとパスワードは、個人を特定するものではありません。 インターネット回答用 二次元コード (日本語版)



# 手順4 順番に回答してください。

- ・選択肢の中から当てはまる項目の番号を選択し、「次へ」をクリックしてください。
- ・すべての回答が終わりましたら、回答終了の画面が表示されますので、その時点で回答は終了です。
- ・令和7年6月4日(水)までに回答を送信してください。

### <注意事項>

- ・ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。
- ・通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。
- ・回答を中断する際はブラウザ上のタブを閉じると自動的に回答が保存されますが、通信状況が悪かったり、回答の操作を長時間行わず放置するとページの再読み込みが行われ回答が保存されません。

### <外国語版回答ページのご案内>

Multilingual Survey Access

For English



多语言版问卷入口

点击此处查看中文版



- ※ID・PASSWORD は全言語共通です。
- \*The ID and password are the same across all languages.
- ※ID 和密码在所有语言版本中通用。

# 第55回区政世論調査票

# 1 定住性

問1 あなたは、中央区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

1 3年未満 4 10~15年未満 6 20年以上

2 3~6年未満5 15~20年未満7 生まれてからずっと

3 6~10年未満

問2 あなたは、中央区に対して「わがまち」というような愛着心を感じていますか。(○は1つ)

1 非常に感じる 3 あまり感じない 5 わからない

2 少しは感じる 4 感じない

問3 あなたは、中央区に今後もずっと住みたいと思っていますか。(〇は1つ)

1 住み続けたい 3 できれば転出したい 5 わからない

2 できれば住み続けたい 4 転出したい

# 2 防災対策

問4 あなたのご家庭では、大地震などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。(○はいくつでも)

1	食料の備蓄	$\rightarrow$ (	) 日分(1人1日3食分)

- 2 飲料水の備蓄 → ( ) 日分(1人1日3ℓ分)
- 3 簡易トイレの備蓄 → ( ) 日分
- 4 家具類の転倒・落下・移動防止やガラス飛散防止
- 5 消火器の備え
- 6 救急セットの備え
- 7 バールやハンマーなどの救助用工具の備え
- 8 貴重品を持ち出す準備
- 9 風呂などへの水のため置き
- 10 救命救助の講習会への参加
- 11 町会・自治会などの地域の防災訓練への参加
- 12 避難方法、避難場所の確認
- 13 家庭での連絡方法などの話し合い
- 14 建物の補強
- 15 その他( )
- 16 特にない

問5 区では発災後も自宅の安全が確保できる場合には「在宅避難」を推奨しています。 あなたは、このことを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている 3 知らない

2 知っているが、どのような対策をしてよいかわからない

問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、災害時に火災や倒壊などにより自宅で継続して生活できない人が避難生活する場所として、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備しています。この「防災拠点」は避難所のほか救護所などの機能を持っています。

また、「防災拠点」を運営するため、町会・自治会や防災区民組織が中心となり「防災拠点 運営委員会」をつくり、災害に備えた協力体制をとっています。

あなたは、ご自分の地域の「防災拠点」および「防災拠点運営委員会」を知っていますか。 (○は1~3で1つ、4~6で1つ)

防災拠点	1 知っているし、	2 知っているが、	3	知らない
	場所も知っている	場所はわからない		
防災拠点	4 知っているし、活動	5 知っているが、活動	6	知らない
運営委員会	内容も知っている	内容はわからない		

)

問7 大震災などの災害が起こったら、あなたが協力したいと思う活動には何がありますか。 (○はいくつでも)

- 1 負傷者の応急手当
- 2 倒壊家屋などからの救出・救助
- 3 初期の消火活動
- 4 避難所での被災者の対応
- 5 救援物資の仕分けなどの防災活動への協力
- 6 外国語通訳・手話・建物の危険度判定など専門的技能を活用した活動
- 7 インターネットによる情報収集や伝達
- 8 その他の支援活動(
- 9 協力したくない
- 10 わからない

問8 災害情報を得る手段として、一般のテレビ・ラジオ以外にあなたが有効だと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 区のホームページ
- 2 防災マップアプリ
- 3 ちゅうおう安全・安心メール
- 4 インターネット
- 5 X(旧Twitter)やFacebookなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)
- 6 防災行政無線(屋外スピーカー)
- 7 緊急告知ラジオ※
- 8 ケーブルテレビ
- 9 その他(

※ 緊急告知ラジオ 大きな地震や水害など緊急を要する災害の発生時に自動的に電源が入り、災害 情報や避難情報などの緊急放送を受信できるラジオです。区では、平成23年度よ り区民の皆さんへ有償頒布を実施しています。

)

)

# 3 健康診査※

- ※ 健康診査 勤務先で実施する定期健康診断、区や加入している健康保険で実施している健康診査、 人間ドックなどです。
- 問9 あなたは、この1年間に健康診査(健康診断)を受けましたか。(○はいくつでも)
  - 1 区で実施している健康診査を受けた
  - 2 勤務先 (家族の勤務先を含む) で実施する健康診査を受けた
  - 3 加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた
  - 4 個人で人間ドックなどを受けた
  - 5 学校で実施する健康診査を受けた
  - 6 その他で受けた
  - 7 健康診査は受けていない

(問9で、「7 健康診査は受けていない」とお答えの方に)

--> 問9-1 あなたが健康診査を受けなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 勤務先 (家族の勤務先を含む) などで実施していない
- 2 受診方法がわからない
- 3 必要がない
- 4 時間がない
- 5 面倒である
- 6 健康に自信がある
- 7 病気で医者にかかっている
- 8 検査がいや
- 9 病気と診断されるのが怖い
- 10 費用がかかる
- 11 その他(具体的に

- 200 -

# 4 健康アプリ事業

問10 あなたは中央区健康アプリ「ちゅうおうヘルス&ウォーク」を利用していますか。 (○は1つ)

- 1 利用している
- 2 知っているが利用していない
- 3 知らない

(問10で、「2 知っているが利用していない」とお答えの方に)

└---> 問10-1 あなたが中央区健康アプリを利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 やり方がわからない
- 2 必要がない・健康に自信がある
- 3 時間がない・面倒である
- 4 別の健康アプリを利用している
- 5 景品に興味がない
- 6 その他(具体的に

問11 あなたは今、高血圧症、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病を患っていますか。(〇は1つ)

- 1 患っていない
- 2 患っている・患っているかもしれない
- 3 分からない

# 5 高齢者施策

問12 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。

(もっとも近い考え1つに○)

)

- 1 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
- 2 主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい
- 3 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい
- 4 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい
- 5 介護付き有料老人ホームに入りたい
- 6 その他(
- 7 わからない

問13 あなたは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で、区が 力を入れていくべきものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 健康づくり・介護予防の充実
- 2 就労・社会参加の促進
- 3 在宅サービス (医療・介護・区の在宅福祉サービスなど) の充実
- 4 特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致
- 5 高齢者向け住宅の整備・誘致
- 6 ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援
- 7 低所得者への経済的支援
- 8 特にない

問13-1	問13で、	あなたが○をした選択肢を	を含め、区に取り組んでほしい具体的な施策やサーヒ
7	くをお書き	こください。	

# 6 子育て支援

問14 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどこに相談しましたか。(○はいくつでも)

- 1 配偶者・パートナー
- 2 その他の親族
- 3 職場の人
- 4 隣近所の人、知人、友人
- 5 保育園・認定こども園\*・幼稚園・学校の保護者の仲間
- 6 保育園・認定こども園\*・幼稚園・学校の先生
- 7 子ども家庭支援センター、児童館、あかちゃん天国など子育て支援施設
- 8 (健診時などで)保健所、保健センターの担当者
- 9 その他(具体的に
- 10 特に相談しない
- 11 子育てを経験していない
- ※ 認定こども園 小学校に就学する前の子どもの教育・保育・子育て支援を一体的に行う施設で、 幼稚園と保育所の両方の役割を果たします。

)

問15 あなたがこれからの区の子育て支援で重要と考えるものを選んでください。(○は2つまで) また、さらに充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(○はいくつでも)

		重要と考えるもの (○は2つまで)	さらに充実を図る必要 があると考えるもの (○はいくつでも)
1	保育園・認定こども園・地域型保育事業所 <sup>※</sup> ・幼稚 園などの施設整備	1	1
2	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育など の子育て支援サービス	2	2
3	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	3	3
4	子どもの健やかな成長のための教育環境の整備	4	4
5	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	5	5
6	情報の提供や相談サービス	6	6
7	公園の整備など、子どもを安心して育てることが できる環境整備	7	7
8	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	8	8
9	職業生活と家庭生活との両立の支援	9	9
10	児童虐待防止対策	10	10
11	経済的な支援	11	11
12	特にない	12	12

<sup>※</sup> 地域型保育事業所 少人数の単位で0~2歳の子どもを預かる保育事業所です。 (家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業)

問15	5 – 1	にたが問 に施策や			と選択服	支も含め	り、区に	取り約	且んで	ましい具	:

# 7 男女共同参画社会\*\*

※ 男女共同参画社会 男女が、その人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別に関わりなく、 その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

問16 あなたは、次にあげる分野の男女の平等についてどのように感じていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3	4	5
	女性が優遇されている	女性が優遇されているどちらかといえば	平等になっている	男性が優遇されているどちらかといえば	男性が優遇されている
(記入例)(1)家庭では	1	2	3	4	5
(1)家庭では	1	2	3	4	5
(2)職場では	1	2	3	4	5
(3)学校教育の場では	1	2	3	4	5
(4)政治の場では	1	2	3	4	5
(5)法律や制度では	1	2	3	4	5
(6)社会通念・慣習・しきたりでは	1	2	3	4	5
(7) 自治会やPTAなどの地域活動では	1	2	3	4	5
(8) 社会全体では	1	2	3	4	5

問17 あなた自身のワーク・ライフ・バランス<sup>\*</sup>(「仕事」と「家庭生活」の調和)について、現 状は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

### ※ ワーク・ライフ・バランス

仕事と仕事以外の家庭生活とのバランスを図ることにより、家庭や地域活動などに参加できる時間を 確保しながら充実した生活を送ることが重要であるという考え方です。

- 1 仕事を優先している
- 2 どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している
- 3 仕事と家庭生活を同じように両立させている
- 4 どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している
- 5 現在仕事をしていない
- 6 その他(

## 8 防犯対策

問18 あなたの住む地域で不安に感じる具体的犯罪は何ですか。(○は2つまで)

1	ひったくり	9 痴漢・強制わいせつ
2	空き巣	10 少年犯罪
3	強盗	11 子どもの誘拐・連れ去り
4	すり・置き引き	12 暴力団員による犯罪
5	自動車(自転車)泥棒・車上ねらい	13 悪質な客引き
6	特殊詐欺(振り込め詐欺など)	14 その他
7	傷害・暴行	(具体的に )
8	放火	15 特にない

### 問19 あなたが防犯のために実行していること、心掛けていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自主的な防犯パトロールなどの活動に参加している
- 2 区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで 防犯に関する情報を得ている
- 3 何かあれば警察や区などの相談窓口に行くようにしている
- 4 日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている
- 5 防犯性能の高い鍵や窓の使用や、防犯カメラ、センサー付きライトなどの防犯機器を 設置している
- 6 警備会社などのセキュリティシステムを利用している
- 7 エントランスなどにオートロック機能や防犯カメラなどの防犯設備が導入されている 住宅に居住している

)

)

- 8 その他(具体的に
- 9 特に何もしていない

### 問20 今後、あなたが区に特に力を入れてほしいと考える施策は何ですか。(○は2つまで)

- 1 区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信
- 2 住まいの防犯設備整備費用の助成
- 3 自動通話録音機の無料貸出しなどの振り込め詐欺防止対策
- 4 地域の防犯カメラや街路灯設置の推進
- 5 防犯対策に関するハンドブックの配布や講座・講演会などの啓発活動
- 6 学校や児童館などの子どもの安全対策
- 7 通学路や公園などの安全対策
- 8 地域の防犯パトロール活動などへの支援
- 9 その他(具体的に
- 10 特にない

### 9 スポーツ

問21 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動は何ですか。(○はいくつでも)

※ 運動の量や時間の条件はありません。

- 1 水泳(水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む)
- 2 体操(ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、 腰痛・肩こり防止などの健康体操など)
- 3 ジョギング、マラソン
- 4 ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)
- 5 マシントレーニング (ランニングマシーン、バランスボール、ダンベルなど器具を使った 運動)
- 6 武道(柔道、剣道、空手など)
- 7 テニス、ソフトテニス
- 8 屋内球技(バレーボール、バドミントン、卓球など)
- 9 屋外の球技(野球、ソフトボール、サッカー、フットサルなど)
- 10 ゴルフ
  - 11 ハイキング、キャンプ、登山など
  - 12 スキー、スノーボード、スケートなど
  - 13 海水浴(遊水)
  - 14 シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、ヨットなど
  - 15 釣り
  - 16 ボーリング
- 17 サイクリング
- 18 ニュースポーツ(グラウンドゴルフ、キンボールスポーツ、ソフトバレーボール、ペタンク、 ターゲットバードゴルフ、スポーツ吹き矢など)
- 19 ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、民謡の踊りを含む)
- 20 その他(
- 21 スポーツや運動はしなかった
- └─> (問21で、「1 水泳」から「20 その他」のいずれかにお答えの方に)
- → 問21-1 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。(○は1つ)
  - 1 週に3日以上

4 3カ月に1~2日程度(年に4~11日程度)

- 2 週に1~2日程度
- 5 年に1~3日程度
- 3 月に1~3日程度

(問21で、「4 ウォーキング、散歩」とお答えの方に)

- —→ 問21-2 あなたは、この1年間に区内のどのような場所でウォーキングや散歩をしましたか。 (○はいくつでも)
  - 1 水辺や公園などの屋外空間
- 3 スポーツジムや体育館などの屋内空間

)

- 2 住宅街やオフィス街、
- 4 その他(

商業エリアなどの屋外空間

# 10 地域のコミュニティ活動

問22 あなたが地域の方と交流を持ちたいと思う活動は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 町会・自治会活動(回覧板、文書配布、情報発信など)
  2 地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)
  3 祭礼(おみこし・山車への参加など)
  4 地域の文化・生涯学習活動(伝統文化の普及啓発、団体での演奏など)
  5 地域のスポーツ活動(体を動かす機会の提供、技術指導など)
  6 防災・防犯活動(防災訓練、交通安全、地域の見回りなど)
  7 福祉活動(子育ての手助け、高齢者の見守りへの協力など)
  8 環境美化活動(まちかどクリーンデーへの参加、花壇・公園の清掃など)
  9 子どもに関する活動(青少年対策地区委員会、PTA、読み聞かせなど)
  10 その他(
  )
- 問23 問22の取り組みであなたがすでに交流・参加している活動はありますか。(○はいくつでも)
  - 1 町会・自治会活動(回覧板、文書配布、情報発信など)2 地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)3 祭礼(おみこし・山車への参加など)
  - 4 地域の文化・生涯学習活動(伝統文化の普及啓発、団体での演奏など)
  - 5 地域のスポーツ活動(体を動かす機会の提供、技術指導など)
  - 6 防災・防犯活動(防災訓練、交通安全、地域の見回りなど)
  - 7 福祉活動(子育ての手助け、高齢者の見守りへの協力など)
  - 8 環境美化活動(まちかどクリーンデーへの参加、花壇・公園の清掃など)
  - 9 子どもに関する活動(青少年対策地区委員会、PTA、読み聞かせなど)
  - 10 その他(
  - 11 交流・参加したことがない

(問23で「11 交流・参加したことがない」とお答えの方に)

└---->問23-1 あなたが地域の活動に参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 活動する時間がない
2 活動している時間が合わない
3 参加するきっかけがない
4 参加する方法がわからない
5 どのような活動をしているかわからない
6 その他(具体的に

)

## 11 おくやみコーナー

問24 令和6年7月、中央区役所1階に「おくやみコーナー<sup>\*</sup>」が開設しました。 あなたは、「おくやみコーナー」を知っていますか。(○は1つ)

- 1 「おくやみコーナー」の内容も知っている
- 2 内容までは知らないが、聞いたことはある
- 3 知らない
- ※ おくやみコーナー ご家族などの身近な方が亡くなられた際、ご遺族の方々が区役所で行う各種 手続きに関する不安や負担を軽減するため、手続きの相談対応、申請書の作成 補助、各種証明書の取得支援などをワンストップで行う窓口です。

# 12 動物の飼養

問25 あなたの世帯では、ご自宅で動物を飼っていますか。(○はいくつでも)

- 1 犬を飼っている
- 2 猫を飼っている
  - 3 犬・猫以外の哺乳類(ウサギ、ハムスターなど)を飼っている
  - 4 鳥類 (インコなど) を飼っている
  - 5 爬虫類(ヘビ、トカゲ、カメなど)または両生類(カエルなど)を飼っている
  - 6 魚類(金魚など)を飼っている
  - 7 その他の動物を飼っている(
  - 8 飼っていない

(問25で、「1 犬を飼っている」とお答えの方に)

└----->問25-1 あなたの世帯では、犬を何頭飼っていますか。(○は1つ)

 1 1頭
 3 3頭
 5 5頭

 2 2頭
 4 4頭
 6 6頭以上( 頭)

)

(問25で、「2 猫を飼っている」とお答えの方に)

------>問25-2 あなたの世帯では、猫を何頭飼っていますか。(○は1つ)

 1 1頭
 3 3頭
 5 5頭

 2 2頭
 4 4頭
 6 6頭以上( 頭)

## 13 受動喫煙防止対策

問26 令和2年7月1日に「中央区受動喫煙防止対策の推進に関する条例」が施行されました。 あなたは条例で定めた「中央区たばこルール<sup>※</sup>」を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 「中央区たばこルール」の内容も知っている
- 2 内容までは知らないが、聞いたことはある
- 3 知らない
- ※ 中央区たばこルール 公共の場所(区内全域の道路、公園、広場)での受動喫煙を防止するため、「喫煙者が守るべきルール」および「灰皿を設置する事業者が守るべきルール」を設けました。ルールには加熱式たばこも含みます。

## 14 デジタル技術を活用した区民サービス

問 27 あなたが、区に進めてほしいと考えるデジタル技術を活用した区民サービスはどれですか。 (○はいくつでも)

- 1 窓口手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大
- 2 オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大
- 3 区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届出手続きの拡大
- 4 マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大
- 5 スマートフォンなどへの区民サービスの案内の充実
- 6 チャットボット\*を活用した自動応答サービスの拡大
- 7 オンラインでの混雑状況配信窓口の拡大
- 8 デジタルツールなどを活用した窓口サービスの改善\*
- 9 オンライン対応可能な相談事業の拡大
- 10 区が開催する講座や説明会などのオンライン配信
- 11 区が保有するデータのオープンデータ化
- 12 パソコンやスマートフォンなどの情報通信技術を十分に活用できない方への支援の充実
- 13 その他(
- 14 特にない
- ※ チャットボット インターネットを利用し、人間と会話しているような受け答えをロボットが自動で 行うしくみです。
- ※ デジタルツールを活用した窓口サービスの改善

「区役所に行く前にインターネットで自分に必要な手続き、持ち物などの案内を受けられる」「窓口・相談予約ができる」「複数の申請書に何度も同じことを記入しなくてよい」などデジタルツールを活用し、区役所の窓口サービスの利便性を向上する取り組みです。

# 15 広報

問28 区では、広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」について、これまで以上に区民の皆さんに読んでいただけるような紙面を目指し、令和6年10月1日号から全面フルカラー化や特集記事の掲載などのリニューアルを行いました。あなたがリニューアル後の紙面について感じたことや行動の変化を教えてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 良くなった	2 悪くなった	3 変わらない	4 読んでいないので、 わからない
(記入例)(1)紙面デザイン	1)	2	3	4
(1) 紙面デザイン	1	2	3	4
(2)情報の探しやすさ	1	2	3	4

	1 増えた	2 減った	3 変わらない	4 読んでいないので、 わからない
(3) 広報紙を読む頻度 (回数)	1	2	3	4
(4) 広報紙に対しての 親しみやすさ	1	2	3	4
(5) 広報紙の記事をきっかけに実際の行動に 移した頻度(講座への 参加や各種手続きな ど)	1	2	3	4

# 16 環境

問29 あなたは、この1年間で区内のみどりが増えたと思いますか。(○は1つ)

1 増えたと思う

3 変わらないと思う

2 減ったと思う

4 わからない

問30 あなたは、環境を守るために、今後どのような家庭での取り組みが必要だと思いますか。 (○はいくつでも)

- 1 節電・節水などの環境配慮活動を徹底する
- 2 省エネ家電への買い替えなど、環境に配慮した製品を購入する
- 3 3R(リデュース・リサイクル・リユース)などへ積極的に取り組む
- 4 環境問題への理解を深めるため、環境学習や自然体験、環境に関する講座などに 参加する
- 5 家庭で使用する電気を太陽光パネルなどによる自家発電や再生可能エネルギーに 切り替える
- 6 その他(具体的に

)

問31 あなたは、家庭で環境配慮活動を行う上での阻害要因は何だと思いますか。(○は1つ)

- 1 お金がかかりそうだから
- 2 手間がかかりそうだから
- 3 自分には関係がないと思うから
- 4 必要性を感じないから
- 5 何から取り組めばいいかわからないから
- 6 その他(具体的に

17 伝統と文化

問32 江戸開府以来、東京の経済・文化の中心として発展を遂げてきた中央区の各エリアは、 それぞれの歴史に裏打ちされた特色があり、数多くの有形・無形の文化資源を有しています。 あなたが思う「中央区ならではの伝統と文化」とは、どのようなものですか。

(○はいくつでも)

)

- 1 歌舞伎や演劇などの伝統芸能
- 2 伝統工芸品
- 3 老舗
- 4 歴史的な建造物(重要文化財など)
- 5 特色のある街並み(金融街、問屋街、下町、築地場外市場など)
- 6 画廊やギャラリー
- 7 食文化
- 8 祭りや行事
- 9 その他(
- 10 わからない

(問32で、「1 歌舞伎や演劇などの伝統芸能」から「9 その他」のいずれかにお答えの方に) └--> 問32-1 あなたは、問32で選択した「中央区ならではの伝統と文化」について、身近に感じて いますか。(○は1つ)

非常に感じる

3 あまり感じない 5 わからない

2 少しは感じる

4 感じない

# 18 施策の要望・評価

問33 あなたは、区の施策についてどの程度満足していますか。また、その施策をどの程度重視していますか。満足度と重要度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

		満	足	重	重要度			
	1	2	3	4	5	1	2	3
	満足	やや満足	普通	やや不満	不 満	たいへん重要	比較的重要	普通
(記入例)(1)子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3
(1)子育て支援	1	2	3	4	5	1	2	3
(2)障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3
(3) 高齢者福祉・介護	1	2	3	4	5	1	2	3
(4)保健衛生	1	2	3	4	5	1	2	3
(5)男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3
(6)住宅対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(7)公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3
(8) 水辺環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3
(9)消費者生活対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(10) 環境保全・公害対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(11) 清掃・リサイクル事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3
(12) 駐車場・駐輪場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3
(13) 道路環境整備、交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(14)防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(15)防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(16)再開発などによる地域整備	1	2	3	4	5	1	2	3
(17)中小企業対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(18) 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3
(19) 青少年対策	1	2	3	4	5	1	2	3
(20) 生涯学習・文化・スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3
(21) コミュニティの育成	1	2	3	4	5	1	2	3
(22) 観光振興	1	2	3	4	5	1	2	3
(23) デジタル化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3
(24) 区の施策を総合的に見ると	1	2	3	4	5			

問34 問33の施策の中で、あなたが力を入れてほしいものは何ですか。 1位から3位までを選んで番号を記入してください。(1~23までの番号)

第 1 位	第 2 位	第 3 位

### <フェイスシート>

多くの設問にお答えいただきありがとうございました。あと少しお聞かせください。 これからお聞きすることは、これまでのお答えの内容を統計的に分類するためのものです。 ご協力をお願いします。

なお、回答しにくいと感じる設問については、お答えいただかなくて結構です。

### F1 性別(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

### F2 年齢(○は1つ)

1	18~29歳	3	40歳代	5	60~64歳	7	70~74歳
2	30歳代	4	50歳代	6	65~69歳	8	75歳以上

### F3 あなたの職業は何ですか。(○は1つ)

1	自営業(家族従業を含む)	3	アルバイト・パートタイマー	5	無職(学生)
2	勤め人	4	無職(主婦・主夫)	6	無職(その他)

### F 4 あなたのお住まいの地域は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- 1 京橋地域(八重洲2丁目、京橋、銀座、新富、入船、湊、明石町、築地、浜離宮庭園、八丁堀、新川)
- 2 日本橋地域 (本石町、室町、本町、小舟町、小伝馬町、大伝馬町、堀留町、富沢町、人形町、 小網町、蛎殻町、箱崎町、馬喰町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、 八重洲1丁目、日本橋、茅場町、兜町
- 3 月島地域(佃、月島、勝どき、豊海町、晴海)

### F 5 現在一緒に暮らしているご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つ)

1 1	1人 3	3	3人	5	5人	
2 2	2人 4	4	4人	6	6人以上(	人)

### F6 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

		_		
1	単身(本人のみ)	4	親と子と孫(3世代世帯)	
2	夫婦のみ(1世代世帯)	5	その他の世帯	
3	親と子(2世代世帯)		(	)

F 7 あなた自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つ) ※同居・別居を問わず、現在の状況をお答えください。

1	独身			
2	子どものいない夫婦			
3	一番上の子どもが小学校入学前			
4	一番上の子どもが小・中学生			
5	一番上の子どもが高校・大学生			
6	一番上の子どもが学校卒業			
7	その他(	)		

F8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

```
持「1 一戸建
   分譲マンション(
家
  2
               階)
   一戸建
   公共住宅(区立、区営、都営、公社、都市再生機構(旧公団))(
借
  4
                                     階)
  5 民間木造アパート(
               階)
   民間鉄筋アパート、マンション(
                       階)
 7 社宅、官舎、寮(
家
              階)
  8 間借り、住込み
  9 その他(
```

F9 あなたの国籍はどちらですか。(○は1つ)

```
1 日本 2 日本以外(外国籍)
```

- ■記入もれがないかご確認いただき、三つ折りにして返信用封筒に入れ、<u>6月4日(水)まで</u>にポストへ投函をお願いいたします。切手は貼らずにお出しください。お名前を記入する必要はありません。なお、インターネットで回答された方は、この調査票の返送は不要です。
- ■調査結果については、令和7年9月中旬に報告書にまとめるとともに、概要版を作成します。 調査報告書および概要版は、図書館や情報公開コーナー(区役所地下1階)で閲覧できるほか、 中央区ホームページに掲載します。



▲ 区ホームページ「区政世論調査」



調査報告書(本編)と概要版は中央区ホームページでもご覧になれます。

# 第55回 中央区政世論調査 報告書

令和7年9月

刊行物登録番号 7-040

■発 行 中央区企画部広報課

中央区築地一丁目1番1号

電話 03 (3546) 5222 (直通)

■実 施 株式会社ケー・デー・シー

港区虎ノ門四丁目2番12号

電話 03 (5733) 5111